

ジャパン・プラットフォーム（JPF）

アフガニスタン・パキスタン人道支援 複数年プログラム中間評価調査報告書

2013年9月



現地調査 写真



パルワン州Ezzat Khel School



パルワン州Darol Hofaz School の校庭テント内



パルワン州Ezzat Khel School



バーミヤン州Gombaz Schoolの校庭にて



バーミヤン州Darai Ali School



バーミヤン州Bamyan Central High School



バーミヤン州Gombaz School 外観



バーミヤン州 行政官からのヒアリング

現地調査 国内検討会写真



ヘラート州 農業支援を受けた女性のヒアリング



ヘラート州 Imam Shishnoor住民関係者ヒアリング



カブール州 Qalai Ahmad Khan校 外観



カブール州 Qalai Ahmad Khanの図書室



SVA現地事務所でのスタッフからのヒアリング



JEN現地事務所でのスタッフからのヒアリング

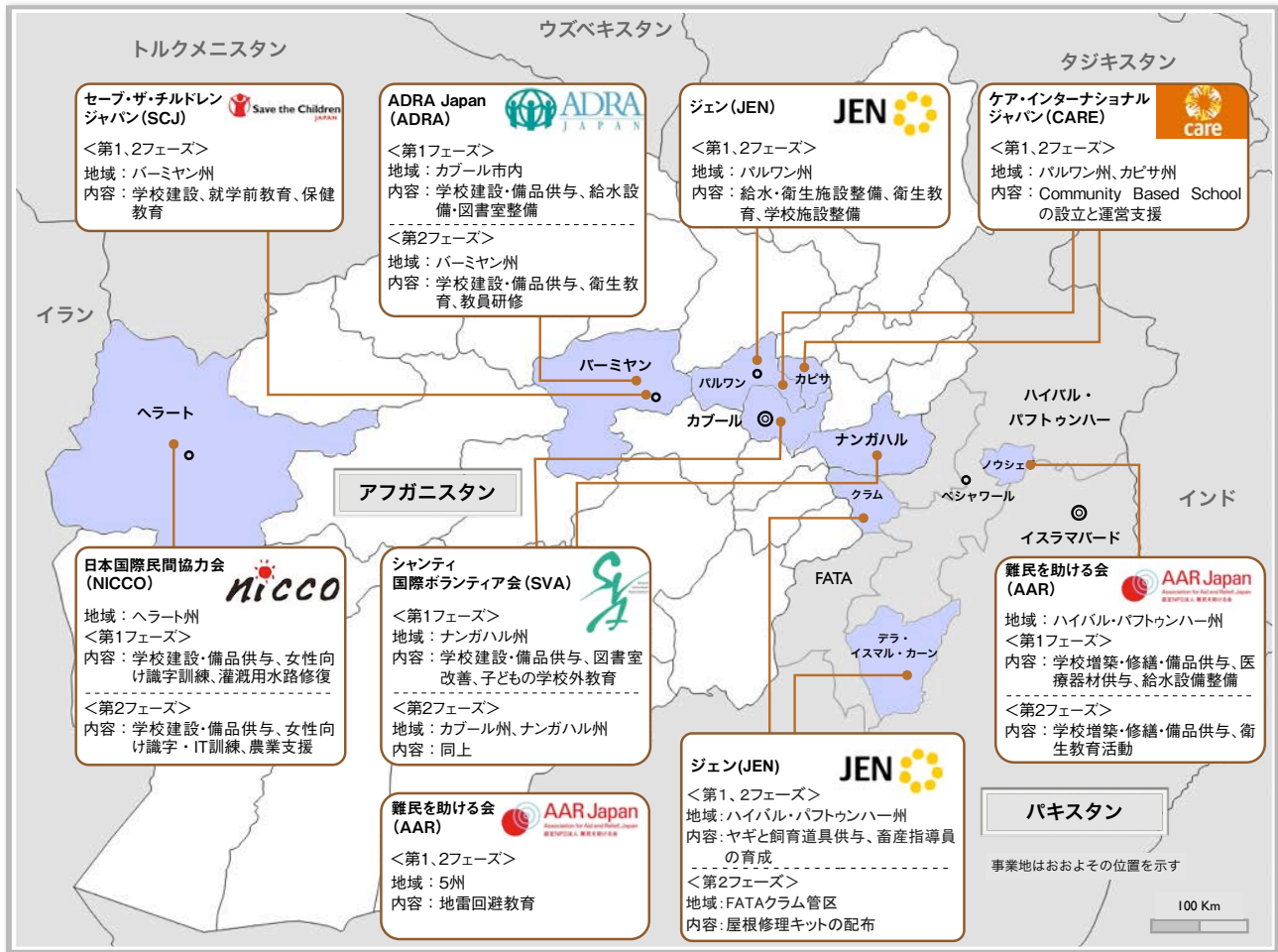


パキスタン DIK地区の生計支援事業ヒアリング



中間評価 第3回検討会 (AAR事務所にて)

フェーズ1～2 事業対象地と事業展開概要



略語一覧

ANDS	Afghanistan National Development Strategy	ISAF	International Security Assistance Force
ANSO	Afghanistan NGO Safety Office	JPF	Japan Platform
CAP	Consolidated Appeals Process	NATO	North Atlantic Treaty Organization
CBE	Community Based Education	NESO	National Education Strategic Plan
CBS	Community Based School	NPP	National Priority Programs
CHAP	Common Humanitarian Action Plan	PRT	Provincial Reconstruction Team
CSO	Civil Society Organization(s)	UNDAF	United Nations Development Action Framework
ECD	Early Child Development	UNDP	United Nations Development Programme
ERW	Explosive Remnants of War	UNAMA	United Nations Assistance Mission in Afghanistan
FATA	Federally Administered Tribal Areas	UNOCHA	Office for the Coordination of Humanitarian Affairs
IDP	Internal Displaced People	WASH	Water, Sanitation and Hygiene
INSO	International NGO Safety Organisation	WHO	World Health Organization

なお、アフガニスタンのProvinceは「州」、Districtは「郡」に統一した。

Khyber Pakhtunkhwaは「ハイバル・パフトゥンハー州」とした（別称カイバル・パクトゥンクワ州）。

その他、地域の名称はJPFの表記に従った。

目次

第1章 評価結果のまとめと提言（概要） -----	2
1-1 評価結果のまとめ	2
1-2 提言	4
第2章 評価の実施方針 -----	6
2-1 評価の背景と目的	6
2-2 評価の実施方法	7
2-2-1 評価の枠組み	7
2-2-2 評価の実施手順	7
2-2-3 評価の実施体制	9
2-3 評価調査上の制約	10
第3章 アフガニスタン・パキスタン北西部の人道危機の状況 -----	11
3-1 アフガニスタンの概況	11
3-1-1 アフガニスタンの人道危機ドライバー（要因）	11
3-1-2 アフガニスタンの概況	11
3-2 アフガニスタン政府の復興開発、援助機関の支援動向	17
3-3 パキスタン北西部の人道危機状況	19
第4章 アフガニスタン・パキスタン人道支援における「プログラム」の考え方の整理とNGOの役割 -----	21
4-1 プログラムの考え方の整理	21
4-1-1 一般的な「プログラム」の定義	21
4-1-2 JPFの人道支援プログラムを定義するための3つの要素	21
4-2 アフガニスタン・パキスタン北西部でのNGOの役割	24
4-3 アフガニスタン・パキスタン人道支援における「プログラム」の考え方	26
第5章 アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラム前期の評価 -----	29
5-1 複合的人道危機軽減のインパクト検証	29
5-1-1 プログラム戦略と事業の妥当性	29
5-1-2 事業実施プロセスの適切性	42
5-1-3 結果の有効性	48
5-2 実施支援体制の適切さの検証	53
第6章 プログラム後期、および今後の支援の方向性と支援戦略のあり方 -----	56
6-1 現状におけるJPFプログラム事業対象地域での支援ギャップ	56
6-2 今後の社会情勢変化シナリオ	60
6-2-1 治安の全般的な傾向	60
6-2-2 権限委譲の現状	60
6-2-3 NGOに対する脅威	62
6-2-4 プログラム後半における安全対策の留意点	62
6-3 今後のプログラムの方向性と戦略検討における提言	63
6-3-1 プログラム戦略の明確化	63
6-3-2 流動的な社会情勢に対応するための対応策の検討	63
6-3-3 中長期的な支援実施のためのステークホルダーマネジメント	64
6-3-4 事業実施における「質」へのこだわり	64
6-3-5 関係パートナーの「人づくり」に配慮した取り組み	65
6-3-6 アクションプランの作成	65
6-3-7 終了時評価に向けて	65
6-4 外部有識者、地域専門家による総括	66
6-4-1 外部有識者総括 今里義和／東京新聞前論説委員、元外務省ODA評価有識者会議メンバー	66
6-4-2 地域専門家総括 鈴木均／アジア経済研究所 上席主任調査研究員	69
資料編（評価グリッド、現地調査ヒアリング結果、面談者リスト、第3フェーズまでの実績） -----	71

第1章 評価結果のまとめと提言（概要）

1-1 評価結果のまとめ

本調査では、JPFアフガニスタン・パキスタン人道支援複数年プログラム（以後「JPFプログラム」）について「複合的人道危機軽減のインパクト」と「実施支援体制の適切さ」の2つの視点から総合的に検証と評価を行った。

また、その上でプログラム後半の戦略のあり方について検討し、提言を行った。

表1-1の評価の枠組みに沿って行った評価の結果と提言の概要について、以下に記す。

表 1-1 評価の枠組み

目的	評価項目
複合的人道危機軽減のインパクト検証	1. 戦略と事業の妥当性
	2. 事業実施プロセスの適切性
	3. 結果の有効性（「新たなツール」としての価値の検討）
実施支援体制の適切さと課題の検討	4. JPF事務局による事業実施の支援体制の適切さと課題の検討
	プログラム後半の方向性の検討

評価レーティングの説明

★★★★	極めて高い	ほぼ全ての評価の項目において高い評価を得た
★★★★☆	高い	多くの評価の項目において高い評価を得た
★★★☆☆	一部に課題がある	一部に課題があるものの、概ねよい評価を得た
★★☆☆☆	問題がある	多くの問題が指摘された

JPFプログラム戦略と事業の妥当性の検証結果 「★★★★☆ 高い」

評価結果：

- 1) JPFのプログラム重点分野は、国連の支援フレームワークやアフガニスタン政府の復興開発戦略等と整合している。
- 2) しかし、重点分野が単に網羅的であり、具体的事業が特定分野に特化している等、メッセージとして「重点」という意味合いの整理が必要である。
- 3) 出口戦略、あるいは長期的な支援の必要性の有無やその場合の方向性についても、極めて曖昧なまま事業が展開されている。
- 4) 事業展開の地域選択に大きな問題は指摘できない。事業内容については事業実施地域における他のニーズとの関係や、事業のコンポーネント間の相互作用についてどのように検討したのか、より説得力のある説明が必要である。
- 5) 地域との関係構築や地域に対する知見といった「NGOの資産」を十分に活用する形で事業形成や地域選定が行われており、評価出来る。

以上から、JPFプログラムの重点分野と事業展開は、人道支援ニーズの主要な領域と一致しており、妥当性は高い。

事業実施プロセスの適切性の検証結果 「★★★★ 極めて高い」

評価結果：

- 1) 各NGOはベースライン調査を実施し、設定された成果指標の把握に努めている。
- 2) ただし、1年毎の事業で指標を設定するには無理があり、3年から5年の全体計画のなかでアウトカム指標を設定する等の、より一層の改善があることが望ましい。
- 3) 事業プロセスでは十分に説明責任を果たし、関係者の主体性に配慮していると高く評価出来る。
- 4) 危機管理、リスク対応については、物理的な安全対策システムと安全管理のマインドが確立されている。
- 5) 日本人スタッフの不在によるオペレーション上の課題も若干見られ、早めの対応が求められる。
- 6) NGOは可能な限り機会を捉えて日本のプレゼンスを示そうとしており、十分評価できる。

以上から、事業実施プロセスの適切性は極めて高い。

結果の有効性の検証結果 「★★★★☆ 高い」

評価結果：

- 1) 一部を除き計画された成果目標を概ね達成している。
 - 2) ニーズの膨大さを考慮すると、総体としてのインパクトは限定的ではあるが、現地ヒアリングでは非常に高い評価があり、事業が一定のインパクトを与えたと考えられる。
 - 3) NGOは自らの業務の質の高さによって、新たに比較優位（＝現地での受容性の高さという環境）を作り出しつつある。
 - 4) 多くの制約条件の中で、日本のNGOによる事業が継続していることに対して、JPFプログラムとしての高い評価がなされるべきである。
 - 5) ただし、長期的な支援を前提とするならば、より「開発」の視点に配慮する必要がある。
- ※ なお、1) ニーズの地域的・分野な広がり、2) JPFの投入規模、3) NGOの地域受容性を活かした事業展開、から考え、このプログラムで「複数のNGOが事業を行う事による相乗効果」を求めることには無理がある。

以上から、結果の有効性は高い。

実施支援体制の適切さの検証結果 「★★☆☆ 一部に課題がある」

評価結果：

■プログラム立案と戦略実施プロセス、支援体制の適切さ

- 1) プログラム戦略が明確でない。「JPFにとってのプログラム」の明確化が求められている。
- 2) 迅速なJPF助成システムにより、間断なく事業が実施されていることはあらためて評価出来る。
- 3) 国内で、NGOワーキンググループの支援、課題別タスクフォース等の立ち上げにより、NGO間の連携、情報交換の促進を図っていることは評価出来る。
- 4) プログラムを統括する立場として、組織メモリーを絶やさない人員配置や情報整理が必要である。
- 5) 現地事情も鑑み、現地リソースを使ったモニタリング体制の確立が急務である。
- 6) 意思決定に関係する現地治安情報をタイムリーに入手できるよう一部改善すべきである。
- 7) より効率的な事務手続きのためのJPF、NGOのオープンな意見交換が必要である。

■ 資金調達、広報戦略の適切さ

- 1) アフガニスタン・パキスタンの人道支援のニーズに鑑み、「長期的な支援」の必要性について関係者の理解を促し、資金調達に向けた積極的な働きかけが求められている。
- 2) JPFの広報における「情報量」と「伝達手段」の拡大に対する努力は高く評価出来る。同時に、これらの広報戦略と資金調達を結びつける戦略的視点が必要である。

以上のように、実施支援体制の適切さは一定程度評価出来るが、一部に課題があり、改善が必要である。

1-2 提言

上記の中間評価の結果から、プログラム後半に向けて、次の5つの点での改善を提言する。

1. プログラム戦略の明確化により、プログラムの妥当性をより明確にすること
2. 今後の流動的な社会情勢に対応するための各種の対応策を検討すること
3. アフガニスタンとパキスタン北西部の人道支援ニーズの大きさに鑑み、中長期的な支援実施を目論み、そのための関係者への働きかけに注力すること
4. 事業実施において、量だけでなく質へこだわりを強めること
5. 開発パートナーとしての現地行政、市民社会組織（CSO）の人づくりの方策を模索すること

1. プログラム戦略の明確化 <◎ JPF ○ NGO>

JPFのプログラムとはなにかを整理した上で、アフガニスタンとパキスタン北西部の人道支援ニーズの特徴と、当該地域での「NGOの役割」の再発見の視点に立った本プログラムの戦略を明確化する必要がある。それによって、プログラムの妥当性をより高めることが求められる。

同時に、整理されたプログラム戦略に沿って審査項目や各種様式等、業務システムの見直し作業が必要である。

2. 流動的な社会情勢に対応するための対応策の検討 <◎ JPF 一部 ○ NGO>

プログラム後半は、アフガニスタン国内の社会情勢に大きな変化や混乱があることが予想される。プログラム後半の継続、今後の長期的な支援を可能とするためにも、以下のような対策が必要である。

- (1) 現地コンサルタントを活用したモニタリング、あるいは事業チェックの実施
- (2) 安全管理体制強化のための情報収集体制の改善
- (3) 現地の流動的な状況に柔軟・迅速に対応する意思決定と、事務手続きの改善

3. 中長期的な支援実施のための関係者への働きかけ <◎ JPF>

プログラム後半、及びポスト2015に向けた資金調達に結びつけるため、1) アフガニスタン・パキスタン北西部における人道支援ニーズの大きさと重要性、2) 援助減少の傾向、3) さまざまな制約下において事業を継続しているNGOの優位性について、関係者の理解を促すことが必要である。

具体的には、以下のアクションが求められる。

- (1) 資金提供者、政策担当者に対する、上記1) 2) 3) の理解の促進
- (2) NGOの役割と存在の意義をアピールした広報戦略の策定
- (3) 現地のビジュアル情報を活用した広報媒体の検討
- (4) 長期的支援のあり方に関する研究・調査活動の推進

4. 事業実施における「質」へのこだわり <◎ NGO ○ JPF>

アウトカムの「質の向上」にフォーカスし、ハードとソフトのコンポーネントのより良いあり方を検討すべきである。例えば、より長期的な教員研修の実施等が考えられる。

5. 開発パートナーの「人づくり」に配慮した取り組み <◎ NGO ◎ JPF>

NGOに求められている新たな役割の理解のもとに、行政、市民社会組織（CSO）、コミュニティ等の、開発パートナーの人づくりの方策を模索することが求められている。

- (1) 行政当局関係者のキャパビルの視点を可能な限り盛り込んだ事業実施プロセスの検討
- (2) 現地NGOの強化やCSOの活動の促進に資する事業のあり方の検討
- (3) 地域リーダーやコミュニティの強化を盛り込んだ事業計画

6. アクションプランの作成 <◎ JPF ◎ NGO>

これらの提言について、JPFとNGOは早急に協議し、プログラム後半に向けたアクションプランを作成するよう提案する。

以 上



第2章 評価の実施方針

2-1 評価の背景と目的

ジャパン・プラットフォーム(JPF)は、アフガニスタン・パキスタンの長年の紛争や貧困による「複合的人道危機」の軽減・改善を目的に、2010年7月から5年間半の予定で「アフガニスタン・パキスタン人道支援複数年プログラム」を展開している。活動にあたっては、国連をはじめとする国際社会の人道支援戦略に則りながら、緊急・復興支援を通じてアフガニスタンおよびパキスタンの複合的人道危機の軽減・改善に寄与することを目指している。

本プログラムの重点分野は、JPFの特性と、現地のニーズを踏まえ、1) 社会基盤の整備(学校建設、基礎インフラ整備等)、2) 教育・保健の強化(教員研修、保健衛生教育等)、3) 平和構築(地雷回避教育、IDP生計支援等)の3つを設定した。事業の実施にあたっては、行政職員や地域住民などカウンターパートの能力強化・参加促進に特に留意し、成果の持続、自立発展性の確保に努めている。

対象地域および裨益対象は、アフガニスタン国内の市民とアフガニスタンと国境を接するパキスタン・ハイバルパフトゥンハー州及び連邦直轄部族地域(FATA)に居住するアフガニスタン難民と国内避難民及び一般市民である。

なお、支援地域の直面する治安状況を考慮し、日本あるいは隣国からの遠隔管理方式で実施している。また、安全確保のためJPFの「安全5原則」及び「共通安全原則」に従って活動している。

本プログラムは、以下の9団体による12プロジェクト（2013年9月現在）で構成されている。

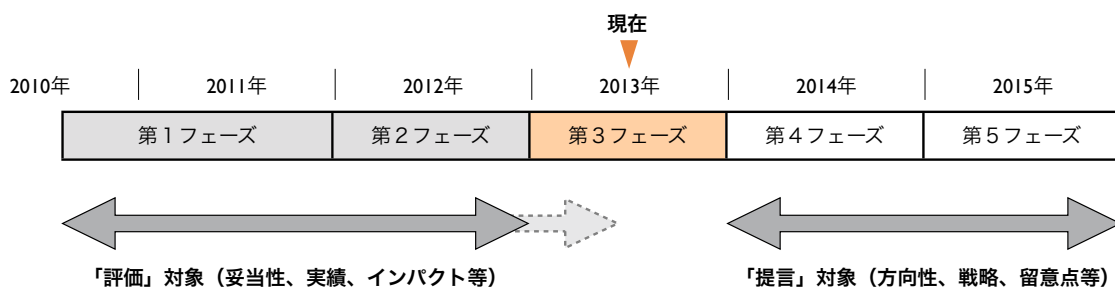
- (特活) 難民を助ける会 (AAR)
- (特活) ADRA Japan (ADRA)
- (公財) ケア・インターナショナル ジャパン (CARE)
- (特活) ジェン (JEN)
- (公社) 日本ユネスコ協会連盟 (NFUAJ)
- (公社) 日本国際民間協力会 (NICCO)
- (公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ)
- (公社) シャンティ国際ボランティア会 (SVA)
- (特活) ワールド・ビジョン・ジャパン (WVJ)

プログラム実施期間の中間点にあたり、本件評価を行う目的は以下の3つである。

- JPF人道支援プログラムが、その前半期間において、対象地域の複合的人道危機の軽減に与えたインパクトの検証
- JPF事務局によるNGO事業実施の支援体制の適切さや、事業成果の適切な広報等による説明責任の検証と、今後のあり方の検討
- 上記の本プログラムの前半の教訓のとりまとめを通じた、後半（2014-15年）の方向性、戦略、留意点についての提言のとりまとめ

なお、評価対象期間は図1に示すとおり基本的には第1フェーズ、第2フェーズ（必要に応じて第3フェーズも参考にする）であり、提言の対象期間は第4フェーズ以降である。

図 2-1 評価対象期間と提言対象期間



2-2 評価の実施方法

2-2-1 評価の枠組み

前述の中間評価の目的をもとにした評価の枠組みを表2-1に示す。

JPFにおけるプログラム評価の方法論はまだ十分に定まっていないが、一般的にはプログラム評価は戦略の評価を行うものであり、個別事業の評価は主たる目的ではない。また、本評価は中間評価（レビュー）という位置づけであり、以下に後半のプログラムの方向性の検討に資するかという視点を重視した。（表2-2は参考）

現地調査としてフェーズ1とフェーズ2のいくつかの事業をモニタリングし、関係者のヒアリングを中心に情報収集することとしたが、あくまでもプログラムレベル評価のための現地調査であることをはじめに関係者とも共有した。

表 2-1 評価の枠組み

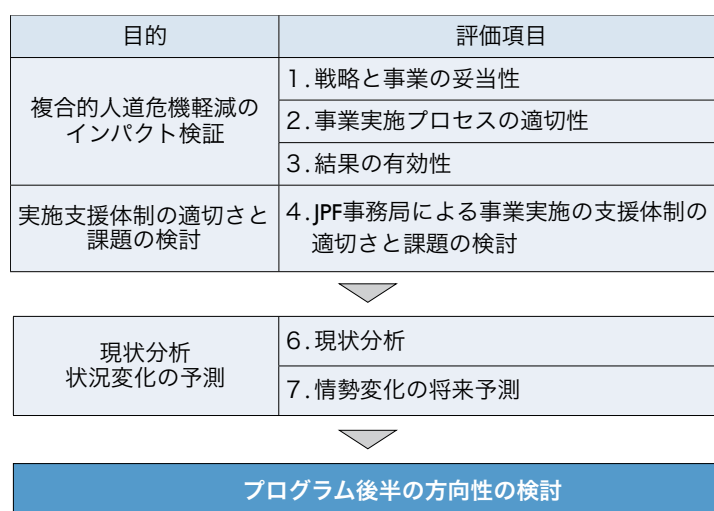


表 2-2 中間評価（レビュー）の目的

	モニタリング	中間評価（レビュー）	終了時評価
パフォーマンス測定	◎	○	○
方法論の改善	△	◎	◎
組織学習	△	○	◎
アカウンタビリティ確保	△	△	◎

2-2-2 評価の実施手順

評価を進めるにあたっては、評価の目的と評価の枠組みをもとにした「評価グリッド」（資料編参照）を作成し、JPFとの協議や後述する関係者との検討会で同「評価グリッド」の内容について関係者に説明、基本的な合意を得た上で、具体的な評価活動を開始した。作業工程イメージを図2-2に示す。

<国内作業>

国内調査作業では、既存資料やNGO関係者らのヒアリングによってJPFプログラムの実績や実施プロセスを整理することに加え、対象地域における国際機関、ドナーによる援助の動向、対象地域の社会指標、経済状況等に関し、文献調査によってその概要を把握した。

図 2-2 評価の作業工程イメージ

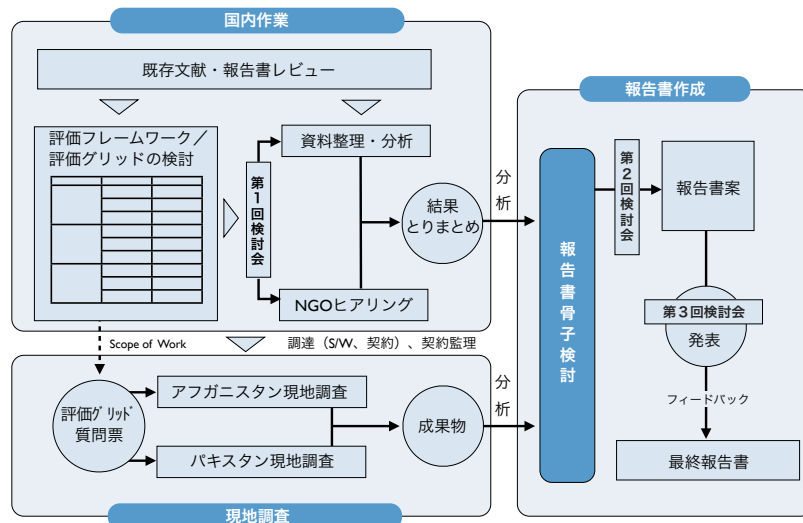


図 2-3 現地調査対象地域地図

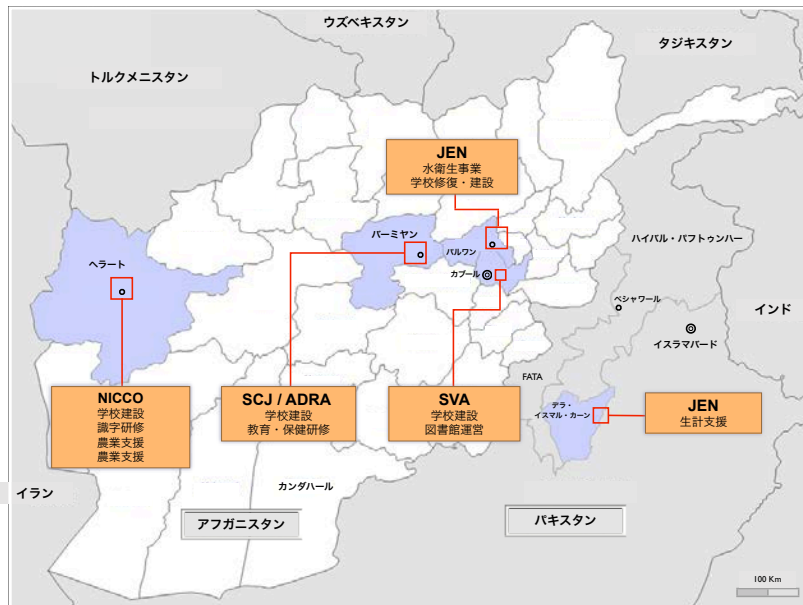


表 2-3 現地調査対象地域・事業

対象地域		生計支援	学校建設（修復）	識字訓練	教育研修	給水・衛生施設／衛生教育
AF	ヘラート	(灌漑施設他) NICCO	◎ NICCO	◎ NICCO		
	バーミヤン		◎ SCJ, ADRA	◎ SCJ	◎ SCJ	◎ SCJ, ADRA
	パルワン		◎ JEN			◎ JEN
	カブール		◎ SVA			
PK	KPK	◎ JEN				

AF=アフガニスタン、PK=パキスタン、KPK=ハイバル・パフトゥンハー、MRE=地雷リスク回避教育
 なお、同一プロジェクトで複数コンポーネントが実施されている。

<現地調査>

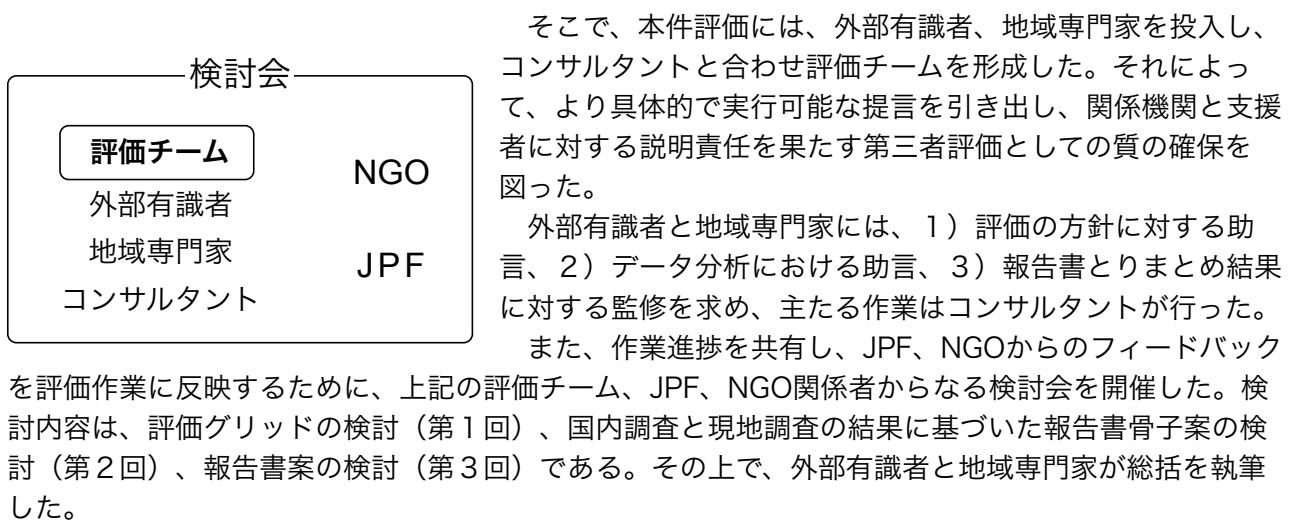
現地調査は、JPFプログラムの第1フェーズと第2フェーズの事業地のうち、サンプルとして6事業地域を選択し、現地コンサルタントを備上して質問票を用いたヒアリング調査を行った。なるべく、全ての地域の事業が対象となるようにし、複数のセクターとコンポーネントが対象となるよう図2-3、表2-3のように選定した。ヒアリングの対象者は、中央・地方行政官、学校長や教師、地域リーダー（Shura等）、児童の保護者、裨益者住民等である。

<報告書作成>

国内作業および現地調査から得られた情報の整理・分析結果をもとにして、総合的な評価分析を行い、評価のポイントと提言の方向性を「報告書骨子案」としてまとめた上で、検討会において関係者（外部有識者、地域専門家、JPF、事業実施NGO）に説明した。検討会での意見を反映しつつ、最終報告書を作成した。

2-2-3 評価の実施体制

本中間評価の目的を考慮すれば、単にオペレーショナルレベルの事業評価ではなく、「JPFプログラム」の役割や機能を幅広い視点から検証し、今後の支援の戦略性を高めるとともに、その結果を多くの関係者にアピールしていくことが求められている。そのためには、アフガニスタンとパキスタンで我が国のNGOが一体となっていく人道支援の価値や意義を多角的に議論できる評価人材の配置が必要である。



<外部有識者、地域専門家>

外部有識者と地域専門家は、評価の経験、地域研究の実績を考慮して以下のとおり選任した。

外部有識者：今里義和 氏／東京新聞前論説委員／元外務省ODA評価有識者会議メンバー

評価業務の経験：地雷処理協力ODA評価、平和構築支援ODA評価（アフガニスタン現地調査含む）、地域協力ODA評価、チュニジア国別ODA評価、エクアドル国別ODA評価、ブラジル国別ODA評価等

地域専門家：鈴木均 氏／アジア経済研究所 上席主任調査研究員

地域研究主著：『現代イランの農村都市——革命・戦争と地方社会の変容』、『アフガニスタンと周辺国——6年間の経験と復興への展望』、『アフガニスタン国家再建への展望——国家統合をめぐる諸問題』、『ハンドブック現代アフガニスタン』、『映画で学ぶ現代宗教』

2-3 評価調査上の制約

本評価調査の制約として、以下の4点が挙げられる。

- (1) 現地の治安状況から、評価メンバーによる現地調査が実施できなかった。このため、評価にとって重要なツールである対面ヒアリングの実施、現地情勢の直接的な観察を諦めざるを得なかった。現地コンサルタントの備上と、詳細な質問票で補うことを意図したが、応答に対して追加的な質問が出来ない、応答の意図をその場で正確に確認できない等の限界もあった。
- (2) 評価実施期間の一部が、現地の断食（ラマダン）時期と重なり、学校活動等の現地の動きの観察が出来ず、面接対象者も限定された可能性がある。
- (3) アフガニスタンの統計データは正確性と全体性に問題がある。人道支援ニーズのデータの収集においても困難があった。治安状況が一部地方の情報提供を阻んでいること、末端の行政機関に人的・組織的な課題があること、同じデータでも収集方法や収集時期が異なるといった状況が指摘されている。これは、基本となる総人口データがいまだに2千7百万人から3千5百万人の幅を持っていることから理解できる。また、一部では急激に状況が変化（主に悪化）しており、入手できた情報は「現実の一部」しか表していないと考えられている。¹
また、集計されたデータも、都市部と地方では状況が大きく異なるにもかかわらず、それらが十分に考慮されないままに一つの平均化された数字になっていることも多く、「偏差」の大きい数字であることを理解しておく必要がある。人道ニーズの分析を行うUNOCHAが2008年に再編され、状況は幾分改善されたが、このように基礎データや分析作業に多くの欠点を抱えていることに留意が必要である。
ただし、データの質には多くの問題を抱えてはいるが、アフガニスタンの人道状況が危機的状況にあることは、あらゆる情報や観察から窺い知ることのできる「事実」である。
また、パキスタン北西部もほぼ同様の状況である。
- (4) 後述するように、JPF人道支援プログラムの戦略自体が明確でなく、具体的な評価作業を始める前に、プログラムの考え方を整理することから始める必要があった。このことは、評価のプロセスを複雑にしたが、JPFのプログラム戦略とは何かを、JPFやNGOを交えて協議する機会を提供することになった。



¹ Benelli P, et al. (2012) "AFGHANISTAN: Humanitarianism in Uncertain Times" Feinstein International Center Tufts University, USA, p.5

第3章 アフガニスタン・パキスタン北西部の人道危機の状況

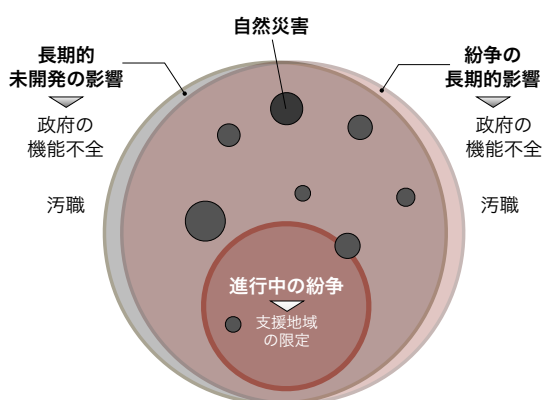
3-1 アフガニスタンの概況

3-1-1 アフガニスタンの人道危機ドライバー（要因）

アフガニスタンは1979年末のソ連軍侵攻以来、今日に至るまで混乱状態の中にある。いまだに大量の難民が帰還できずにいる他、人権状況、テロへの関与、麻薬栽培と密輸等についての多くの懸念が存在する。人権問題に関しては、特に、女性に対する抑圧的政策（例えば、就労の禁止、教育の禁止）が問題視されてきた。テロに関しては、パキスタン国境に反政府武装集団が本拠地を構え、これがアフガニスタン国外におけるテロ事件に結びついていると指摘されている。また、アフガニスタン、パキスタン、イランを含む「黄金の三日月地帯」は、世界最大のケシ栽培地域となっており、欧州諸国で流通するヘロインの80%以上がアフガニスタン原産であると言われており、この問題に対する真剣な対応が求められている²。

このように国際社会全体に影響を及ぼしかねない懸念事項が未解決のまま残されている中で、長年低調な社会開発しか行われてこなかったこともあり、アフガニスタンは今も、あらゆる社会指標が低い水準のまま推移しているほか、近年は連続した自然災害にも見舞われている。

図 3-1 人道危機のドライバー



上記のようなアフガニスタンの人道危機は、複合的な背景から生まれている。まずは、長期的に続いた紛争の影響が蓄積し、その間、開発行為がほとんどなされてこなかった影響がある。これによって国家システムは崩壊し、今後も国家として期待される役割を果たすまでには一定の期間が必要だと考えられている。また、現在も一部地域は紛争状態にあり、復興開発の手が届かないか、届いても紛争の影響によって持続性が確保できない状況となっている。加えて、前述のように近年、洪水、干ばつ、地震等の自然災害が多発している。地域によって状況が異なるものの、おしなべてアフガニスタン全土が複合的な人道危機に直面していると考えられる。

3-1-2 アフガニスタンの概況

<社会・経済指標>

2002年に本格化したアフガニスタンの復興開発は途上にあり、アフガニスタンの主要社会指標は、いまだに世界の中でも低い値にある。

表3-1に示すとおり、人間開発指標では187カ国中の172位であり、アジアの中では最低位国となっている。2番目に低いネパールと比べてもその差は大きく、開発の遅れが著しいことが分かる。国内経済は国際社会の復興開発支援を背景として建設業等が牽引しているが、全国でも約6割、地方では8割とされる農業就労人口を支える農業の復興は端緒に付いたばかりである。特に地方における保健医療の未整備を背景とする低い平均寿命や幼児死亡率の高さが際立っている。また、識字率の低さも最下位のブルキナファソに次いで低く、教育環境が整っていないことを示している。

² 外務省 Website

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/afghanistan/genjo.html> (2013年9月1日アクセス)

表 3-1 主要社会・経済指標

指標	出所	年
人間開発指標	172位 (187カ国中)	UNDP 2011
貧困率 (人数ベース、国別貧困ライン)	36%	World Bank 2008
平均寿命	48.7歳	UNDP 2011
人口増加率	2.7% (2011年) 14歳以下の人口比率46%	World Bank 2011
5歳以下乳幼児死亡率	1000人中134人	WHO 2011
成人識字率	34% (男性50%、女性18%)	UN 2005
GDP (名目)	183億ドル	World Bank 2011/12
一人当たりGDP (年)	528ドル	World Bank 2010/11
購買力平価換算 (一人当たり所得)	1,416ドル	UNDP 2011
産業構造	農業3割、工業2割、サービス業5割 59.1%の労働力人口が農業関連に従事	World Bank、他 2007-2008
インフレ率	年率8.1%	2005~2011
主要輸入品目	機械、石油、食料 (計 61%)	CSO Statistical Yearbook 2011/12
主要輸出品目	ドライフルーツ、カーペット、薬草 (計 88%)	CSO Statistical Yearbook 2011/12

< 難民 >

図 3-2 難民申請の推移



難民の発生と帰還の傾向は、アフガニスタンの人道危機の深刻度を測るパラメーターの一つとなりえる。

アフガニスタンでは過去10年間に、約570万人の難民が帰還したが、いまだに約270万人の難民が近隣のパキスタン、イラン等で生活を送っている。また、図3-2のように、一時期激減した難民申請も、近年の紛争激化と治安の悪化によって再び高い数値を示しつつある。

一方、帰還した人々の43%はもとの村に帰れないか、帰還した村での土地問題等を抱え、住居や社会サービスも

得られない状況が続いている³。このように、近年は帰還しても安全や財産を確保できないことを理由に、帰還を控える傾向が強まっており、2011年の帰還民数は5万人足らずにとどまっている。加えて、2014年以降の社会状況によっては新たな難民の発生も危惧されている。

また、国内でも、紛争や旱魃・洪水といった自然災害の発生によって、多くの国内避難民 (IDP) が発生しており、その数は2007年の約12万人から2013年現在では約57万人と大きく増加している。これらのIDPの2/3弱は2001年以前から長年の避難民生活を送っており、また、1/3以上は2001年以降に新たに出現したものである。

³ IRC(2012) "Afghanistan: The perilous road ahead - Aiding Afghans in the lead up to 2014 and beyond"

<治安状況>

治安状況の改善は人道危機軽減の前提条件であり、持続性ある事業成果の条件でもある。

2003年から展開されているISAF（国際治安支部隊）と国軍による治安維持活動も、地域の軍閥、民族リーダー、麻薬取引グループ、小規模暴力グループを排除するには至っていないばかりか、タリバンを中心とする反政府武装勢力側は政府や国際部隊への継続的な攻撃を行い、もともと同勢力の拠点であった南部だけでなく、最近では北部や西部でも影響力を強めている。治安維持のアフガニスタン国軍・警察への

治安権限委譲は2013年7月に最終段階に入ったが、アフガニスタン国軍による治安維持がなされていないはずの地域の情報がほとんどもたらされない現状と⁴、反政府武装勢力の攻撃の7割がアフガニスタン国軍を対象とするものに変化していることについて懸念が高まっている⁵。

UNAMA⁶によれば、2013年1月～6月までで民間の死者は1,319名、負傷者は2,533名と昨年に対しても2割以上の増加となっており、近年、最も状況が悪化した2011年の傾向に迫っている。（図3-3）

このように反政府武装勢力が攻勢を強めることによって、多くの市民が現政権の正当性に疑念を持つ結果になっている。蔓延する汚職に対する反感や、期待していた基本的な社会サービスが得られない事への不満が募り、反政府武装勢力が影響力を拡大する要因を作り出しているとも指摘されている。

このような状況の中で、2014年4月には大統領選挙が予定され、同年末には国際部隊の撤退が予定されており、今後、社会状況はより一層混迷を深めることが予想される。

<主要人道支援ニーズ>

ここでは、JPFプログラムに関連する教育、保健分野の人道支援ニーズを取り上げ、今後も継続的な人道支援が必要とされる現状を概観する。

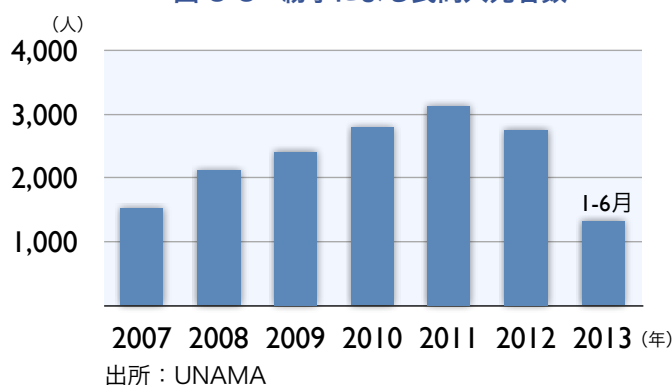
教育

現在アフガニスタンには約13,000の公立校が存在するが、そのうち5,000校以上が2002年以降に新たに創設された学校であり、うち約3,500校の校舎は修復か、新たに建設されたものである。

UNICEF⁷によると、アフガニスタン政府と国際社会の上記のような改善努力によって、児童の就学人口は2001年の100万人以下から大きく改善し、830万人に達している。また、2008年時点で30万人以上の児童がコミュニティ運営による教育にアクセスしている。このように一部では改善がみられるものの、アフガニスタンの教育事情は以下のように依然として厳しい。

まず、いまだに就学年齢に達した子どもの約半数は学校に通っていない⁸。200の郡（district）で女子中等学校がなく、250の郡で女子教師が皆無という現実がある⁹。

図 3-3 紛争による民間人死者数



⁴ CSIS Website “Afghanistan in Transition: A Trip Report with Anthony Cordesman” http://csis.org/files/attachments/130319_afghanistan_transcript.pdf (2013年8月1日アクセス)

⁵ ANSO(2013) “Quarterly Data Report Q.1 2013” p9

⁶ UNAMA “Afghanistan: Mid-Year Report 2013 Protection of Civilians in Armed Conflict” p.1-2

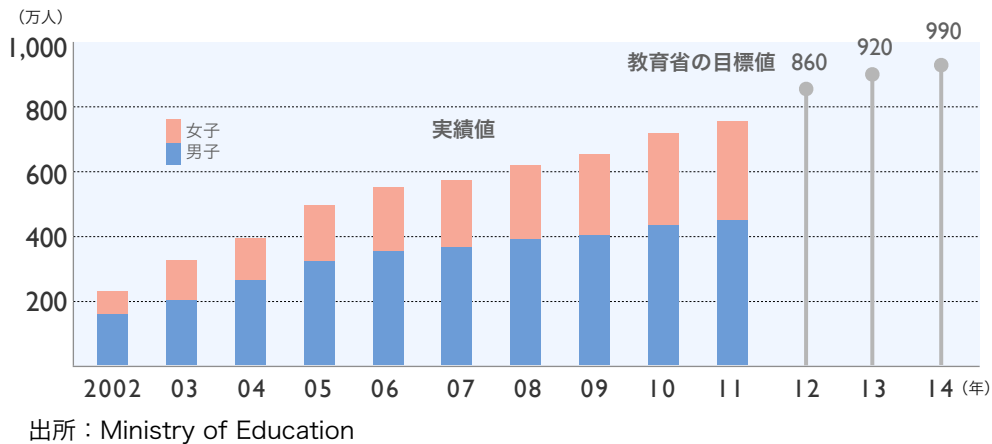
⁷ UNICEF Afghanistan Website

http://www.unicef.org/infobycountry/afghanistan_62634.html (2013年8月1日アクセス)

⁸ Agency Coordinating Body for Afghan Relief (ACBAR)(2011) “Health and Education in Afghanistan: 10 Years after -Quantity Not Quality” 教育省の”Policy Guidelines For Community-Based Education”(2012)では、未就学児童は約40%の420万人で、うち6割が女兒、入学後に欠席が続いている児童は100万人としている。

⁹ Afghanistan Independent Human Rights Commission (AIHRC)(2011) “Fifth Report Situation of Economic and Social Rights in Afghanistan” p.86

図 3-4 児童の就学数と教育省の目標値



また、整備された校舎や境界壁、安全な水の供給やトイレなどの公衆衛生施設が整っていない学校は5,000校と全体の4割を占めている。就学率の改善に伴い、より教室数が不足する傾向にあり、ほとんどの学校が1つの教室を時間帯によって異なる学年で入れ替えて使う「シフト」制を導入している。現状でも都市部では三部制、四部制が一般的になりつつあり、児童が受けることのできる授業が1日あたり2時間以下となることもある¹⁰。山岳地帯であるアフガニスタンでは夏の陽射しが強く、冬は極寒の環境にあるが、ほとんどの学校は電気供給や冷暖房設備を持たず、多くの学校でテント設置による授業が行われている。

このような状況の中、図3-4に示すように、教育省はさらなる就学率の改善を目指しており、人々の教育への関心の高まりもあって、教室不足はより深刻化するものとみられている。

この間、教師の数も8倍に伸びたが、女性教師は全体の3割に過ぎず、約18万7千人の教師のうち7割は最低条件である14学年を修了していない。教育省は毎年1万人の教師を新たに雇用する必要があるとしているが、教員養成が十分に追いついていない。

一方、同国の近年の教育政策はこれまでの「数」による教育の改善だけでなく、「教育の質」の向上にも言及している。具体的には、教育分野戦略NESP II (2010-2014)¹¹において、学校建設といったハード整備に加え、教員の指導力の質の向上、政策実現のための制度改革や人的・物的・財務的リソースの効率性向上を目指し、2014年までの具体的な目標として以下を挙げている。

- ① 全就学人口1,000万人の達成
- ② 基礎教育（1～9学年）の就学人口890万人（女子60%、男子75%の基礎教育就学率）の達成
- ③ 75%の学校の施設整備（全学校数は16,650校に増えると予測）
- ④ ドロップアウト率3%（以下）を達成
- ⑤ 国家資格を有する教員の割合8割を達成

また、2020年までに、1) 基礎教育の就学率を98%に、2) 資格を持つ教師の割合を95%にするという次なる目標も設定している。

しかし、教員給与の支払いが政府の大きな負担になっており、一部では給与未払いのために学校運営が停止する事態も伝えられている¹²。教員数の増加、インフレに伴う教員給与額の引き上げ（2007年＝平均74ドル→2009年＝平均120ドル）が追い打ちをかけている。

¹⁰ CW4W Website “Building Schools: Meeting the Education Infrastructure Needs in Afghanistan” <http://www.cw4wafghan.ca/schoolinfrastructure> (2013年8月25日アクセス)

¹¹ Ministry of Education (2009) “The National Education Strategic Plan for Afghanistan 2010-2014 (1389-1393)” p. 3-4

¹² The Guardian Website “Afghan schools and clinics built by British military forced to close” 27 September 2012 <http://www.theguardian.com/world/2012/sep/27/afghan-schools-clinics-built-british-close> (2013年8月25日アクセス)

また、過去に建てられた建造物の建築の質が低く、基礎部分の崩壊等で利用できなくなっているケースも報告される¹³等、質の良い教育の提供には多くの課題がある。

このような中、前述の民家での教室運営を行うコミュニティ運営による教育（CBE: Community Based Education）の促進も並行して行われている。アフガニスタンでは70年代から「Dehati (village) schools」として、CBEが初等教育（Grade1～9）に導入され、タリバン政権時代も村の中で運営されてきた実績がある¹⁴。遊牧民や成人も通える教育システムとして政府も推奨している。

また、15歳から24歳の若年層の女性の5人に1人はいまだに非識字者であり、特に地方での非識字率が高い。地方や女性にフォーカスした識字教育のニーズが広範囲に存在する。

教育の質の改善において注目されているのが幼年期発達プログラム(ECD: Early Childhood Development)である。幼稚園教育等のECD参加者は、小学校入学後やそれ以降の教育段階においても留年や中途退学を経験する割合が非参加者に比べて低いことがわかっており、教育活動全般に対する保護者の意識を向上させる点でも長期的効果があると考えられている¹⁵。現状では、3歳から6歳の間に幼稚園に入園するものは全体の1%に過ぎない。特に地方では0.5%と都市の4%に比べて1/8の低さである。NESP IIでも、ECDの必要性に言及しているものの、実際には後手に回っており、NGO等による実施支援が求められている。

また、6歳未満の子どもで家庭に3冊以上の本がある子どもは2%に過ぎず、10冊以上の家庭はわずか0.5%である。就学前の子どもたちや学童に対する図書活動といった教育の質を確実に上げるための側面からのアプローチも求められている。

教育分野 主な指標

- 半数の子どもが学校に通っていない
- 全体の4割の学校は施設が整っていない
- 7割の教師が十分な資格がない
- 地方の8割が衛生施設を持たない

保健

基本的な保健サービスへのアクセスが25%～30%であった2001年当時から比べると、保健サービスの基礎パッケージの改善によって、妊産婦や幼児の死亡率の低下、子どもの健康状態の改善や感染症疾患の防止において一定の成果を挙げる等、アフガニスタンの保健医療サービスは大きな改善を示した。しかし、現実には保健分野の指標もまた、世界の「最低レベル」にとどまっており、依然として劣悪な保健環境の中で、人々は大きなリスクに直面している。保健サービスの基礎パッケージ普及範囲の一層の拡大が急務であり、本来2010年の目標値であった普及率90%までの改善を行うには、最低でも1万人のコミュニティ・ヘルスワーカーと、3,650名の助産師が必要とされている¹⁶。

UNICEFの調査¹⁷等によれば、次頁の表3-2のようにアフガニスタンの保健分野の実態は依然として危機的状況にある。全体的には都市部と地方での保健サービス衡平性の確保に加え、教育レベルの向上による情報リテラシーの改善や生活対応能力の向上が求められている。また、栄養改善、精神保健や障がい分野での施策立案が求められるが、いずれにしても保健省からコミュニティレベルにいたるまでの保健サービス体制の構築が立ち後れており、専門的な医療従事者の不足も深刻である。

このような状況から、当面ドナーやNGOによる保健サービス分野での支援が求められている。

保健分野 主な指標

- 乳幼児死亡率は千人あたり121人
- 5歳未満児死亡率は千人あたり99人
- 地方の5割は安全な飲料水へのアクセスがない
- 地方の8割が衛生施設を持たない

¹³ CW4W Website “Building Schools: Meeting the Education Infrastructure Needs in Afghanistan” <http://www.cw4wafghan.ca/schoolinfrastructure> (2013年8月25日アクセス)

¹⁴ Ministry of Education (2012) “Policy Guidelines For Community-Based Education” p.6

¹⁵ 三輪千明 (2003) 「Early Childhood Developmentの支援に関する基礎研究」 JICA国際協力総合研修所 p.10-25

¹⁶ Save the Children JapanのWebsite 「アフガニスタン東京会合に向けた提言書」 <http://www.savechildren.or.jp/scjcms/dat/img/blog/882/1341590283220.pdf> (2013年9月15日アクセス)

¹⁷ Unicef(2013) “Afghanistan Multiple Indicator Cluster Survey 2010-2011” p18-99

表 3-2 保健分野の詳細指標

<乳幼児と子どもの健康>

- ① 乳幼児死亡率は千人あたり121（WHOは134）で、5歳未満児死亡率は99である。死亡率は地方の方が高く、地方の医療事情の劣悪さを示している。また、母親の教育レベルや生活レベルの違いによって乳幼児死亡率は異なる。母親が教育機会に恵まれない場合の乳幼児死亡率が「74」であるものが、中等教育を受けた場合は「55」と低い。
- ② 5歳以下の子どものうち4人に1人が中程度か重度の低体重である。乳児に母乳が与えられる機会も非常に低く、6ヶ月未満児の場合には4割が母乳以外の食事を与えられ、不純物や不衛生なものを接種するリスクが高くなっている。特に、南部や南東部では母乳供給率が極端に低い。
- ③ 十分なヨウ素を摂取している乳幼児は全体の約2割で、特に西部地域は9%の乳幼児がヨード欠乏症の高いリスクに直面している。
- ④ 6ヶ月から59ヶ月の幼児のうち、34%が貧血症（死亡率も高い）である。
- ⑤ 12ヶ月から23ヶ月の幼児の予防接種率はわずか18%で、4人に1人は1歳までに何も予防接種を受けていない。予防接種率には母親の教育レベルが大きく影響していることが指摘されている。
- ⑥ 直近2週間以内に下痢を経験した5歳以下の幼児は23%いるが、経口補水塩療法で対応されたのは64%。下痢症状が続いている際に継続して経口補水対応がされたケースは半分以下であった。
- ⑦ 肺炎の疑いがある場合に医療施設に行けたのは2割の子どもに過ぎず、5歳以下の子どものうち、直近2週間以内に肺炎の疑いがある抗生物質が投与されたケースは64%で、呼吸困難といった肺炎の症状を知っていた母親は15%に過ぎなかった。

<性と生殖に関する健康(Reproductive Health)>

- ① 弱齢出産率も高く、10%が15歳から19歳の間に第一子を出産し、同期間に第二子を産むケースも4%程度ある。15歳以下の出産も2%程度ある。これは母親の教育レベルと強い相関が観察されている。
- ② 避妊をしているケースは非常に低く、8割の女性是对応をしていない。避妊は注射かピルが多い。基礎教育を受けている場合の避妊実施率は27%、中等教育以上を受けた者は38%に上昇する。
- ③ 妊婦検診を受けている者は全体の48%程度である。
- ④ 出産に立ち会うのは、医師20%、看護師か助産婦16%であり、6割は訓練を受けていない者が立ち会っている。医療施設での出産は33%（都市部66%、地方25%）で、66%は家庭での出産である。

<水と衛生>

- ① 全体の57%は改善された飲料水へのアクセスがある。ただし、都市部82%、地方51%と地域によって大きな差がある。
- ② 改善された衛生施設を持つのは31%程度（このうち他家と共有しないものは29%）であり、これも都市部で61%、地方では21%という差がある。

3-2 アフガニスタン政府の復興開発、援助機関の支援動向

ここでは、長期的に低調であった開発の影響、蓄積した紛争の長期的影響、頻発する自然災害、進行中の紛争といった複数のドライバーを抱えた「複合的な人道危機」を抱えるアフガニスタンの現状に対する、ドナー支援の今後の傾向を概観する。

2001年以降、国際社会はアフガニスタンの復興開発、人道危機軽減のために莫大な援助を実施してきた。保健と教育だけでもその額は35億米ドル¹⁸とされており、結果として社会開発指標は一定程度改善してきた。しかし、前述のように世界的に低水準の状況であることに変わりはなく、アフガニスタン国民がより良い社会サービスを受容できる社会環境づくりに向けて、今後とも国際社会の支援が不可欠とされている。

<東京会合の成果と課題>

2012年7月、日本政府およびアフガニスタン政府の共催で、「アフガニスタンに関する東京会合」が開催された。同会合においては、国際社会による継続的な支援と、アフガニスタン政府側による汚職対策をはじめとしたガバナンスの改善という「相互責任」の原則が確認され、今後、その進捗を定期的にモニタリングしていく「東京フレーム・ワーク」が「東京宣言」として採択された。

東京会合では、アフガニスタンの「変革の10年」（2015年～2024年）において、アフガニスタンの自立に向けた開発を支援し、アフガニスタン政府の毎年平均財政ギャップを満たすため、国際社会が総額160億ドルを超える規模の支援を供与することが表明された。

しかし、「アフガニスタンおよび日本のCSO（市民社会組織）による東京宣言への評価¹⁹」でも懸念が示されたとおり、東京会合宣言では明確な資金的コミットメントの裏付けがなく、2014年の国際部隊撤退以後にも国際社会が関心を持ちうるのか、疑問が呈されている。

ひとつの大きな流れは、米国の関与の低下である。

<米国の関与の変化>

図 3-5 政府総支出額に占める米国等支援

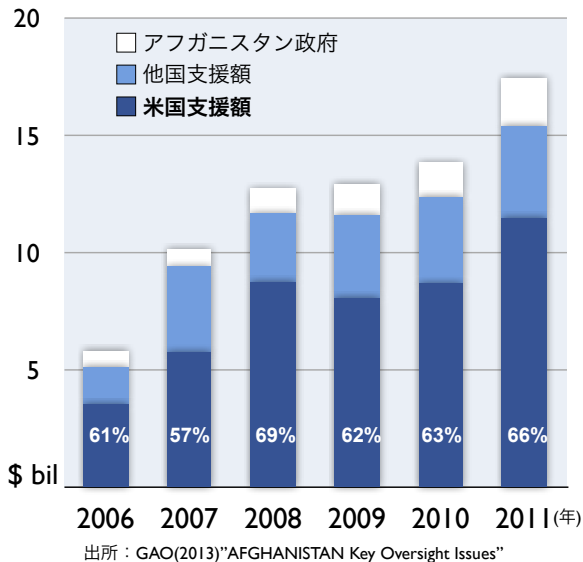


図3-5に示すように、これまでのアフガニスタン政府の総支出額に占める米国支援の割合は6～7割程度と突出している。しかし、今後は軍事支援においても、民生支援においても、米国は大幅な支援額の低下を予定している。

まず、次頁の図3-6に示すように、今後アフガニスタンの治安維持を担っていく国軍に対する米国の支援は、2013年以降、毎年20%以上の減額が予定されている。これに伴い、アフガニスタン政府は国軍維持のために大幅な支出増を迫られ、2015年には支援ギャップ、すなわち治安維持行動のための予算が不足する事態が生じる。治安維持を優先させるために教育・福祉・保健関連の予算が削減されるような影響は否定できない。

では、ドナー全体からの開発支援はどのように変化するであろうか。こちら、米国の動きを慎重にみる必要がある。図3-6は、米国が関与し、軍を派遣した復興開発・人道支援の対象国において、軍撤退後の民生支援額の変化を示したものである。4つの例に現れているように、いずれも国際社会支援額の総額に米国の支出が大半を占めたこれらのケースで、軍の撤退とともに米国の人道支援や復興開発支援額は急減している。いずれも5割近い減額で、瞬間的に大きな支援ギャップが生じたことは明白である。

民生支援額の変化を示したものである。4つの例に現れているように、いずれも国際社会支援額の総額に米国の支出が大半を占めたこれらのケースで、軍の撤退とともに米国の人道支援や復興開発支援額は急減している。いずれも5割近い減額で、瞬間的に大きな支援ギャップが生じたことは明白である。

¹⁸ Save the Children JapanのWebsite「アフガニスタン東京会合に向けた提言書」
<http://www.savechildren.or.jp/scjcms/dat/img/blog/882/1341590283220.pdf> (2013年9月15日アクセス)

¹⁹ ジャパン・プラットフォーム Website
http://www.japanplatform.org/afghanistan_conf2012/lib/pdf/20120708_pressrelease.pdf (2013年9月15日アクセス)

すでに、米国は2010年にピークであったアフガニスタンに対する民生支援41億ドルを、2012年度には20億ドルと以前の規模に削減²⁰する等、過去の行動様式を踏襲しつつある。英、仏、独のNATO主要国についても、このような米国の動きに追従する流れが考えられ、アフガニスタンに対する復興支援、人道支援には厳しい現実が待ち受けている。

図 3-6 今後のアフガン国軍支援計画

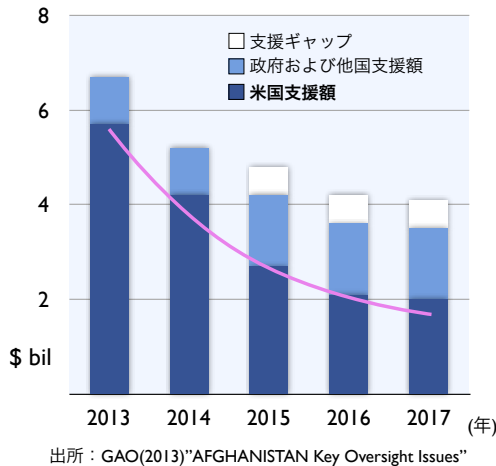
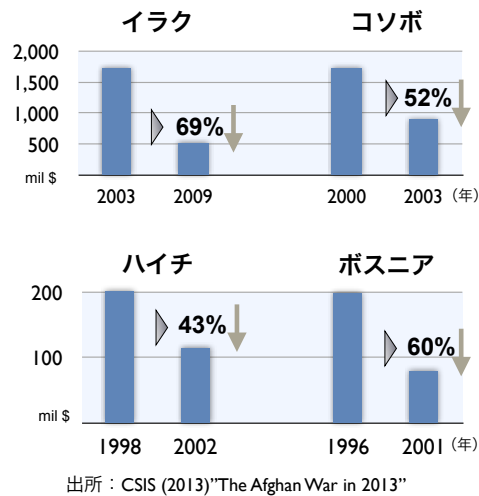


図 3-7 米国軍の撤退と民生支援傾向



国際連合人道問題調整事務所 (UNOCHA) は2013年6月に、このようなアフガニスタンとパキスタン人道援助資金の減額傾向は、両国の状況を再び脆弱にしかねないと警告している。これは、すでに各国の支援が確実に減少傾向をたどっていることを如実に示すものであり、事実、2013年のUNOCHAの人道支援アピール額471百万ドルのうち、資金確保ができたのは38%のみであった²¹。

<アフガニスタン政府の自立性>

では、アフガニスタン政府の自立性はどこまで高まっているのか。まずは歳入を支える自国の安定した経済成長であるが、2003年以降、アフガニスタンの経済は大きく外国軍駐留に依存してきた。予定されている外国部隊の撤退は、この経済と雇用が激減あるいは消滅することを意味するが、具体的な対応策は示されていないままだ。

かつてアフガニスタンの経済を支えた農業分野には地方労働人口の8割が依存する。しかし、30年間の空白期間に、トルコ、インド、中国などの近隣諸国が近代化を進めたのに比べて、灌漑施設、栽培技術、ポストハーベスト技術といったハードやソフトで数十年立ち後れている状況がある。USAIDは2010年までに農業分野に14億ドルをつぎ込んだが、米議会報告書は「期待された効果は得られなかった」と断じた²²。村レベルの援助受容性が低いこともあり、農業分野の成長には基礎インフラに対する継続した投資と、農村でのきめ細かな支援が必要となっている。

一方で大きな期待が寄せられている鉱山開発は、2012年のGDP成長率を前年度の7.3%から11.8%に引き上げた。2025年までの鉱山開発投資は、毎年6.9%の経済成長を確実にし、10万~12万人の雇用を生むとされているが、740万人(2011年世銀データ)の全労働人口に与える影響は限定的である。

一方の歳入改善については、前頁の図3-5で示したように、現在のアフガニスタン政府の歳入は9割がドナー支援によって賄われている。2006年から2009年までのドナーによる直接開発支援 (off budget) は79%にも達していたが、政府はon budget²³による事業実施をドナーに訴え始め、2010

²⁰ 米国政府 Website

http://foreignassistance.gov/OU.aspx?OUID=166&FY=2013&AgencyID=0&budTab=tab_Bud_Planned Foreign Assistance Dashboard. Afghanistan, Planned Spending. (2013年8月1日アクセス)

²¹ UNOCHA Website

<http://www.unocha.org/top-stories/all-stories/afghanistan-and-pakistan-humanitarian-needs-must-not-be-neglected-says-ocha> (2013年8月1日アクセス)

²² United States Government Accountability Office(2010) “Afghanistan Development: Enhancements to Performance Management and Evaluation Efforts Could Improve USAID’s Agricultural Programs” p. 22-23

²³ ドナーの直接的な事業 (off budget) ではなく、アフガニスタンの国家予算への資金投入を通じた事業の実施。援助の一貫性を高め、ガバナンスの改善や政府機関のキャパシティの向上にも繋がると考えられた。

年、国際社会は支援の5割を2年以内にon budgetに切り替えることを約束した。その結果、ドナーはアフガニスタン政府の内部予算に直接資金を投入する「アフガニスタン復興信託基金」への援助を増額し、アフガニスタン政府の予算として扱われるon budget費にしめるドナー支援の割合は56%まで増えたが、例年アフガニスタン政府の予算執行率は低く、2012年度も約半数の省庁が予算執行率5割を下回った。これに対しては、議会在執行率50%以下となった11の省の大臣の更迭要求をする動きも起きた。

USAIDも2011年にそれまでの11%から46%へとon budget比率を高めたが、急激なon budget増加で、中央省庁の管理が行き届かず、off budgetから移行したUSAIDの教育事業の多くが中断に追い

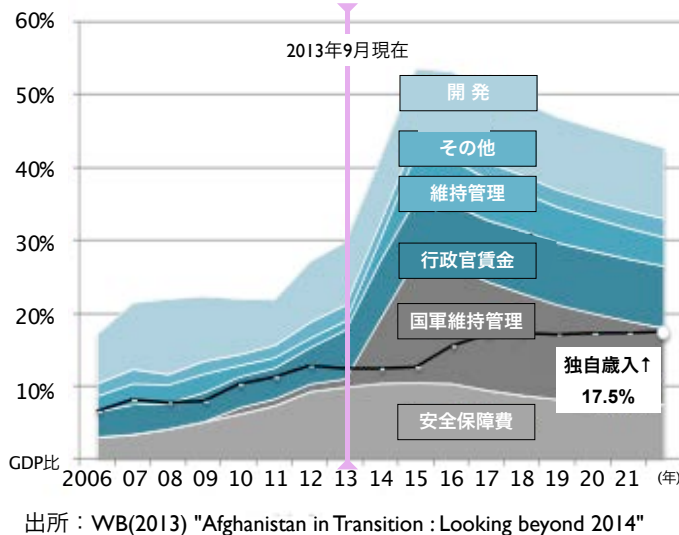
込まれる事態になった²⁴。このような背景から、最近では同基金を推進してきた世銀自体が、アフガニスタン政府の能力不足に懸念をあらわにするようになってきている²⁵。

独自歳入増加のための税収対策としては、付加価値税（VAT）の導入が進められている。しかし、図3-8のように、今後の歳出における国軍の維持・管理費が突出しており、税収の伸びだけで賄うには限界がある。

これらから、政府による基礎的社会サービスの提供、人道支援ニーズへの対応は困難であり、ドナーやNGOによる継続的な支援が求められていることが明らかである。

また、なにより汚職防止メカニズムの構築が求められているが、依然として政府中枢の自浄作用は期待できない状況である。

図 3-8 アフガニスタン政府歳入の予測



3-3 パキスタン北西部の人道危機状況

アフガニスタンと国境を接するパキスタンの連邦直轄部族地域（FATA : Federally Administered Tribal Areas）では、2008年からパキスタン国軍による武装勢力の掃討作戦が始まり、この影響で毎年20万人～300万人以上の国内避難民（IDP）が近隣の州に避難した。2005年の大地震、2010年の大洪水や2011年の南部での洪水と、連続した自然災害で大きな被害もでている。また、FATAや避難民を多く受け容れているハイバル・パフトゥンハー州（KPK）は歴史的な経緯によって、パキスタン政府の開発が十分になされてこなかったことから、国内で最も貧困が深刻な地域という背景もある。

図3-9のように、現在でもFATA内や隣接するKPKには多くのIDPが帰還できずに生活している。このうち、避難民キャンプに滞在するIDPは1割に過ぎず、多くは支援の届きにくいホストコミュニティ（親戚宅や賃貸住居での生活）での生活を送っている。避難民の三分の二は貧困ラインを下回っており、6割は日雇い労働だが、多くは賃貸料を滞納することも多く、FATAとKPK地域の約6割が食糧危機に瀕している等、深刻な人道危機が存在する。

一方、避難民の一部は段階的にFATAに戻りつつあるが、紛争と洪水によって家屋や生計手段を失っており、帰還民に対する生活の立て直しへの支援も求められている。また、一方で新たなIDPも発生している。

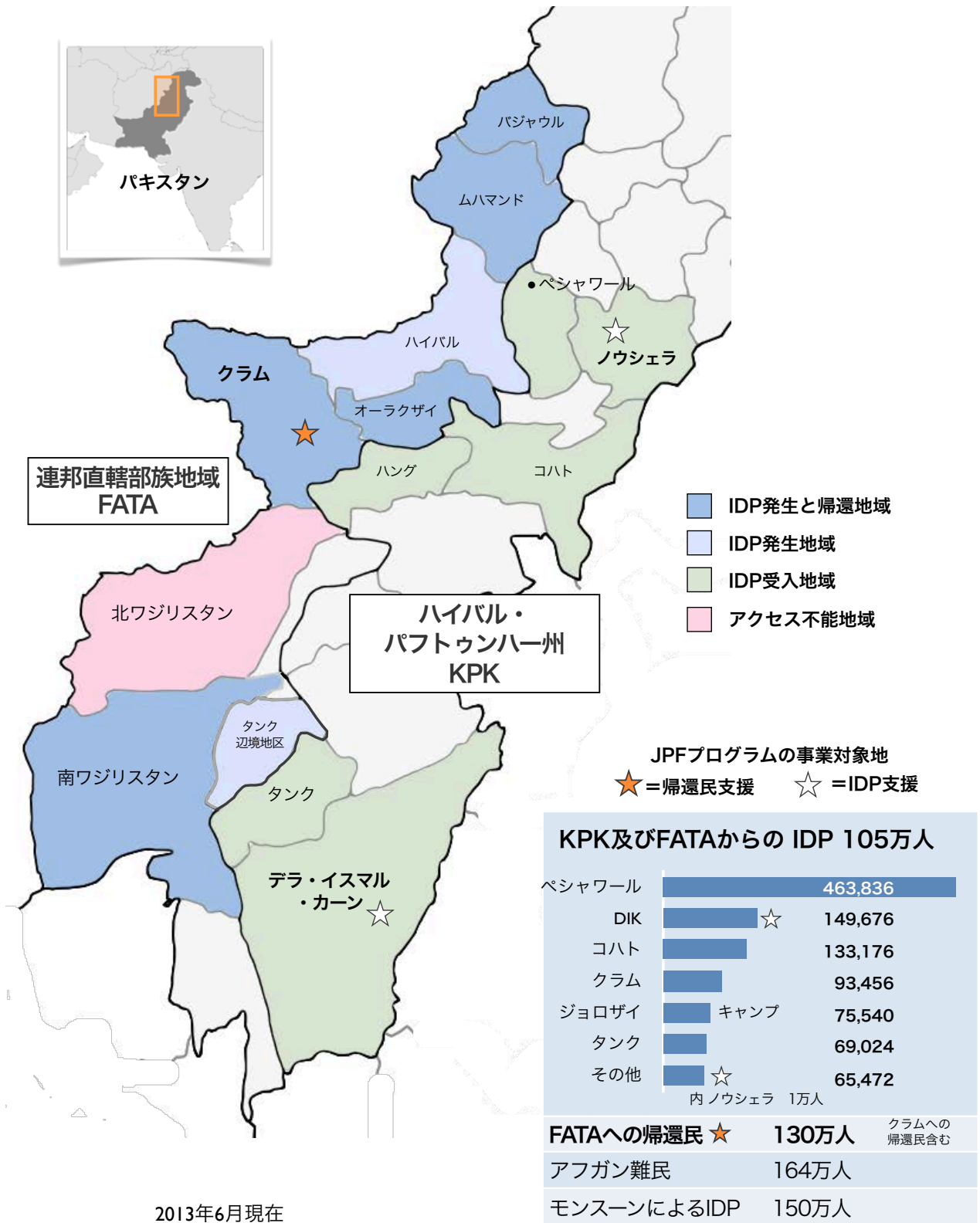
このように、パキスタン北西部でも大きな人道支援ニーズがあるが、アフガニスタンと異なって国際社会の関心も弱く、十分な援助資金が確保できない状況にある。

ここでもまた、ドナーやNGOの継続的な支援が求められている。

²⁴ IRC(2012) "Afghanistan: The perilous road ahead - Aiding Afghans in the lead up to 2014 and beyond" p.13

²⁵ WB(2013) "Afghanistan in Transition : Looking beyond 2014" p.20

図 3-9 パキスタン北西部のIDP概況



出所：UNHCR

第4章 アフガニスタン・パキスタン人道支援における「プログラム」の考え方の整理とNGOの役割

複数年プログラムとして展開されている本JPFプログラムは、プログラムが何を狙っているのか、実施団体であるNGOの事業展開をどのように効率的に配置しようとしているのか、といったプログラムの戦略性が明らかでなく、また、アフガニスタン・パキスタン北西部においてどのようなNGOの役割が期待されているかについても、十分整理されているとは言えない。

プログラムの枠組みと実績の評価をするにあたっては、プログラムの定義やNGOの役割の「あるべき姿」を明確にしておくことが求められる。

そこで、過去の関係者の議論や今回調査のヒアリング（JPF事務局、実施NGO、米国大使館、アフガニスタン大使館）、また中間評価検討会での議論も参考にして、以下のとおり整理を行った。

4-1 プログラムの考え方の整理²⁶

4-1-1 一般的な「プログラム」の定義

開発援助におけるプログラムの一般的な定義は「特定の目的を達するために意図された複数のプロジェクト」のことである。JICAプログラムの例では、やや詳しく以下のような定義をしている²⁷。

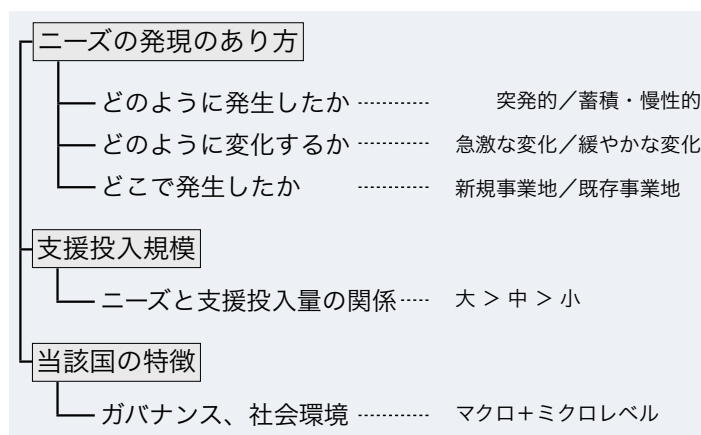
- ・ 途上国の特定の中長期的な開発目標の達成を支援するための戦略的枠組みである
- ・ 明確なプログラム目標と、その達成のための協力シナリオがある
- ・ 投入にあたっては複数の事業の有機的な組み合わせや、他の開発主体との連携を行う

すなわち、プログラムの手段がプロジェクトであり、プログラムには具体的目標と調整システムとしての機能があることがわかる。プロジェクト単位では解決し得ない開発課題レベルでの問題解決を、どのような方法で解決しようとするのか、プログラムは、その方法論の仕組みということになる。

4-1-2 JPFの人道支援プログラムを定義するための3つの要素

では、人道支援を行うJPFのプログラムの場合にはどのような定義がなされるべきであろうか。上記も参考にしながら、人道支援が扱う対象や投入のあり方に着目して、以下のとおり検討する。

図 4-1 人道支援プログラムを定義するための3つの要素



人道支援のプログラムを考える場合には、図4-1のようにニーズの発現のあり方、支援の際の投入規模、当該国のガバナンス等のあり方を考える必要がある。

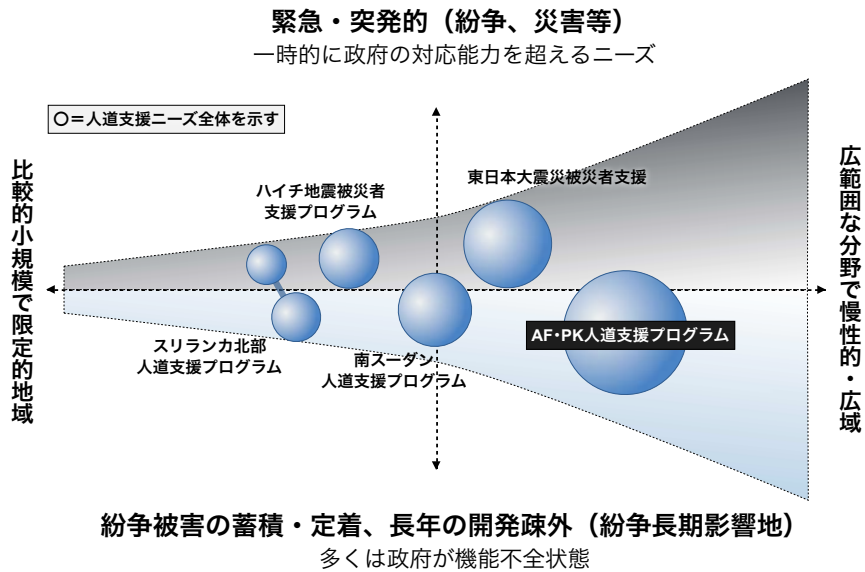
たとえば、一般的な途上国における小規模だが深刻な地震災害と、閉鎖性が残っているイスラム圏途上国における長期的な紛争被害では、その対応は自ずと違って来るだろう。また、それらの人道支援ニーズに投入できるリソースがどれだけあるかによっても、問題解決のアプローチは変わってくる。

²⁶ この節の議論は、一部山谷清志（2012）「政策評価」ミネルヴァ書房を参考にした。

²⁷ JICA「事業評価年次報告書2007」p.41

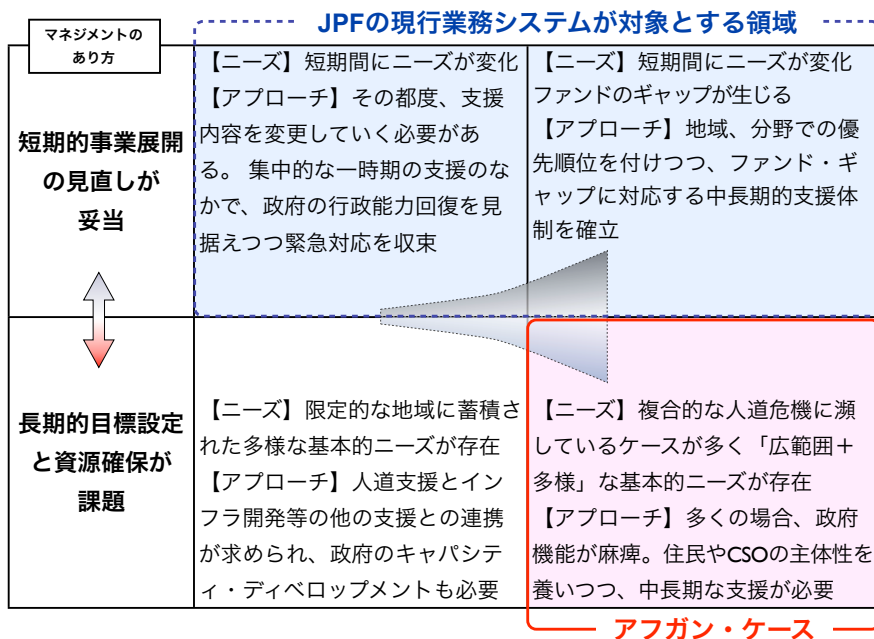
＜ニーズの発現のあり方から考えるプログラムのあり方＞

図4-2 ニーズの発現



まず、ニーズの出現のあり方には、自然災害や突然の大量難民発生のように、突発的で緊急なもの、長年の紛争被害が蓄積した慢性的人道支援ニーズがある。これらが複合的に同時発生する場合もある。それぞれに、被害の大きさや地理的範囲によってニーズの規模も異なってくるだろう。（図4-2）

図4-3 ニーズの変化



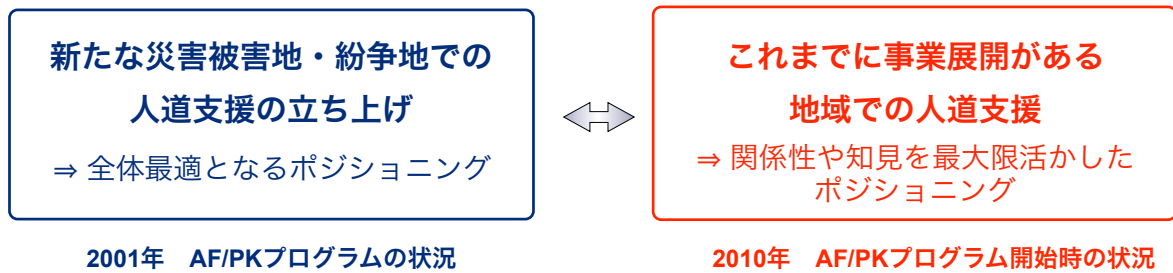
突発的なニーズへの対応を行い、行政機能がカバーできる支援規模・内容になると、トランジション期間に移行する。この間、短期間に変化していくニーズに支援内容に対応させていく必要がある。

一方、慢性的人道支援ニーズの場合には、行政も紛争の影響を受け機能不全に陥っていることが多く、援助の吸収能力²⁸（absorptive capacity）も低いので、国際機関やNGO等による長期間の支援が求められる。アフガニスタン・パキスタンの場合は、まさしくこのようなケースである。大きなニーズが広範囲・他分野に存在するため、長期的目標の設定と資源の確保が課題となる。（図4-3の右下）

²⁸ 援助吸収能力は限られた援助資源をドナーの意図する開発目的に有効に活用するための中央・地方政府の体制（人的資源、ファシリティ）、財政管理能力（効率的な資源配分、資金の使途の監理）を指す。（外務省Websiteより）

<対象地域との関係と投入規模から考えるプログラムのあり方>

図 4-4 地域とのこれまでの関係性



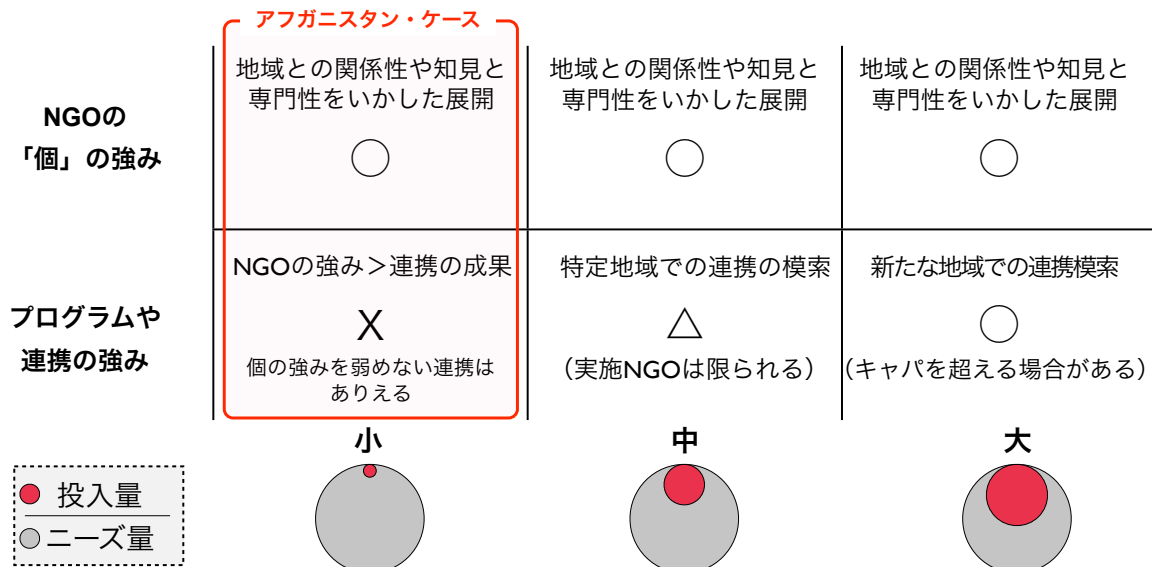
人道支援ニーズにJPFプログラムが対応する場合、NGOには新たな地域でのポジショニングが求められる場合もあれば、すでに特定の地域で事業展開をしており、地域との関係性と地域に対する知見を生かした事業展開となる場合がある。

突発的なニーズに対応する場合には、多くの場合、NGOには新たなポジショニングが求められることから、プログラム立案においては、いかに全体最適となる配置を行うかが重要な視点となってくる。

これに対して、慢性的な人道支援ニーズに対応する場合には、プログラムのタイミングによってどちらのケースになるかは異なってくる。(図4-4)

アフガニスタンの場合、2001年にJPFが初期のプログラムを展開した際には、多くのNGOが拠点を持たず、初期のポジショニングを行う必要があった。しかし、2010年に本プログラムが開始された時点では、NGOの多くは、すでに特定地域での事業展開を通じて地域との関係性を構築していた点に注目する必要がある。

図 4-5 リソース投入規模と効果（量慢性的ニーズのケース）



プログラムにおいて、複数のプロジェクトの連携の可能性を考えることは、効率的な支援のあり方を考える上でも重要である。しかし、ニーズに対して比較的投入規模が小さく、すでにNGOが各地で事業を展開しているような場合には、新たな地域での集中的支援や複数のNGOによる連携を前提とするアプローチは失うもの（過去の地域との関係性や地域の知見）が大きく、メリットは少ない。そのため、すでにNGOが関係性を構築している地域で、得意分野、専門分野を考慮して事業を展開する方が費用対効果も大きいと考えられる。

4-2 アフガニスタン・パキスタン北西部でのNGOの役割²⁹

紛争の長期的な影響がある地域では、多くの場合、政府が十分機能しておらず、社会・経済開発サービスを中長期的、安定的に供給するアクターが必要となってくる。NGOは中立的な立場を維持しながら、そのような地域で平和構築や復興開発に関わり、過去の多くの人道支援の現場において重要な役割を担ってきた。

では、アフガニスタン・パキスタン北西部の人道支援におけるNGOの役割は、どのようなものであろうか。NGOと地域の歴史的関係性を概観するとともに、今後求められるNGOの役割を考えることとする。

<アフガニスタンにおけるNGO活動の始まり>

アフガニスタンにおいても、NGOは長い活動の歴史がある。古くは1960年代にCAREが欧州共同体(EC)やOFDA(The Office of U.S. Foreign Disaster Assistance)の資金を得て、各地の農村支援を開始し、1979年のソ連侵攻によって発生した難民への支援を行った。Save the Childrenも、1976年からECHOの資金供与によってバルフ州で保健医療プログラム等の社会サービスを提供し始めた。

<ソ連侵攻と内戦時代のNGO活動>

1979年のソ連侵攻で発生した大量の難民、国内避難民(IDP)に対する緊急支援において、ソ連侵攻を国際問題にしたい欧米諸国は、国連による支援を後押しし、多くの欧米NGOもアフガニスタン支援を開始した。

また、1980年には米国議会がNGOを通じた支援を基本とする戦略を承認。1980年代後半に、治安悪化に伴って国連機関が撤退すると、難民支援はこれらのNGOに全面的に託されるようになり、一時は200以上の国際NGOがアフガニスタンで難民支援を行っていたとされる。同時に、一部のNGOが米国によるアフガニスタン地域武装勢力に対する武器、資金供与のチャンネルとなり、1980年代中盤に北部同盟に食糧、医薬品等の物資提供を行っていた。また、同時期、欧米アドボカシーNGOが反共産主義キャンペーンを行うことで政治的なツールと化し、アフガニスタンで活動するNGOの中立性の崩壊に手を貸すようになった。このように、アフガニスタンにおけるNGOの歴史は冷戦構造と無縁ではなかった。

1980年代後半にはアフガニスタンとパキスタンでNGO活動が禁止されるに至り、多くのNGOがパキスタン警察や政府関係者、アフガニスタン側の地域武装勢力に賄賂を提供しながら活動を行ったため、パキスタン中央政府がNGO活動に対する規制強化に乗り出すことになった。

このような過去の経緯から、アフガニスタン政府やパキスタン政府には、NGOは西欧化・欧米化のツールであり、容易に反政府勢力と結びつく危険な存在、という認識が広がることになる。そして、NGOはこれらの苦い経験から「中立性」の原則を厳守する必要性を学び取ることになった。

<2001年以降のNGO活動>

タリバン政権時代には、国連機関がアフガニスタンから撤退し、他の援助機関も支援を大幅に縮小するとともに、タリバンが一部を除いて、NGOの活動を徹底的に制限したため、国際NGOのほとんどが90年代半ばには退去を強いられることになった。

2001年のタリバン政権の崩壊によって国家再建が期待されたアフガニスタンには、かつてない規模で国際社会の資金投入がなされることになる。行政機能は機能不全というよりも長年の紛争で中央から末端までが崩壊状態であり、大規模な国家統合構想が実施されるにあたっては、社会の秩序を保っていた地域の部族組織や村の伝統的組織体系の関与をいかに得るかが成否を握ると考えられた。そこ

²⁹ この部分の既述は以下の資料を参考にした。

・Šárka Waisová “Post-war Reconstruction in Afghanistan and the Changing NGO-Government Relationship” China and Eurasia Forum Quarterly, Volume 6, No. 3 (2008) p. 65-85
・Nassim Jawad (2002) “Afghanistan: The Road to Recovery and the Role of NGOs” Seminar Organised by Euron Aid and Voice, Brussels
・Council on Foreign Relations Website / January 18, 2002
“The Role of the Non-governmental Organizations in Afghanistan's Recovery” by DeVecchi P R
<http://www.cfr.org/afghanistan/role-non-governmental-organizations-afghanistans-recovery/p4511> (2013年7月25日アクセス)

で、伝統的・保守的な地域社会との信頼を構築しながら人道支援、復興事業を進めることのできるNGOの能力への期待が否応なく高まることになった。2004年時点では、アフガニスタン国内には2,000のNGOが存在し、そのうち300が国際NGOであった。このようにして、NGOは行政に代わって復興事業を展開する実働部隊として、復興予算の25%以上の事業を実施することになる。

<政府との緊張関係>

しかし、実際には復興、国家統合は思うように進まず、巨額資金がブラック・ホールに飲み込まれていくような状況に苛立ったNGOは、「政府の腐敗と非効率性が復興の大きな妨げだ」と、公然と政府批判をするようになっていく。これに対して政府は真っ向から反論し、当時の計画省大臣が「多くのNGOはまともに援助が行えていない」として、2005年にNGO規制法案を提出する動きに繋がっていく。当時、NGOに対する武装勢力の攻撃が問題になっていたが、政府は対応をサボタージュし、被害が拡大することにもなった。事態を憂慮した現地NGOのネットワークACBARは「The Code of Conduct for NGOs in Afghanistan」を作成し、NGOが自ら透明性とアカウンタビリティの向上に取り組む姿勢を見せたが、政府との軋轢は長く尾を引くこととなった。

また、一部のNGOが地方復興チーム（PRT: Provincial Reconstruction Team）に参加し、NATOの軍事戦略の片棒を担ぐことになったことは、その中立性にあらためて疑問が持たれることに繋がってしまった。PRT、NGO、民間コントラクターの区別がつかない一般市民にも、NGOが「アフガニスタンのアイデンティティ」に有害なものともみなされ、敵視される誤解も生み出した。

<政府機関が抱える問題>

本来、市民に社会サービスを提供すべきアフガニスタン政府は、中央から地方や末端に至るまで、あらゆるリソースが欠如しており、中央、地方間のリンクも弱い。情報システムの欠如により、給与支払いもシステムティックに行えない状況がある。加えて、近年は、州、郡レベル政府関係者をターゲットとする武装勢力の襲撃事件が頻発している。

経験豊富で優秀な人材が民間やNGOに流出してしまう現状にジレンマを抱えつつ、依然として復興事業の実施部隊としてNGOを活用せざるを得ない状況が続いている。

<NGOの基本的役割と新たな役割>

NGOは上記のようなアフガニスタン政府の機能不全を補完し、治安に不安を抱える地方でも、基本的社会サービスを長年提供してきた。今後も、アフガニスタン政府による自律的な行政体制が整うまで、特に地方においてNGOの存在は不可欠なものになっている。しかし、上述のようなアフガニスタンに特有の背景は、NGOに以下のような基本的、及び新たな役割を求めている。

● 中立性と支援の質の高さによる地域受容性の確保

冷戦と内戦を通じた一部のNGOの政治的な動きは、2001年以降のアフガニスタンの住民と政府関係者のNGOに対するイメージにも大きく影響している。中立性の確保に細心の注意を払いつつ、支援の質の高さによって地方行政や住民に受け容れられる関係づくりが求められている。新たな地域での事業展開は一般的に難易度が高く、特定地域ですでに構築している関係にNGOがこだわるのもこのためである。

● 行政のキャパシティ向上への貢献

国連の「United Nations Development Framework In Support to the Afghanistan National Development Strategy 2010 – 2013」は、政府と住民間の信頼構築を促進するため、州、郡、ローカルレベル等、行政組織やコミュニティの能力向上に対するドナーの責任を説いている。背景には、これまでサービスを提供することに注力するあまり、行政と住民間の溝を深くしたのではないかという反省がある。蔓延する汚職という制約はあるが、NGOが行政をカウンターパートと位置づけ、事業展開において積極的に協働を模索するような配慮が求められている。

この点についてアフガニスタンのNGOネットワークであるACBARは、1) 政府の政策に沿った事業デザイン、2) 地域レベル（州、郡、コミュニティ）と事業の関係性（筆者注：政策、優先順位、長期計画）が明示されたMoUの締結、3) 定期的な報告の遵守、4) 事業式典のみならず、NGOが実施する訓練やワークショップへの行政職員参加機会の提供等、が必要だと提言している³⁰。

³⁰ ACBAR(2006) “A Study of NGO Relations with Government and Communities in Afghanistan” p.20

● 副産物としての人材輩出機能

NGOの長きにわたる活動を通じて、アフガニスタンのローカルスタッフ育成が一定の規模で進んできたことは特筆すべき事である。2001年以降の復興開発をNGOが担えたのも、また、現在、多くのNGOが遠隔管理を通じて事業を継続できているのも、NGO活動を通じて現地人材の質が確保されていたからに他ならない。将来的に、アフガニスタンの開発を担う資産として、NGOは引き続き人材育成にも取り組んでいく必要がある。

4-3 アフガニスタン・パキスタン人道支援における「プログラム」の考え方

最後に、プログラムを定義するための3つの要素に、NGOに求められる役割も加味し、アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラムのあり方を検討する。

表 4-1 アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラムを整理する要素

ニーズの発現のあり方	アフガニスタン・パキスタンの状況とJPFプログラム
どのように発生したか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的紛争の被害が蓄積している ・ 長年にわたって開発から疎外されている ・ 行政が機能不全状態か、それに近い状態である ・ さまざまな分野の慢性的なニーズが、地理的にも広域に存在する
どのように変化するか	<p>深刻なニーズが広範囲に存在し、援助受容性も低いことから、ニーズは急激に変化しない</p>
どこで発生したか	<p>すでに多くのNGOが特定地域で事業を展開していた</p>
支援投入規模	<p>全体的なニーズの大きさに比べるとJPFの支援規模は小さい</p>
当該国の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村落の伝統的ガバナンスはNGOに対して警戒感が強い ・ 一旦信頼構築がなされれば協力が得られる。安全の確保にも繋がる ・ 汚職の問題はあるものの、政府、行政のキャパシティビルディングが求められている。

各要素は表4-1のように示すことができ、これらをもとにすると、アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラムのあり方には以下のような視点が求められる。

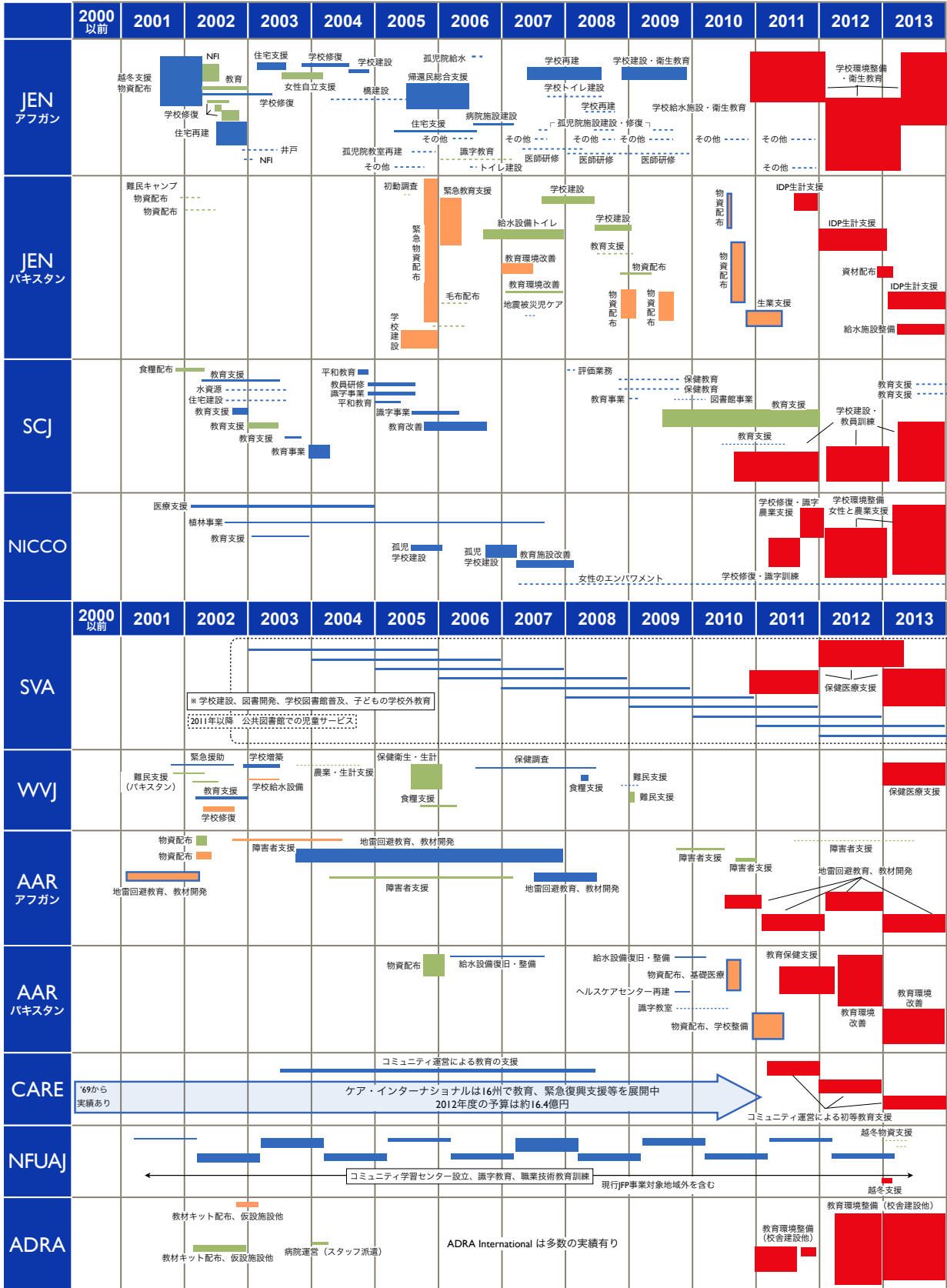
- ① NGOの過去の実績や地域の知見、現地パートナーとの関係性の活用可能性等を考慮した、特定地域での受容性と信頼関係を基礎にした事業展開
- ② 上記の特定地域における優先課題や「支援の届きにくい」エリアを意識した地域選択と、住民の主体的な参加や協力を得られることを期待した「地域密着型」の支援事業の展開
- ③ 短期・緊急の人道支援ではなく、中・長期的な連結性を意識した支援事業の展開
- ④ 地域的にはバラバラ感のあるNGOの活動の意義を整理して伝える、JPFとしての戦略の検討

なお、次頁の表4-2は、本JPFプログラム実施NGOのアフガニスタン・パキスタンでの過去の実績を示したものである。2001年以降の各NGOの豊富な事業実施経験が、今回のJPFプログラムの事業実施に繋がっていることが分かる。現地調査ヒアリングでも、同一、あるいは近隣地域での過去の事業経験によって、「実施可能性が高く」、「住民のオーナーシップ醸成に配慮した」事業計画の立案や、「柔軟な問題解決」を可能にしていると、複数のNGOスタッフ、行政官が指摘している。

表 4-2 アフガニスタン・パキスタンにおけるNGOの過去の事業実績とJPFプログラム

■ = 現行JPF事業と同地域での事業 (複数の地域を含む場合がある)
 ■ = 過去のJPF事業
 ■ = その他の地域
 ■ = 現在のJPF事業

事業規模 □ = 1,000万円 --- = 比較的少額



＜アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラムにおける現地パートナーの存在について＞

現地パートナーとの連携による事業実施体制を考慮することは、アフガニスタンやパキスタンの社会や文化、現状の治安情勢を考慮すると有効な支援体制である。同時に、「丸投げ」という批判を避けるためにも、実施NGOの明確な主体性が求められる。

JPFでは、主体性の条件について従来以下のような理解がある。

- ① 事業計画の立案への主体的な関与
- ② 現地へのスタッフ派遣による実施体制の確立
- ③ 予算・人事権の確保

（「助成ガイドライン 細則4 申請に係る措置」第2条事業の主体性の確保）

この点については、プログラム初期段階で主体性をめぐるやりとりがあり、議論を経て関係者の共通理解が確立したかにも見えるが、補足的に現地パートナーとの関係のあり方について検討しておく。

緊急人道支援の場合に、現地に出向いていくNGOに強い主体性が求められるのは、NGOの機動性や専門性が「存在意義」である限り妥当な制約である。

しかしながら、政府が機能不全状態にあり、中長期的な支援が求められるアフガニスタン等のケースでは、現地のオーナーシップ醸成や人づくりという視点が持続性確保の面からも重要であり、現地提携団体との関係を積極的に活用する戦略が重視されるべきである。

NGOの事業実施形態（当該団体の現地事務所による実施、国際組織のメンバー国とカントリーオフィスという関係、現地NGOとの提携）にもよるので、一般化は困難であるが、自らの主体性を確保した上で、事業を通して現地NGOのキャパビルを進めるアプローチがあってもよいのではないか。

上記を踏まえ、表 4-3に、NGOの実施形態別に、主体性における留意点と、現地人材のキャパビルの視点について整理してみる。

表4-3 NGOの実施形態と主体性の考え方における留意点

NGOの形態	主体性における留意点	現地キャパビルの視点	
NGOの現地事務所が実施	計画・実施・モニタリングにおける、組織としての一体感が求められる	○	組織の人材育成計画に則り、当該事業で何を目的としているかを明確にする必要がある
提携する現地NGOが主に実施	ニーズに近い現地NGOの発意と計画が可能な限り重視されつつ、日本のNGOの関与と適切な助言によって現実性の高い事業デザインとなり、一体的実施体制において品質管理上の助言が行われる必要がある	◎	将来的には現地NGOがより自立し、他ファンドも活用しながら地域に根ざした活動を展開していくことが持続性の「中間地点」と位置づけられる
国際NGOメンバー国オフィスが主体でカントリーオフィスが実施	情報共有、現場のリアリティの把握によってメンバー国事務所が理解を深め、必要に応じて実施に対する助言を行う等してプレゼンスを確保する必要がある	X	FPやIPとしての現地NGOの育成を行うのは一義的にカントリーオフィスの役割である

本章前半で整理したように、アフガニスタンの人道支援ニーズは、短期的な緊急人道支援の場合と区別されるべきで、支援アプローチにおける主体性のあり方についても緊急人道支援の場合と同一に扱うべきではない。主体性の議論が「我が方」の都合（例：単なる日本のNGOのプレゼンス）だけで行われ、例えば現地NGOの主体性の育成を阻害する（単なるコントラクター扱いする）ようなことがないよう、真のパートナーとしての関係構築を行うことが求められている。

第5章 アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラム前期の評価

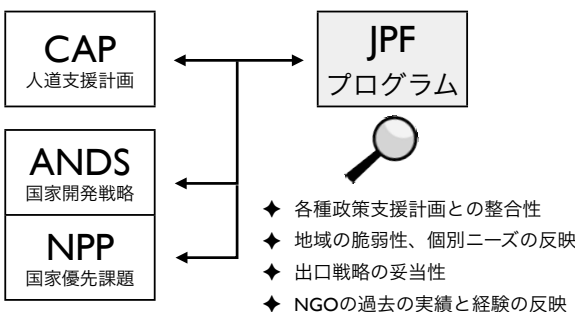
本章では、本プログラムについて「複合的人道危機軽減のインパクトの検証」と「実施支援体制の適切さ」の2つの視点から総合的に評価を行う。

表 5-1 評価の枠組み

目的	評価項目
複合的人道危機軽減のインパクト検証	1. 戦略と事業の妥当性
	2. 事業実施プロセスの適切性
	3. 結果の有効性（「新たなツール」としての価値の検討）
実施支援体制の適切さと課題の検討	4. JPF事務局による事業実施の支援体制の適切さと課題の検討

5-1 複合的人道危機軽減のインパクト検証

5-1-1 プログラム戦略と事業の妥当性



ここでは、JPFプログラムの戦略が妥当であったかどうかを、政策の整合性、地域選択の妥当性、事業分野の妥当性から検証する。

具体的には、1) JPFのプログラム重点分野が、国連の対アフガニスタン支援フレームワーク（UNDAF）や人道支援計画、また、アフガニスタン政府の復興開発戦略等と整合性をもち、他の支援と補完し合うよう調和しているかどうか、2) JPFの支援対象地域が、地域的優先順位に合致しているか、3) JPFの事業展開が地

域毎のニーズに整合しているか、を検証する。また、その際、前章で示した戦略の考え方をもとに、4) NGOの過去の実績がどのように事業展開に有利になるよう設定されているかについても検証する。

(1) JPFプログラム重点分野と国連支援方針の整合性

ジャパン・プラットフォームによる「アフガニスタン・パキスタン複数年人道支援プログラム」の重点分野は以下のとおりであるが、これは「国連の支援フレームワーク（UNDAF: United Nations Development Assistance Framework）」に沿って立案されたと説明されている。

JPFプログラムの重点分野：

- 1 社会基盤の整備 (学校建設、基礎インフラ整備等)
- 2 教育・保健の強化(教員研修、保健衛生教育等)
- 3 平和構築(地雷回避教育、国内避難民の生計支援等)

対象：

アフガニスタン(特に治安が悪い南部を除く)の一般住民
隣接するパキスタンのハイバル・パフトゥンハー州のアフガニスタン難民、一般住民

UNDAFは、副題が「アフガニスタン国家開発戦略を支援して」となっているとおり、後述するアフガニスタン国家開発戦略（ANDS）を支えるための国連の方針である。UNDAFは、以下の3つの優先分野を設定しており、それぞれがANDSに対応している。

UNDAFの3つの優先分野：

分野1	グッドガバナンス、平和と安定	……………	ANDS 1,2	セクター
分野2	持続的な生計（農業、食糧確保、収入機会）	………	ANDS 3,6,8	セクター
分野3	基本的社会サービス（教育、保健、水・衛生）	…	ANDS 4,5,7	セクター

分野名を照合する限り、JPFの重点分野はUNDAFに整合している。ただし、UNDAFは復興開発戦略であるANDSを支えようとするフレームワークであるので、自ずと網羅的になっている。JPFの重点分野がそれに対応しているとすれば、選択と集中を意味する「重点」という語を用いることには矛盾が生じる。

なお、JPFプログラム重点分野「平和構築」における地雷回避教育事業は、分野1のなかの横断的課題として挙げられている「地雷除去」に対応するものと解釈できる。

(2) 国際社会の人道支援戦略との整合性・補完性 — CAP 2011との整合性 —

「CAP(Consolidated Appeals Process)2011³¹」は、JPFのプログラムが始まった2010年当時のアフガニスタン人道支援に関する国際的なフレームワークである。国連（UNOCHA）が主導し、国際NGOも計画立案・実施・モニタリングに参画している。そこで、今回の中間評価の対象時期を考慮し、「CAP2011」とJPFプログラム戦略との整合性を検証する。

CAP2011の各戦略目標と、JPF重点分野と関連するクラスター目標を次頁の表5-2に示す。CAP2011の内容とJPFプログラム重点分野との関係について、以下のような考察ができる。

- ① CAP2011では、人道支援のニーズを「紛争や自然災害によるニーズ」「慢性的な脆弱性によるニーズ」「災害リスク対応におけるニーズ」の3つに分類し、それぞれ戦略目標とセクターを特定している。JPFの人道支援プログラムは、この3つのニーズのうち、「戦略目標2 慢性的な脆弱性によるニーズ（教育、緊急シェルターと物資、食糧確保と農業、栄養改善、マルチセクター）」に対応している。
- ② 上記のようにCAP2011は、人道ニーズの背景を「紛争や自然災害」「慢性的な脆弱性」「災害リスク対応」に分類し、それぞれの対応内容を示すことによって、問題解決のアプローチを具体化しているが、JPFプログラムはアフガニスタンの人道支援全体と重点分野の関係において、メッセージが曖昧である。
- ③ JPFプログラムは安全が確保できる地域での事業を想定しているため、CAP2011の「緊急シェルター、物資提供、緊急連絡通信」等といった一般的な緊急人道支援活動は含まれていない³²。

以上から、JPFプログラム重点分野はアフガニスタン人道支援ニーズのうち、「慢性的な脆弱性」に近い課題を扱っていることがあらためて確認できる。その領域のニーズが膨大であることを考えれば、重点分野の設定自体は妥当である。

ただし、他のニーズとの関係性が十分に説明されておらず、戦略性に曖昧な印象を残す。これは、4章で述べたようなアフガニスタンの人道支援ニーズの特徴に対する分析不足が原因の一つである。

³¹ 現在はCHAP: Common Humanitarian Action Planで、最新版は2012年11月に出版された「CHAP2013」である。なお、2010年まではHAP: Humanitarian Action Planであった。

³² JPFプログラム第2、第3フェーズでは、パキスタンの帰還民支援として物資配布や屋根修理などの緊急人道支援が含まれている。

表 5-2 CAP2011の戦略目標とJPFプログラムと関連するクラスター目標

CAP 2011	
戦略目標 1	紛争影響地や自然災害地に対する支援と保護 (調整機能、教育、緊急シェルターと物資、緊急連絡通信、食糧確保と農業、保健、物資輸送、栄養改善、社会的弱者保護、水・衛生)
戦略目標 2	慢性的な脆弱性から生じる人道ニーズ (調整機能、教育、緊急シェルターと物資、食糧確保と農業、栄養改善、マルチセクター)
戦略目標 3	兵庫フレームワークに基づく「災害リスクの特定、評価、観測と事前準備」 (調整、教育、緊急シェルターと物資、緊急連絡通信、食糧確保と農業、保健、物資輸送、栄養改善、社会的弱者保護、水・衛生、マルチセクター)
JPFプログラムと関連するクラスターの目標	
【教育】	
<戦略目標 1>	紛争、治安、自然災害、慢性的な非開発状態の影響を受けた子どもと青年の「教育へのアクセス」の向上、学校の受け入れ能力の向上（阻害された集団の裨益と男女平等に対する努力を伴う）
<戦略目標 2>	戦略目標 1 に同じ（ただし、特に慢性的に脆弱な層に対する支援）
<戦略目標 3>	教育セクターにおける（慢性的な不安定状態や自然災害への脆弱性に対する）災害対策と迅速な対応能力の強化
【食糧確保と農業】	
<戦略目標 1>	紛争や自然災害によって想定される340万人に対する深刻な人道的危機の回避を目的とした約13万トンの食糧と生活物資購入のための現金・パウチャー 紛争や自然災害の影響を受けた人びとに対するタイムリーで効果的な農業の投入・支援ニーズへの対応
<戦略目標 2>	食糧危機が予想される100万人に対する生産性向上、生産量向上のための技術・生産支援対応メカニズムの強化
<戦略目標 3>	脆弱層のための、主食食糧市場の安定化、草の根レベルにおける持続可能なセーフティネット機構の創造、地域災害や穀物生産危機や食糧価格リスクの軽減、危機管理の計画
【保健】	
<戦略目標 1>	災害や危機における女性や子どもの回避可能な死亡例、疾病や傷害の減少 自然や人的な災害における緊急的医療ニーズに対するタイムリーで効果的な対応
<戦略目標 2>	戦略目標 1 に同じ
<戦略目標 3>	保健セクターにおける自然災害や人的災害に対する備えと対処能力、およびパートナー関係の構築
【水・衛生 (WASH)】	
<戦略目標 1>	紛争、自然災害の被害者や慢性的な脆弱層に対する、持続的で統合され、かつジェンダーに配慮された状態での、妥当な距離にある安全な水へのアクセス、および費用効果の高い公衆衛生施設
<戦略目標 2>	オリジナル資料には既述がないが「戦略目標 1 に同じ」が抜けていると思われる
<戦略目標 3>	地域の拡大や既存のメカニズムに対する評価、強化のための地域団体間の準備対応策の作成と継続的活用

(3) プログラム重点分野とアフガニスタン復興開発政策等との整合性

前述の国連主導の人道支援計画「CAP2011」でも示されたように、アフガニスタンの人道支援ニーズは、紛争や自然災害と、慢性的な未開発状態から生じている。アフガニスタンの国家復興開発戦略には当然ながら後者のニーズが多く反映されている。そこで、JPFプログラムの重点分野とこれらのアフガニスタンの復興開発戦略の整合性を検証する。

まず、アフガニスタンの復興開発戦略立案までの経緯と、国際社会の支援との関連を簡単に振り返っておく。アフガニスタンに対する国際社会の支援体制の枠組みは、2001年12月のボン会議以降ボン・プロセスとして開始された政治的な和平プロセスを基本に、2002年1月のアフガニスタン復興支援東京会議、2004年4月のベルリン国際会議において継続的に検討された。復興支援の重要性が国際社会に広く認識された。その後、民主的選挙による2004年の大統領選出と2005年のアフガニスタン国会下院・県議会選挙の実施によって政治プロセスが完了し、2006年1月のロンドン国際会議において、アフガニスタン政府と国際社会との間の援助枠組みであるアフガニスタン・コンパクトが発表された。さらに、2008年6月に開催されたパリ復興支援会合では、今後5年間の国家開発の指針となる国家開発戦略（ANDS: Afghanistan National Development Strategy）の最終版が公表され、これに沿って国際社会がアフガニスタン復興に対する支援を行うことが再確認されている。

ANDSでは「治安改善」、「ガバナンス・法の支配及び人権」および「経済及び社会発展」の3つの大きな柱のもとに「治安、ガバナンス・法制度・人権、教育、保健、農業・地方開発、社会保障、インフラ・自然資源、公共財政管理および民間セクター開発」の各セクターを設定し、「麻薬対策」「地域協力」「ジェンダー」「汚職対策」「環境」および「キャパシティビルディング」という6つの分野横断的課題が設けられた。

また、2010年7月のカブール国際会議では、ANDSの目標達成に向けた国家優先プログラム(NPP)が発表され、国際社会の支援をアフガニスタン政府の戦略およびNPPに沿ったものに再編成することが確認された。

表5-3にANDSのセクターのうち、JPFプログラムと関連するセクターの概要を、また、表5-4にNPPの概要を示す。この内容から、JPFプログラム重点分野は、アフガニスタン国家開発戦略の主要セクターのうち、人道支援ニーズが多く反映されていると考えられるセクターである「教育」「保健」「農業」の内容と整合している。

ただし、JPFプログラム重点分野における具体的な事業内容が、ANDSで示されたニーズと整合しているかについては、次節で検証する。

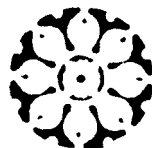


表 5-3 国家開発戦略 (ANDS)とJPFと関連するセクターの概要

ANDSのセクター
<p>教育</p> <p><優先事項></p> <p>1 初等教育就学率向上 ⇒ 60%(女子)、75%(男子)</p> <p>2 教員教育の環境改善</p> <p>新カリキュラムの運営の下、女子教師の 50%の増加、教師の70%が国家試験に合格</p> <p>教育インフラの復興・開発</p> <p>カリキュラムの開発と教材開発</p> <p>イスラム教教育</p> <p>職業技術訓練の充実</p> <p>識字率の向上とノン・フォーマル教育の拡大</p> <p>教育行政の改革と開発</p> <p><その他の優先事項></p> <p>教育省（その他関連省庁）のモニタリング体制の強化や戦略的計画立案能力の強化を通じた地方行政の責任体制の確立と、それによる教育の質とマネジメントの改善</p> <p>国家職業教育・訓練局の実施能力と調整能力の強化を通じた、ニーズ・ベースの職業訓練スキル開発プログラムの開発</p>
<p>保健</p> <p>1 2010 年末までに、基礎医療サービスが少なくとも人口の90%をカバー、妊婦死亡率15%減、5歳以下乳幼児すべてへの予防接種実施、それによる5歳以下乳幼児感染症死亡率20%減</p> <p>2 2015年に産婦死亡率が2002年比で50%減、その後2020年までに25%減</p> <p>3 2015年までに5歳児未満死亡率が2003年比で50%減、2020年までに1/3に減</p> <p>4 2020年までにHIV感染拡大率低下、2020 年までにマラリア罹患率の拡大傾向の抑止と減少開始</p>
<p>農業・地方開発</p> <p>成長分野、生活支援対策としての農業の位置づけと、高付加価値商品作物への転換への民間投資の促進</p> <p>1 農業分野開発による貧困削減</p> <p>2 生計選択肢の提供</p> <p>最貧層や脆弱層を対象とすることとし、ケシ栽培根絶のための努力、小規模農家が貧困ラインを下回らないための農業活動の拡大</p> <p>上記の他に、「治安」、「ガバナンス・法制度・人権」、「社会保障」、「インフラ・自然資源」、「公共財政管理および民間セクター開発」の各クラスターがある</p>

表 5-4 国家優先プログラム (NPP) における6つのクラスター

NPPクラスター
治安 ：①和解と再統合
人的資源開発 ：①技術教育・職業訓練及び労働規制整備、②基礎教育（Education for All）、③高等教育、④女性支援、⑤保健人材育成
インフラ開発 ：①国家地方資源回廊、②採掘産業、③国家エネルギープログラム、④都市開発
民間セクター開発 ：①貿易促進と中小企業、②E-アフガニスタン
農業と農村開発 ：①水・資源管理、②包括的農業、③農村アクセス、④地方機関の強化
ガバナンス ：①経済・財務改革、②透明性と説明責任、③効率的かつ効果的な政府、④地方行政、⑤ 司法（Justice for All）、⑥人権

(4) JPFプログラム重点分野と具体的事業の検証

ここまで、JPFの重点分野が国連の復興支援の枠組みや人道支援計画、また、アフガニスタンの復興開発戦略と概ね整合していることを検証してきた。では、JPFの重点分野では具体的にどのような事業が展開されているだろうか。それを示したものが表5-5、図5-1である。

表 5-5 JPFプログラム重点分野と事業内容

社会基盤の整備	教育・保健の強化		平和構築
学校建設・修復	教員研修	女性のエンパワメント	地雷回避教育
灌漑と農業支援	保健・衛生教育	子どもの学校外教育	地雷被害者を含む障害者支援
保健医療	図書室設置・整備	就学前教育	IDP生計復帰支援
公共施設建設	医療従事者育成	CBS	

この内容からは、以下のような考察ができる。

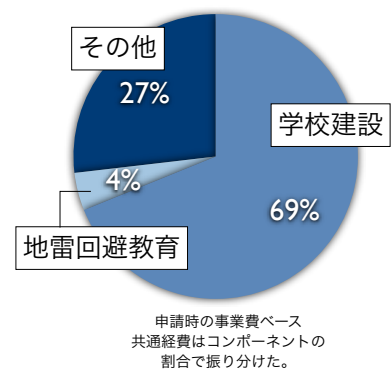
- ① 「社会基盤の整備」における主要な事業は学校建設・修復であり、灌漑施設等のインフラ事業は限定的である。
- ② JPF人道支援プログラムの事業費割合は、ほぼ7割が学校建設に配分されている。ソフトコンポーネントも加えると、ほとんどが教育分野への配分となっている。
- ③ 平和構築分野の具体的な事業は、地雷回避教育とIDP支援となっており、説明を要するよう見受けられる。

このように、重点分野の「名称」と具体的な事業が異なった印象を与える構成となっており、このことがプログラム全体の説得力を低下させている。

予算規模からみると、重点分野は「教育」と「地雷回避教育」ということになる。つまり、各種政策とJPFプログラム重点分野の分野名レベルの整合性を検証してきたものの、JPFプログラム重点分野の具体的な中身は、必ずしも分野名を象徴しておらず、「分野は網羅的、具体的事業は特定分野に特化している」という結果になる。すなわち、これらから、**JPFプログラムの重点分野がどのような戦略性を持っているかが分かりづらくなっている。**

なお、ここでは主にアフガニスタンの事業に限定して検証した。

図5-1 事業費割合



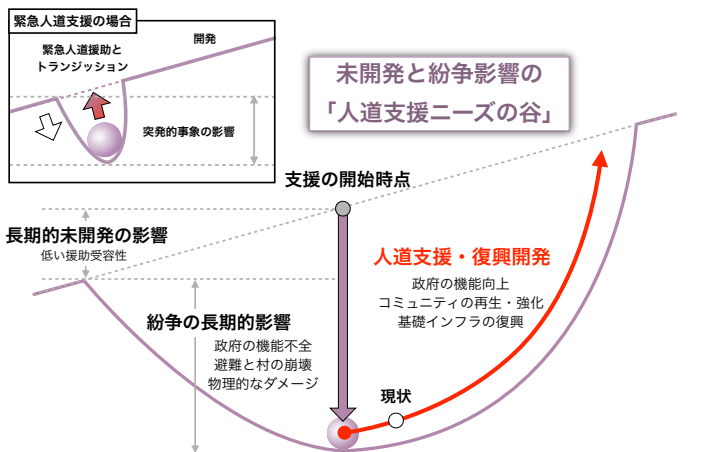
(5) 出口戦略の妥当性

人道支援や開発支援における出口戦略のあり方にはさまざまな考え方があるが、人道支援の「出口」が復興開発への移行（トランジション）と考えれば、出口戦略とは「人道支援から復興開発への移行期後に急激な援助のギャップが起これないような配慮がなされた戦略」であり、「人道支援への依存体質が生じないタイミングでの復興開発への移行が織り込まれた戦略」と考えることができる。途上国の場合、それは政府機関の機能が回復し、ドナーが通常の開発支援に再び集中することを意味する。

しかし、このような「短期的な支援とその後のトランジション」を想定した考え方は、自然災害等の突発的な事象によって発生した人道支援ニーズのケースを前提としている。前述のように、アフガニスタンの人道支援ニーズは長きにわたった紛争影響の蓄積と、その間の未開発が引き起こした複合的ニーズである。そのため緊急人道支援のように「人道支援から開発へのトランジション」と短期的・直線的に進む流れではなく、図5-2のように、政府が当面の間機能不全であることを前提に、人道支援と開発との境目がないニーズの対応が中長期的に続かざるを得ないのが現実である³³。

³³ CHAP 2013でも“Humanitarian context”として同様の理解を示している

図5-2 アフガニスタンの人道支援ニーズの谷



その意味では、アフガニスタンの復興開発が始動した2001年当時のドナーの考え方は、今振り返れば、かなり楽観的な将来予測であった。アフガニスタンの復興開発・人道支援は、当初の想定よりも長期に及ばざるを得ないというのが、この10年の学びであり、現在の国際社会の認識であろう。

JPFによる人道支援プログラムは2015年末で終了予定であるが、その時点で人道支援のニーズの多くが満たされ、行政のキャパシティが大きく改善しているとは考えられず、そもそも出口戦略を語ること自

体が乱暴な議論と言わざるを得ない。

それでも、あえて「出口」を探るならば、もっとも近いマイルストーンとして「行政や現地市民社会組織（CSO）のキャパシティ（開発の実務能力と地域の平和構築に関する能力）の一定の向上」という地点を設定することは可能かもしれない。直接的な「サービス・デリバリー」に加え、行政関係者等のキャパビルを行っていくアプローチである。

このような視点でJPFプログラムの出口戦略を検証すると、JPFの出口戦略は極めて曖昧で、緊急人道支援との区別も明確でなく、そのために関係者の認識にギャップが生じたまま、「サービスデリバリー」に偏った事業が展開されてきた感がある。

また、資金供給が都合によって減額または消滅する場合があることも考慮して、そのようなケースにどう対応するかという「消極的」な意味合いでの出口戦略も持たなければならない。これについても、JPFプログラムは徒手空拳であった。

いずれにせよ、これらはプログラムの考え方が整理されなかったことに起因する混乱であり、よって、出口戦略の評価はここでは行わない。なお、他の開発資金による人道支援の継続を模索する努力は「継続戦略」であって、出口戦略の議論とは区別すべきである。

（6）地域選定の妥当性（プログラム実施対象地域と優先地域の整合性）

ここでは、JPFプログラムの事業対象地の選択が、アフガニスタン全体、パキスタン北西部の地域優先度に合致していたかどうかを検証する。

まず、JPFプログラムにおける対象地選定には、2つの条件がある。一つは治安上の懸念が少ないことであり、もう一つは当該地域に（海外の）NGOを受け容れる受容性があることである。前者は日本人スタッフによるモニタリングが想定されていたであろうこと、後者はアフガニスタンの村のガバナスを考慮するとき、地域関係者との信頼関係が構築できなければ効率的な事業実施が困難だからである。また、コミュニティ運営による教育支援（CBS）のように、既存の公立校とのサテライト体制を作る必要がある場合には、自ずと地域が限定されるケースもある。

つまり、たとえ人道支援ニーズの優先度が高くても（ひとつは安全確保のために、もうひとつは効率的な事業実施のために）事業が実施できないというジレンマを抱えざるを得ない。これを考慮した上で、事業実施地域選択の妥当性を検証する。

ここで用いるのは前述のCAP2011の最新版にあたる「CHAP2013³⁴」である。

表5-6に示すように、JPFプログラムの事業対象地における「教育セクター」の優先度は軒並み低い。保健セクターではヘラートが「5」、その他の地域で「3～4」と脆弱性が高い。水・衛生では、ナンガルハルが「4」、その他の地域が「3」レベルとなっている。地雷回避教育対象の地域では、パルミヤン以外の地域では、優先度の高い「3～5」となっている。

³⁴ これ以前の年度では地域別の分析がない。地域の状況はプログラム開始時と大きく変わらないとの推測のもとに用いる。

表 5-6 CHAP2013による州別ニーズ・脆弱度分析 白抜き番号がJPF対象地

地域		州	教育	保健	水・衛生	地雷	食糧・農業	治安
北・東部	1	Badakhshan	1	5	4	2	5	3
	2	Takhar	1	2	4	4	2	3
	3	Baghlan	2	4	3	5	1	3
	4	Kunduz	2	2	3	2		4
北部	5	Balkh	1	4	4	2	2	3
	6	Jawzjan	2	2	5	1	2	3
	7	Sari Pul	2	2	4	1	4	3
	8	Faryab	1	4	4	1	2	4
	9	Samangan	2	3	5	4	4	3
西部	10	Hirat	1	5	3	4	1	4
	11	Badghis	4	4	3	1	3	3
	12	Farah	3	4	3	2		4
	13	Ghor	4	4	3	1	4	3
南部	14	Kandahar	4	5	4	3	3	5
	15	Hilmand	4	5	4	2		5
	16	Nimroz	3	4	4	1	1	2
	17	Uruzgan	5	3	4	1	3	4
	18	Zabul	5	4	4	1		3
東部	19	Nangarhar	2	4	4	2	1	5
	20	Nuristan	3	5	5	1	5	2
	21	Laghman	4	2	4	1	4	3
	22	Kunar	4	5	4	1	4	4
中央高地	23	Bamyan	2	4	4	1	4	2
	24	Daykundi	1	5	4	1	4	2
南東部	25	Ghazni	4	5	3	3	3	4
	26	Khost	5	5	3	2	4	4
	27	Paktya	4	5	4	2	4	3
	28	Paktika	5	5	3	1	4	4
中央部	29	Kabul	1	4	3	5		4
	30	Kapisa	2	3	3	2	1	3
	31	Panjsher	2	2	4	3		1
	32	Parwan	2	4	3	5		3
	33	Logar	4	4	3	4	1	4
	34	Maydan Wardak	4	3	2	4		3

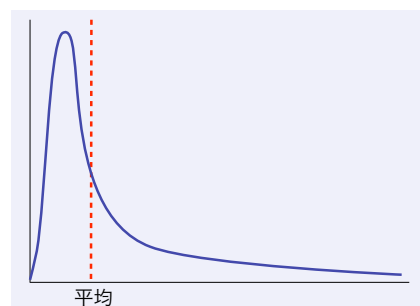
数値の大きさがニーズや脆弱性の高さを表す。数値がない部分は情報不足によるもの。なお、各セクターの値からは、その地域のセクターの優先度を求めることはできない。

この結果からは、

- ① 一部の事業対象地域選択が、アフガニスタン全体の地域優先度とは合致していないようにも見受けられる。
- ② 州毎に集計されてはじき出された「平均値」は、あくまでも対象の個別性を中和し、集団としての特性を示していると考えられる。治安状況を含めて、「平均化」される前の個別の事業がどのようなものかを見極める必要がある。
- ③ CHAP2013では、教育セクターの指標が「女性教師の割合、生徒の女性の割合、治安リスク」と設定されるなど、やや評価軸が偏っている場合がある（ただしそれらが他の脆弱性の代替指標と考えることもできる）。
- ④ 「治安状況」のデータからは、多くの地域に安全管理上の問題があることを示しており、単にセクターの優先度だけでは地域選択ができないことがあらためて確認できる。

以上も参考に、地域選定の妥当性（事業対象地域と実際の優先地域の整合性）については、以下のような考察を行った。

地域別脆弱性の数値評価は、当然ながら個別の数値集計の結果、平均値として示されている。ここで重要なのは、アフガニスタンやパキスタンの難民キャンプのような場合、右図のように半数近い対象者が低い指標値の領域に集中するパターンが想定されることである。また、NGOの事業は州全体をカバーするものではなく、ピンポイント的なエリアをカバーすることが多い。このように考えると、州全体の平均値の違いに注目するよりも、おそらくどの地域にも存在すると考えられる脆弱層を把握するに至ったか、つまり、いかにその地域でのニーズに肉薄するエリア選定、事業立案プロセスがなされたかに評価の重点をおいたほうがよい場合もある。



また、本節冒頭で述べたように、地域選択のもう一つの条件は「地域の受容性」あるいはNGOが過去に築いてきた関係性を重視した選択である。これについては、後段で検証する。

よって、地域選定の妥当性については個別の判断を強わず、他の評価の項目も参考に戦略の妥当性の中で総合的に判断することが望ましい。

（7）開発アクターの「疎密度」による地域選択の妥当性の検証

地域選択の妥当性のもう一つの側面として、他団体との効率的な連携を模索すると同時に、無意味な競争をさけ、支援の届かない地域を優先する「アクター疎密度」という視点も必要である。

これについては細かいエリア毎の正確なデータがないが、2つの二次資料と現地調査の結果から検証する。

まず、前出の「CHAP 2013」によれば、JPF事業地（州）の開発アクター数（国連、NGO）は表5-7のとおりである。具体的な事業内容と事業規模を明らかにするには至らなかったが、いずれの事業地でも複数のアクターが事業展開している。

表 5-7 地域別開発アクター数

州	教育	保健	栄養	水・衛生	団体数
Kabul	6	34	5	5	72
Kapisa	4	6	2	1	26
Parwan	15	5	2	1	35
Bamyan	13	8	6	3	37
Herat	19	12	6	1	45
Nangarhar	3	18	4	1	45

出所：UNOCHA(2012) “CHAP 2013”

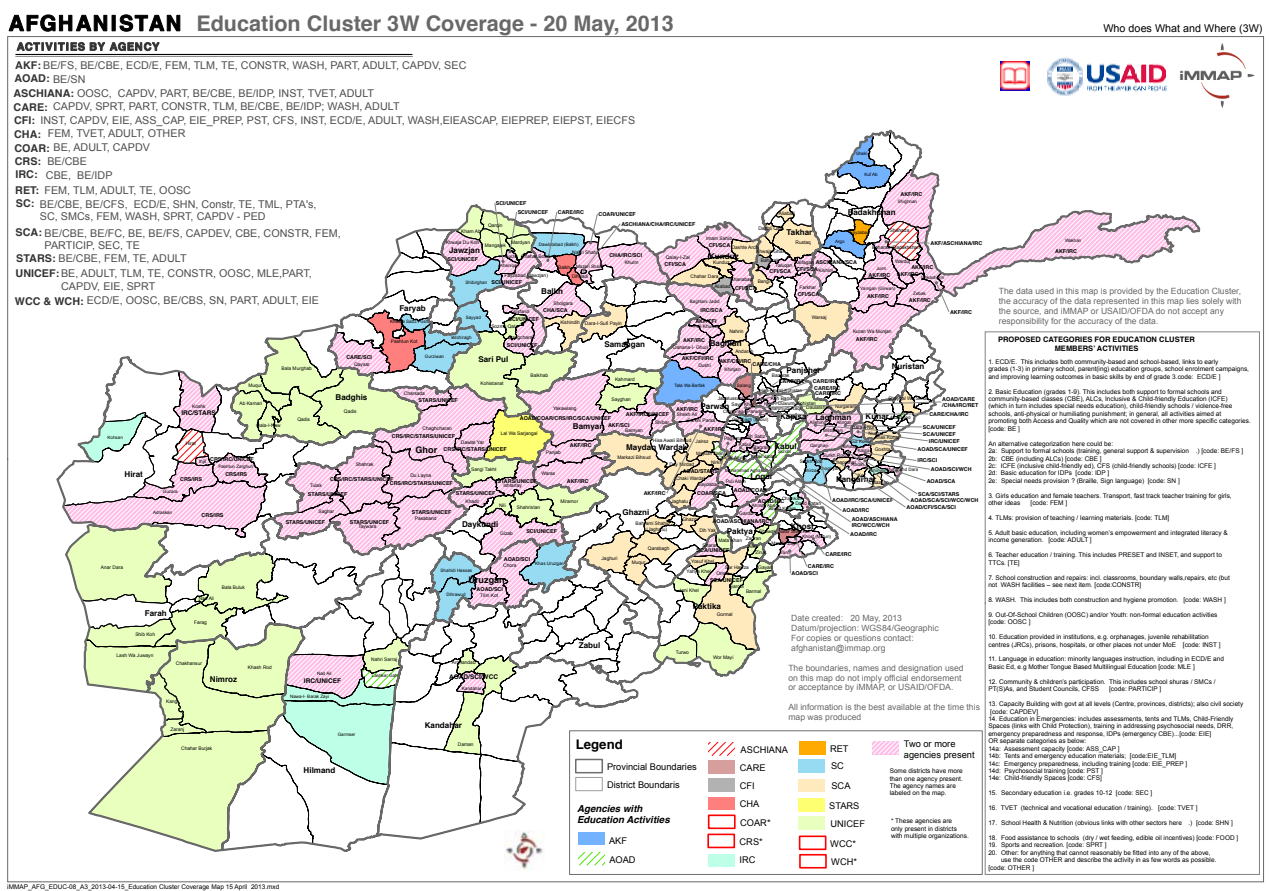
また、JPFプログラムで最も重点的に事業展開がなされている教育分野について絞ってみると、UNOCHA/iMMAPの「3W "Who does what where"」（2013年5月版）は、図5-3のように、より少ない団体数を示している³⁵。この2つのデータは州毎に集計された数値であり、それらの団体の多くは、ピンポイント的エリアでの活動を行っていることが多いとすれば、地域内での競合はほぼ考えられない。

一方、現地調査の結果では、「（当該セクターにおいて）ほとんど他の団体からの支援がない」と答えた地域が多く、複数のヒアリング対象者（行政、受益者）の回答に矛盾がないことから、JPFプログラムは、支援の届きにくい地域で事業展開されているケースが多いと判断できる。

これらから、開発アクター疎密度からみた事業地選択の妥当性に、特に問題は見いだせない。

なお、パキスタン北西部での事業については、客観的なデータが揃わなかったが、実施NGOの申請書やKPK地域の現地調査からは、他の開発アクターと競合は確認できず、むしろ当該分野でほぼ単独唯一の支援団体となっており、パキスタンについても地域選択に特に問題は指摘できない。

図 5-3 教育分野の「3W」資料によるJPF対象地域の他団体の存在



カブール州バグラミ郡： AOAD/IRC	カピサ州西部： CARE/IRC	パルワン州ジャバルサラージ郡： CARE/CHA
パルワン州サラン郡： なし	パーミヤン州パーミヤン郡： AKF/SCI	パーミヤン州ヤカワラン郡： AOAD/COAR/CRS/IRC/SCA/ UNICEF
ヘラート州ヘラート市周辺： Aschiana Foundation、CRS/ IRC/UNICEF（インジル郡）	ヘラート州クシュク郡 IRC/STARS	【太字はJPF実施団体を指す】 (現地の認識により団体名が異なる)

出所：iMMAP “Education Cluster 3W Coverage - 20 May, 2013”

³⁵ 2章で述べたように、データ収集や作業の方法によって統計数値が異なるのはアフガニスタンの実情である。

(8) 事業内容と地域優先課題との整合性

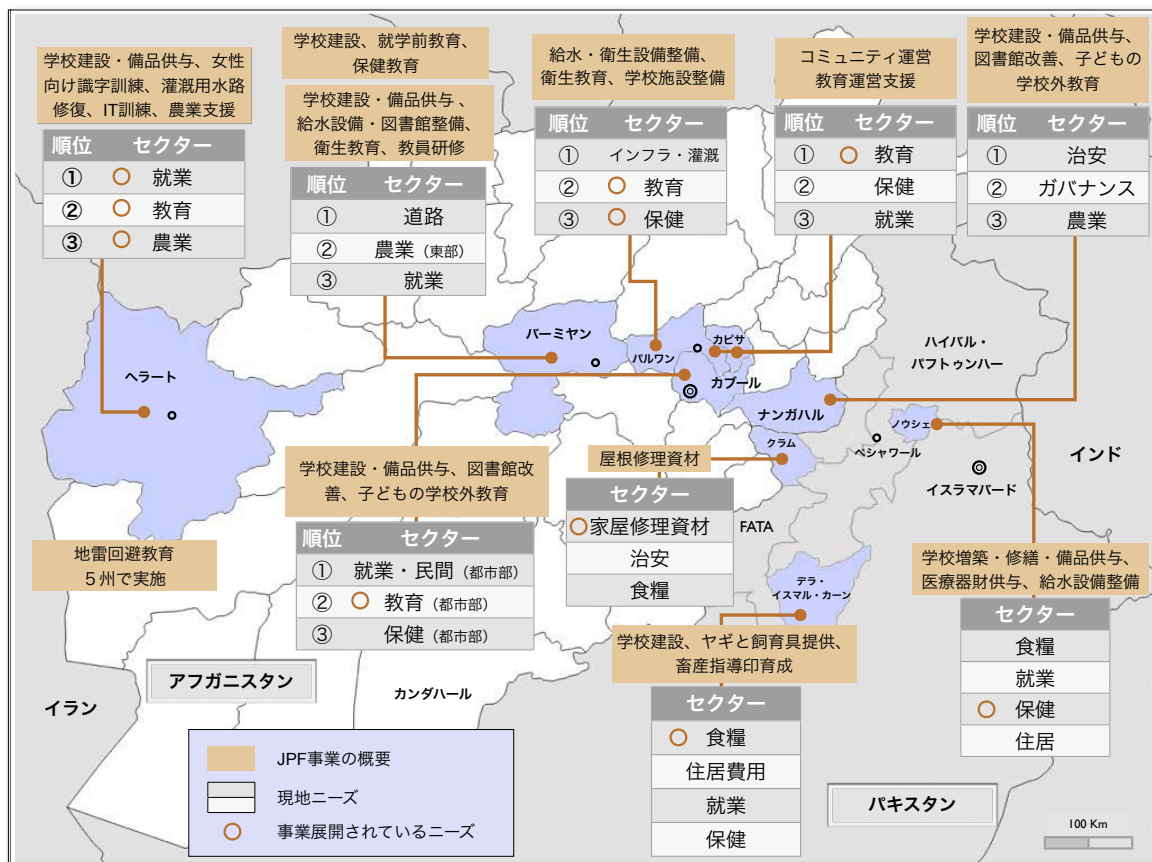
次に、NGOが1) 安全性の確保、2) 地域との過去の関係性、3) 地域の脆弱性を基本に地域選択を行った後、自らの専門性で対応できる範囲でその地域の優先課題に取り組んでいるかどうか、つまり、JPFプログラム事業内容と地域優先課題の整合性について検証する。

地域ごとのセクター優先度を示すものには、ANDSの「Provincial Development Plans (PDPS)」、パキスタンでは「IDP Vulnerability & Profiling Assessment³⁶」がある。それらによれば、JPFプログラム事業対象地における優先セクターは、図5-4のとおりである。同図に示したようにNGOの事業展開内容と比較してみると、一部の優先ニーズは満たされていないケースがみられる。また、現地調査でも多くの関係者が「保健分野（主にクリニック）」のニーズを挙げているにもかかわらず、JPF事業ではほとんど対応がなされていない。これについては、以下のような評価ができる。

- ① ANDSの優先課題としては、1～3位の分野しか取り上げられていないが、NGOが取り組んでいる課題（主に教育）は国家的な優先課題であり、いずれの地域でも上位の優先課題となっていることは間違いない。
- ② その上で、NGOの専門性（過去の経験）、事業費規模、リソースの存在（例：医師や医療従事者）等の条件を考慮し、総合的に事業計画が立案されたものとも考えることもできる。しかし、これはかなり好意的な見方である。
- ③ いずれにせよ、現地の全体的なニーズと優先課題に対して、どのようなプロセスを経て事業形成に至ったのかについて明らかではない。

各種資料でも他の優先ニーズの存在や、それらがどのように解決されようとしているかについて、JPF、NGOとしても十分に整理・説明されておらず、地域優先課題との整合性において、やや説明が不足しているということが出来る。

図 5-4 地域別支援ニーズ優先順位 ○は優先度との合致



³⁶ IVAP Website
<http://www.ivap.org.pk/SummaryData.aspx> (2013年9月1日アクセス)

(9) 事業のコンポーネントの妥当性

ほとんどのNGOが、主たる事業にサブコンポーネントとも呼べる複数のコンポーネントを組み合わせ、事業を展開している。この「複数コンポーネントの組合せの妥当性」については、事業評価委員会でも課題が指摘されている。

これについては、現地調査のヒアリングにおいて肯定的な意見が多かったものの、具体的にどのような妥当であったのかは明確にできなかった。この点は、その場で追加的に質問が出来ない今回の評価手法（遠隔管理による現地調査）の制約である。

NGOに対する本邦でのヒアリング結果も参考にして検討すれば、以下のような評価ができる。

- ① 主たるコンポーネントである「ハード」と、それがより効率的に利用されるための「ソフト」支援がパッケージとして提供されることで、総合的な効果を生み出している。例としては、学校建設と教員研修、ECD等である。
- ② また、その地域での事業展開を、「多くの関係者が地域の改善に参加することを促進し、コミュニティの強化・活性化の機会」と捉え、例えば、学校建設というシンボリックな事業と並行して他のコンポーネントが動くことで、より多くの住民が参加し、共同体の関係強化にも繋がる効果がある。

しかし、申請書や評価委員会資料を見る限り、それらのメカニズムや効果に対する説明が十分整理されているとは言いがたい部分もある。現地関係者が肯定的に捉えているだけに、より分かりやすく、説得力を持つ論理的なコンセプトの提示が求められている。

(10) NGOの過去の実績が活かされ主体性が確保された事業展開デザインであったか

<NGOの過去の実績と事業展開>

JPFプログラムに参加しているNGOが、2001年以降、着実にアフガニスタンでの事業経験を積み上げ、特定地域との関係構築を行って地域に密着する事業展開を行ってきたことは前章で示したとおりである。4章の図4-1からは、その「資産」を十分に活用する形で本JPFプログラムの事業形成、地域選定に至ったことが、あらためて確認された。

また、この間に、いくつかのNGOは、現地NGOをパートナーとして見極め、連携体制による事業運営管理が可能になる関係を構築してきた。申請資料、補足資料、現地調査の結果からも日本のNGOと現地NGOが補完関係を築いていることが確認された。

このように、NGOの過去の実績が活かされ、一部では現地団体との連携体制を活用しながら、NGOの主体性が確保された事業展開デザインであると評価出来る。



JPFプログラム戦略と事業の妥当性の検証結果 「★★★★☆ 高い」

JPFプログラムが政策の整合性、地域選択の妥当性、事業分野の妥当性を検証した結果、

- 1) JPFのプログラム重点分野は、アフガニスタン支援の各種政策（国連の対アフガニスタン支援フレームワーク（UNDAF）、人道支援計画、また、アフガニスタン政府の復興開発戦略）と整合している。
- 2) 予算配分上の実際の主な事業は「教育」と「地雷回避教育」であり、JPFプログラム重点分野の具体的な中身が、必ずしも分野名を象徴していない。このため、JPFプログラムの重点分野がどのような戦略性を持っているかが明確でない。
- 3) JPFによる人道支援プログラムは2015年末で終了予定であるが、JPFプログラムは将来的な支援の方向性について曖昧なままである。これは、プログラムの考え方の整理が出来ていないことに起因する。
- 4) JPFプログラムの地域選択や地域での事業内容に大きな問題は指摘できないが、地域における他の優先ニーズとの関係については若干説明が不足している。また、個別プロジェクトのコンポーネント間の相互作用について、より説得力ある説明が求められる。
- 5) 地域との関係や地域の知見といったNGOが積み上げてきた「資産」を十分に活用し、NGOの主体性が確保された事業展開デザインであった。

これらから、JPFプログラムの重点分野は戦略性に欠けるものの、実施されている事業は人道支援ニーズの主要な領域と一致しており、妥当性は高い。

（なおパキスタンについては一部分の評価にとどまっている）

評価レーティングの説明

★★★★★	極めて高い	ほぼ全ての評価の項目において高い評価を得た
★★★★☆	高い	多くの評価の項目において高い評価を得た
★★★☆☆	一部に課題がある	一部に課題があるものの、概ねよい評価を得た
★★☆☆☆	問題がある	多くの問題が指摘された

5-1-2 事業実施プロセスの適切性

ここでは、各実施NGOの事業実施（オペレーショナル）レベルでのプロセスの適切性について、NGOに対する本邦でのヒアリング、現地調査、報告書等の資料をもとに検証する。なお、「プログラム」の実施プロセスの適切性については、「JPFの支援体制の適切さ」の部分で検討することとする。

（1）現実的な目標設定と成果把握のためのベースラインと指標設定の適切性

事業実施に際して、初期の段階で有用な定量的指標を設定することは、事業の活動状況、成果、目標達成の状況をモニタリングし、マネジメントサイクルによって改善を行うために重要な作業である。そのためにも、事業地選定の際の基礎調査や事業開始直後のベースライン調査に基づく指標を設定し、それらの結果について地域関係者とも共有しておくことが望ましい。

ここでは、NGOのベースライン調査の実施の有無、主要関係者との結果の共有、事業開始後の指標設定の適切性を検証する。

- NGOに対する本邦でのヒアリングでは、以下のような説明があった。

- ① ほとんどの事業でベースライン調査が実施されていた。
- ② 人口統計等、基本的な統計データの信頼性が低いことが指標設定を困難にしている。
- ③ 1年単位の事業サイクルとなっているなかで、指標が「苦し紛れ」の設定とならざるを得ない。
- ④ 特に、研修の成果や行動変容についての指標による把握は困難が多い。
- ⑤ 行動変容のように定性的手法も交えて捉えるべき対象もあるが、どのように実施すべきか、適切な方法論がなく、また、JPF助成審査、評価委員会の共通認識を得る上での困難がある。

- また、現地調査ヒアリングからは、以下のような成果と課題が確認された。

- ① ベースライン調査はほとんどの団体で実施されており、一部では、事前・事後アセスメントを実施している。
- ② また、設定した指標を用いて定期的なモニタリングも実施している。（現地スタッフによる説明）

冒頭にも述べたように、指標設定の目的は事業運営のマネジメントサイクルを回していく上での情報を提供することであり、そのための実態把握作業が求められる。**各団体がベースライン調査を実施し、設定された指標の把握に努めていることは評価出来る。**

問題は、「1年フェーズ」の事業において、把握すべき「変化」が本当に起こりえるのかという点である。そもそも、1年単位の事業となっているのは予算システム上の都合に加え、短期的に状況が変化していく緊急的人道支援を想定した期間設定であろう。アフガニスタン・パキスタン北西部における人道支援ニーズを考慮すると、指標の考え方はやや長いスパンを設定する必要がある。

表 5-9 指標の考え方

関与のタイミング	事業実施	事業実施後	追加的インプット	長期的働きかけ
指標	インプット指標	アウトプット指標	アウトカム指標	持続可能性指標
ハード	建設作業の実施	建造物の出現	ハードが活用された 具体的活動の成果	政府や地域社会が 継続的に活用して いくための仕組み
ソフト (研修を例に)	研修の実施	「知識」「認識」 の変化 (数年)	「行動」の変化	継続的な向上心と 自律的学習の環境

表5-9に示したように、事業の実施によって得られる変化は、ハードでは建造物（校舎等）であるが、ハードが教育活動の「質」を改善し、なおかつ建造物のライフサイクルまで見据えた持続性を担保するには、本来、追加的なインプットや長期的な働きかけが求められるはずである。

ソフトコンポーネントでは事業のアウトプットとして知識や認識の変化が期待できるが、1年の事業単位ではそれさえも困難な場合がある。行動の変容にまで結びつくまでには一般的には長期的な関わりが必要である。

また、開発行為によって持続性ある成果を得るためには、財政、法制度、社会環境、基本的人権といった開発における他の諸条件が整う必要があることも考えると、1年単位の人道支援によって通常の開発の成果を求めることは困難が多いはずである。「苦し紛れ」の指標設定は、マネジメント上の実質的な効果は得られないばかりか、「置物」的な指標によってモニタリングが形骸化する可能性もあり留意が必要である。

しかし、これら指標の問題は本JPFプログラムのもつ根本的な問題に眼を向けさせる。すなわち、長期的関わりが求められていながら、単年度毎に新規の事業地（対象村）が設定されているために、十分な結果がでないままプログラムが進行しているのではないかという点である。

単年度による事業契約形態は所与のものとしつつも、指標については3年から5年の期間のアウトカム指標と目標を設定する等の改善が求められる。

（2）事業立案、実施における合意形成や情報共有、人道的側面に配慮された事業実施等の適切性

ここでは、事業立案段階での地域調整機能（クラスター会議等）への参画、地域関係者との透明性のある合意形成、柔軟かつ持続性に配慮した事業実施、脆弱層への配慮等の人道的側面への配慮、関係者への情報提供等、事業実施プロセスの「質」について検証する。

● 現地調査ヒアリングからは、以下のような成果と課題が確認された。

- ① 現地の調整会議に積極的、かつ継続的に参加し、行政の意向も尊重しつつ支援の届きにくい脆弱な地域での事業実施に結びつけていることが確認された。
- ② 透明性の高い合意形成プロセスに対し、行政官、地域関係者（長老や住民）からも高い評価があった。特に、きめの細かい対応にいくつかの行政当局が手放しの評価を与えていた。
- ③ 事業実施中に行政当局や住民らと複数回の協議の場を持つ等、情報共有が行われていることも確認された。
- ④ 建設された学校の維持管理を目的とするコミュニティ維持管理グループが設立される際、多くのケースでNGOのファシリテーションがあった。（住民自身が自主的に設立したケースもあった）
- ⑤ コミュニティの意見を取り入れて建設の仕様（トイレの位置等）を変更する等、柔軟な対応がなされたこともあり、住民の評価に繋がっていると考えられる。
- ⑥ 建設用地や資材調達において問題を抱えるケースもあったが、住民の協力も得ながら問題解決にあたった姿勢に好感が持たれていた。
- ⑦ ただし、行政官などにベースライン調査等の結果が共有されていないケースがあった。学校建設の予算状況等、詳細も共有されていなかった。これは現地の「汚職の蔓延」というやっかいな問題を十分に考慮する必要があるが、行政のキャパビルに対するNGOの関わり方の検証が求められる。

上記のように、NGOは地域に密着する存在として、事業展開においてキーとなるステークホルダーに適切に働きかけていた。結果として、事業進捗に伴って地域との良好な信頼関係を構築するに至っており、後述するように現場での安全対策にも好影響を与えていると考えられる。**十分に説明責任を果たし、関係者の主体性に配慮した適切なプロセスによって事業実施が行われたと評価出来る。**人道的側面への配慮については、NGOからのヒアリングでは障がい者に配慮した建設デザイン、女性と子ども

もに配慮した事業内容等、いくつかの実績の説明があった。また、現地調査では事業展開上の現地スタッフの治安に配慮するといったコメントが多かった。

一方、事業の技術的な情報が行政等と共有されていないことについては、前述のように汚職の土壤があることを考慮しつつも、何らかの工夫があっても良いのではないか。NGOが行政機能を長期間代替せざるを得ない現状を考慮すると、可能な範囲で行政のキャパシティビルディングを行う事は、現在のアフガニスタンにおけるNGOの役割の一つであるはずである。

(3) 危機管理、リスク対応の適切性

ここでは、事業実施に際しての危機管理体制やリスク対応のあり方についての適切さを検証する。

事業実施においては、その前提条件やリスク、外部要因を特定することになっているが、アフガニスタン、パキスタン北西部の現状から、多くの事業が「治安状況の変化」を挙げている。そこで、ここでは安全管理体制に絞って³⁷、その対応の適切さを検証する。

● NGOに対する本邦でのヒアリングからは、以下のような点が確認された。

- ① 基本的に、JPFの共通安全原則、外務省の安全5原則に則った業務体制が敷かれている。
- ② 現地では、多くの団体にセキュリティオフィサーがいるか、安全対策を担当するスタッフがあり、ANSOの情報も吟味しつつ、日々の行動についての細かい判断を行っている。また、セキュリティ機器や安全対策マニュアル等、ハード面、ソフト面での対応がなされている。
- ③ 地域関係者との関係構築の重要性を強く認識しており、実際に関係構築を通じて安全対策に係る情報が提示され、事業地の変更等に至ったケースもある。
- ④ 上記の共通安全原則のうち「防弾車の使用³⁸」については、個別のケースについて協議するとされているものの、「違う車両が村に入ってくるだけで警戒される」ような地域で、防弾車というハイ・プロファイルなプレゼンスがかえって安全を損ねることになりかねない現地事情を、さらに多くの関係者が共有する必要も指摘された。

● 現地調査ヒアリングからは、

- ① 定期的な安全対策の訓練も含め、基本的には危機管理体制が構築されていることが確認できた。
- ② 今後の社会情勢の動きについて、行政官レベルでは楽観的な見方が表明される一方、市民やNGOスタッフの一部からは最近の治安状況の変化（悪化）に対する言及や、将来の動きに対する懸念も示された。

上記のように、**物理的な安全対策システムと安全管理のマインドが確立されている**ことが、概ね確認できた。

今後のことに触れれば、まず、危険を冒して（アフガニスタン、パキスタンは全地域に危険があると考えるべきである）現場にでている現地スタッフをいかに守るか、という視点をJPFの執行部、JPF事務局、NGOが持つべきである。日本人スタッフが現地にはない遠隔管理体制であっても、人命にリスクのある事業が展開されていることに変わりはない。全ての意思決定（事務処理を含む）が、この点を念頭に置いたものである必要がある。

現場で危機に直面する可能性のある現地スタッフの行動様式には、現地を知るものでなければ分からない「勘＝センスや、情報の嗅ぎ分け能力」があると考え、彼らの人脈を活かした情報収集と柔軟な対応は日々の安全管理に欠かせない要素であり、オペレーションにおける安全管理の現場の裁量を今後とも十分に認めるべきである。

³⁷ 他には、為替レートの変動と資材費の高騰による資金問題も議論にあがったが、現行のシステムでは受容対応しか選択肢がない（エスカレーション対応等の制度がない）ために、ここでは触れない。

³⁸ 「JPF アフガニスタン・パキスタン人道支援複数年事業/アフガニスタンで活動する際の共通安全原則」5. 移動/行動体制 5.1 車両 「国際スタッフが出張時に使用する車両につき、基本的に防弾車を用いることとしつつ、個々のケースについて、外務省と協議の上、安全確保の観点から総合的に判断する。」の項

治安維持の権限移譲が最終段階に入り、アフガニスタンの治安状況は従来とは異なるステージに入ったと指摘する意見も多い。2014年に直面する新しい局面では過去の行動様式が、今後も最適な行動とは限らない。リスクの軽減と危機管理におけるコンティンジェンシー（どのような対応をするかを前もって決めておく）プランの作成が求められる。これについては、6章でさらに検討する。

（４）実施体制の適切性

ここでは、事業実施に適切な人員が配置されたか、また、遠隔管理における適切なモニタリングとコミュニケーション体制が確立されていたかについて検証する。

- NGOに対する本邦でのヒアリングからは、以下のような点が確認された。
 - ① 現地スタッフとFace to Faceで業務を遂行した機会があった場合と、そうでない場合とでは、遠隔管理のスムーズさに大きな差があるように観察された。そのため、インドやパキスタン等周辺国での定期調整会議の必要性、実施頻度についても団体によってまちまちの認識があったが、今後の定期調整会議については、いずれも高い必要性を認めていた。
 - ② 遠隔管理体制においては、改善のためのさまざまな試行錯誤がなされているが、Eメールによるコミュニケーションや情報収集に予想以上の時間とエネルギーを要することについて、複数の団体から指摘があった。ただし、特に大きな問題は指摘されなかった。
- 現地調査ヒアリングからは、以下の点を確認できた。
 - ① NGO現地スタッフに対するヒアリングでは、現地人員体制（配置人数と役割の明確さ）に問題は見いだせなかった。ただし、遠隔管理体制に移行してから「事業のスケジュール管理に困難がある」とする反応が複数あった。質問（遠隔管理による問題点を問うた）の意図が正しく理解されているとすれば、業務マネジメント上での困難を抱えていることになる。
 - ② 行政当局者や住民からはNGOの業務の質に対する賛辞が多くあった。特定の質問項目は設けなかったが、それらによって間接的に人員配置に大きな問題はなかったと判断した。ただし、必ずしも十分な人員が配置されていることの証左が得られた訳ではない。
 - ③ 現地関係者のヒアリング結果からは、現地スタッフの誠実な勤務ぶりが伝わってきた。現地で事業を継続させる上での、現地スタッフという資産の重要性があらためて確認された。

上記からは、**実施体制において十分なリソース配置がなされ、また、遠隔操作における関係者のコミュニケーションも現状では適切に行われていると評価出来る。**

ただし、現時点で一部では日本人スタッフの不在によって事業マネジメント上の課題を抱えはじめている可能性もある。特にハード建設におけるEPC（設計・調達・施行）マネジメントは少ない経験だけでは不十分で、だからこそ経験のある日本人の配置が求められていたはずである。団体によっては第3フェーズの工期計画が短いことや、バーミヤンで例年になく冬期が長引くなど、新たな問題が加わったことが直接的な理由であるが、現地スタッフが問題解決能力に不安を感じている可能性がある。

一般的には、QCD（品質、コスト、工期）はトレードオフであり、工期の問題を解決しようとする場合、品質やコストにも影響が及ぶことは十分考えられる。NGOは、現地スタッフのキャパシティを十分見極め、特に遠隔管理体制で不足しているマネジメント領域において、必要に応じて追加の支援やリソース投入を検討する必要がある。

そのためにも、遠隔管理における現地とのコミュニケーションのために実施されているインド、パキスタン、ドバイ等の中間地点での調整会議を十分に活用して、今後もコミュニケーションの質を保つことが望ましい。

また、遠隔管理体制であるにもかかわらず、一般的な月報提出期限が本プログラムにも一律に適用されており、改善を求める声もあった。NGOが「正確な情報」を提供することを目的に、柔軟な対応が求められる。この点については、JPFとNGOのオープンな意見交換が必要である。

JPFにとっても、多くのNGOにとっても、長期間にわたる遠隔管理は初めての経験である。遠隔管理を強いられる状況をポジティブに捉え、遠隔管理の「仕組み作り」や現地スタッフのキャパビルを試みる前向きな姿勢が求められる。

(5) 日本、JPFのプレゼンスの確保

ここでは、事業実施において、日本のプレゼンスが可能な限り確保できたか、顔の見える支援が行われたかを検証する。ただし、地域によっては国際団体の支援を受けること自体が安全管理上のリスクを伴うこともあり、その場合には適切なロープロファイル体制となっていたかを問うた。

● NGOに対する本邦でのヒアリングからは、以下のような問題点が確認された。

- ① ロープロファイルを基本にしつつも、学校建設における開校式やその他の機会を得て可能な限り日本の支援であることを示す等、安全優先の方針を基本にした上での努力がうかがえる。

例：現地団体名（例：WVアフガニスタン）のもとでの事業として説明した、セレモニーの時だけ国旗等でプレゼンスを示した、日本の支援であることは教員レベルまでの情報共有にとどめ、住民には積極的にプレゼンスを示さなかった、その他の多様なファンドも活用した事業を展開し、特定の「色」を薄くする努力をした……等

- ② 地域によっては日本のプレゼンスを示すことに特に問題のない地域もあり、オープンな情報提供が行われているケースもあった。

● 現地調査ヒアリングからは、以下のような情報が得られた。

- ① 「国際社会の支援であると知られることになんらかのリスクが伴うか」という問いに、「イエス」と答える（ロープロファイルの必要性を認める）現地関係者がいた。
- ② また、地域によっては匿名の必要を感じない、もっと広く知られて日本の支援の意義を知らしめるべき、とする声もあった。特に行政官はこの点について楽観的な意見が多かった。

NGOは可能な限り機会を捉えて日本のプレゼンスを示そうとしており、十分評価できる。

一方、プレゼンスに関連して、以下のような安全管理上の指摘をする必要がある。

匿名、あるいはロープロファイルの必要性を認めることは、現地での反政府勢力の存在を間接的に示すことになるため、楽観的な回答の解釈には慎重さが必要である。率直に危険性を指摘する声もあり、地域によっては慎重さが求められることがあらためて確認されている。

なお、これまで現地の判断でロープロファイルのあり方を決めてきたが、今後の社会情勢の変化は、予断を許さない。単に過去と同じ判断を踏襲するのではなく、常に一步先にどのような状況変化の「振れ幅」がありえるかを考慮した、より慎重な判断が必要である。場合によっては、より徹底したロープロファイル戦略が必要であり、過去の支援においても海外からの援助と分かる銘板プレートの撤去等の検討も選択肢に入れた思考が求められる。この点についてはNGOだけでなく、JPFによる分析、助言も必要である。



事業実施プロセスの適切性の検証結果 「★★★★ 極めて高い」

ここでは、各実施NGOの事業（オペレーショナル・レベルでの）実施プロセスの適切性について、NGOに対する本邦でのヒアリング、現地調査、報告書等の資料をもとに検証した。その結果、以下のような個別項目の評価を行った。

- 1) 各団体がベースライン調査を実施し、設定された指標の把握に努めていることは評価出来る。ただし、適切な指標の設定を行うとともに、3年から5年の全体計画のなかでアウトカム指標を設定する等の改善が求められる。
- 2) 事業プロセスでは十分に説明責任を果たし、関係者の主体性に配慮した適切なプロセスによって事業実施が行われたと評価出来る。
- 3) 危機管理、リスク対応については、物理的な安全対策システムと安全管理のマインドが確立されている。今後の情勢不安定化に向けて、現地スタッフへのより一層の配慮が必要である。
- 4) 実施体制上のリソース配分に問題はなかったものの、現時点では、日本人スタッフの不在によってオペレーション上の課題を抱えはじめている可能性があり、対応が求められる。
- 5) NGOは可能な限り機会を捉えて日本のプレゼンスを示そうとしており、十分評価できる。

以上から、事業実施プロセスの適切性は極めて高い。

評価レーティングの説明

★★★★	極めて高い	ほぼ全ての評価の項目において高い評価を得た
★★★★☆	高い	多くの評価の項目において高い評価を得た
★★☆☆	一部に課題がある	一部に課題があるものの、概ねよい評価を得た
★☆☆☆	問題がある	多くの問題が指摘された

5-1-3 結果の有効性

本節では、JPFプログラムのこれまでの有効性を評価するために、重点分野での「実績」を検証する。本来であれば、「目標の達成度」を測るのが結果の有効性の検証に求められる作業であるが、本JPFプログラムには明確なプログラムレベルの目標設定がなされていない³⁹ため、ここでは、各事業のフェーズ毎の目標値の達成度や、現地でのヒアリングに基づく定性的な結果を活用する。これによって、プログラム中間地点での結果の有効性とインパクトの発現のあり方を確認し、プログラムの成功要因や改善点を見いだすことを目的とする。

(1) 期待された成果の発現状況とインパクトとしての複合的人道危機の軽減

まず、表5-10に全体的な実績を示す。一部を除いて、概ね各フェーズで計画された成果目標を達成するか、場合によっては上回っている。予算規模が限定的で、膨大なニーズに対して与えた総体としての成果は必ずしも大きいとは言えないが、それぞれのNGOが着実に実績を生み出している。

表 5-10 第1～第2フェーズの成果一覧⁴⁰

社会基盤整備	指標	第1フェーズ	第2フェーズ
		実績	成果
学校建設・修復	学校数	36校	55校
灌漑と農業支援	実施村数	1村	5村
保健医療	医療施設建設・修復・整備施設数	3か所	0
公共施設建設	井戸・施設数	60か所	0
教育保健	指標	第1フェーズ	第2フェーズ
		実績	成果
教員研修	研修受講者数	1,533人	1,563人
	研修実施学校数	79校	108校
保健・衛生教育	研修受講者数	23,915名	67,977名
	間接裨益者数	182,940名	550,442名
図書室設置・整備	図書室数	36室	19室
女性のエンパワメント	研修受講者数	400名	1,805名
子どもの学校外教育	参加児童数（一日当たり）	211名	206名
就学前教育	ファシリテーター数、参加児童数	2,052名	3,065名
CBS	参加児童数	908名	1,486名
平和構築	指標	第1フェーズ	第2フェーズ
		実績	成果
地雷回避教育	裨益者数	95,611名	77,923名
IDP生計復帰支援	対象世帯数	500	2,727名

現地調査ヒアリングからは、以下のことが示された。

< 村落の紛争の影響と住民の現在の生活 >

- ① ほとんど全てのヒアリング対象者がソ連侵攻、ムジャヒディーン時代、タリバン時代を通じて複数回の難民生活、国内避難民生活（数年から10年程度）を経験し、村に帰還してからの生活再建が出来ていない様子を吐露している。特にパルワンからカブール周辺は常に紛争（対ソ連、北部

³⁹ 第1フェーズ開始時に成果目標が設定されていたが、単に各NGOの5年計画の数値が合計された数値目標である。

⁴⁰ JPFのとりまとめ結果を引用した

同盟 vs. タリバン) の前線地帯であったために甚大な被害があった。2001年以降、部分的に彼らのニーズは満たされたものの、基本的人権が確保された生活環境には程遠い現状が観察できる。多くは元の生業につくことがかなわず、レンガ工場や都市部での日雇い等で暮らしている。

<支援規模のインパクト>

- ② 国際社会が支援し、農村復興開発省が実施している国家連帯計画 (NSP: National Solidarity Program) を除くと、ほとんど支援がないか、小規模な支援のみが施された地域が多い。
- ③ 上記のNSPは、US\$200×世帯数 (最大US\$60,000) というコミュニティ単位での開発事業であるため、JPFのような中規模な学校建設がなされることは希で、コミュニティ道路等の小規模インフラが多い。その意味では、その地域でJPF事業が唯一の中規模事業であるケースも多い。

<支援の効果、インパクト>

- ④ 学校関係者によれば、学校建設以降、多くの家庭が新たに児童を送るようになり、住民の教育への関心が生まれている。
- ⑤ 学校建設によってそれまで低かった教員の出勤率が向上し、教室運営が良好になることで、生徒の出席率も改善するといった学校長の観察も報告されている。
- ⑥ 州レベル教育局、学校関係者、保護者等から保健・衛生教育の結果、下痢症状等が低減した、快活になったといった、ソフトコンポーネントの効果への言及があった。コンポーネント間の相乗効果についても概ねポジティブな評価であったが、具体的な理由は明確ではなかった。
- ⑦ 学校建設の工事期間に、住民や地域のさまざまな協力が得られている他、学校建設に関する協議の「場」が、村レベル共同体を強化する機会になったと住民自らが評価している。
- ⑧ 地域関係者から、NGOの誠実さ、透明性の高さについて高い評価が表明されている。

<支援ギャップ>

- ⑨ いくつかの「学校建設」支援対象校で、「すでに教室が不足しており、野外での授業を余儀なくされている」実態が報告されている。
- ⑩ 州局長レベルから、教員トレーニングについてはもっと長期的な実施が望ましいと指摘されるケースもあった。
- ⑪ クリニックのニーズに多数が言及しているが、学校建設と比較した優先順位は明らかでない。

<ネガティブインパクト>

- ⑫ 住民の行政に対する評価は、おしなべてネガティブで、「政府は何もしてくれない。何も出来ない」という不信感があからさまに表明されている。

現地調査ヒアリングからは、住民の現在の生活が生存権を脅かされるレベルの人道危機に瀕していること、しかし、そこで期待されている生活レベルは、貧しいながらも安心して暮らせる日常であり、具体的には地域クリニック、冬期にも生活ができるアクセス道路等であり、いたってシンプルな「要望」が存在することが確認できる。

同時に、2014年以降の社会状況については非常に悲観的で、国際社会の人道支援も撤退するという噂が一般に広まっており (実際に援助は下火になりつつある)、内戦が勃発し、再び戦火の中で全てを失うのではないかという危機感や動揺も見て取れた。

そのような中で、村にとって、かつてない規模での学校建設といったシンボリックな投入があり、新たに学校に通うようになった子どもたちや、衛生的な生活を送る子どもたちの姿に希望を見いだし、住民の思いも述べられていた。学校の維持管理についても、地域住民としての強い意志が感じられる。パキスタンのIDP、帰還民支援については、JPFの支援によって生計の一部を回復し、部分的ながらも厳しい日常生活に改善が見られたことに強い感謝が表明されている。無論、これらの意見は客観性に欠ける面もあり、面談時のバイアスも否定できないが、全てのヒアリング対象から事業の実績と、それらがもたらした彼らの暮らしや村落の変化についてのポジティブな評価があったことから、**JPFプログラムが一定のインパクトを与えたと考えて良い**であろう。

しかし、ヒアリングを通じて次のような課題が指摘できる。

<学校建設における需要予測>

一つは、学校建設における校舎のキャパシティの問題である。支援を実施した学校ですでに教室が足りなくなっていることについては、事業実施に当たって、需要予測が妥当なものであったか、JPFとしての再検証が必要である。パルワン州北部やバーミヤンだけでなく、カブールでも厳寒時期は野外教室の運営は困難なので、実質上、冬期はいくつかのクラスは休校するか、数時間単位のめまぐるしいシフト制で運営されることになる。一度なんらかの支援を受けると、現状がどうあれ他の支援候補になる際に優先順位は下がってしまうことも考慮し、支援の際には正確な需要予測が必要である。一般に、新規の学校建設では多くの未就学児童が就学するようになり、「爆発的な就学人口の増加」が起こる。特に、今までの就学率が低かった地域では、この傾向は一層顕著である。

<質に対するこだわり>



次に、支援の「質」についての課題がある。アフガニスタンでの人道支援には長期的な関わりが必要としながらも、JPFプログラムでは単年度事業、すなわち、年度ごとの新しいエリア選定、事業実施が繰り返されている。長期的な関わりの必要性は、「数」のニーズに対応する必要性からだけでなく、「質」を向上させるためでもあったはずである。例えば、学校における「教育」の質を規定するのは、校舎というハードに加えて教師の質が重要である。多くの学校建設と並行して、

政府は2001年に約2万人だった教員数を2009年には17万に、その後5年間で新たに約10万人を雇用しつつあるが、そのうち7割は資格の最低条件である短大レベルを満たしておらず、資格を持つ女性教員の9割は都市部で勤務している。このような状況の中で、短期の教員研修だけで教育の質を向上させるのは困難であろう。ある州レベル教育局長が、「より長期の研修の必要性」について言及したとおり、今、「質」へのこだわりが求められている。

<NGOの立ち回り>

また、ヒアリングに応じた住民が外部者の現地コンサルタントに「政府の無能ぶり」について糾弾するごとく意見を述べたことには留意が必要である。2001年以降、治安の悪化と汚職に辟易した現地の人々は、次第に反政府、反国際社会へと態度を硬化していった。それが多くの地域で反政府勢力が実効支配を強める下地になったといわれている。NGOが支援をすればするほど、「ダメな政府」というイメージが広がることは避けなければならない。4章で示したように、現在の新たなNGOの役割を考えると、政府、地方行政の顔を立てていくような慎重な立ち回りが求められている。ある事業では、行政官が「JPFプログラム事業実施によって市民の政府に対する信頼が増した」と意見を述べている。現実には、必ずしも全ての住民が行政に好感を持ったわけではなかったが、やり方によってはそのような効果も期待できる。その行政官の期待の中にJPF事業の副次的な役割を見いだすことができるのではないか。これについては、アフガニスタンのNGOネットワークであるACBARが「NGO活動が市民の行政に対する否定的な見方を不必要に助長しかねない」ことに警鐘を鳴らすとともに、行政自身がNGOによるキャパビル機会の提供や助言を期待していることを、ヒアリング等から明らかにしている⁴¹。行政との関係において、緊急人道支援のサービスデリバリーのマインドから、長期的に係わる「開発」のマインドが求められているのである。

<終了時評価に向けて>

最後に、以下は、終了時評価のタイミングに向けての整理しておくべき情報である。

- ① 終了時評価における達成度の評価のためには、団体別、分野別の事業費の集計をしておくことが望ましい。（現時点では、一部の第2フェーズ報告書が提出されていないため、とりまとめは行わなかった）
- ② 一般に、NGOによる学校建設は、費用対効果が高いはずである。この効率性の証明になるような情報のとりまとめがあることが望ましい。具体的には、他ドナーの学校建設費用との比較等である。

⁴¹ ACBAR(2006) “A Study of NGO Relations with Government and Communities in Afghanistan” p.14-16

(2) 日本のNGOの比較優位や、複数のNGOでプログラムを実施することの意義

<日本のNGOの比較優位>

アフガニスタンの人道支援におけるNGOの役割については繰り返し確認してきた。では、そこにおいて「日本のNGO」の比較優位なるものがあるか、また、複数のNGOによってプログラムが実施される事による連携の効果はあったかを、本邦におけるNGOに対するヒアリングや現地調査ヒアリング結果も参考に検証する。

まず、アフガニスタンにおけるNGO活動で、「日本」の比較優位があるとすれば、軍事オペレーションとの関連を想像させないこと⁴²であろうが、現地でのヒアリングでは、そのような中立性への言及はなく、日本のNGOであることが有利に働いたという明確なエビデンスは得られていない。

ただし、現地調査では地域関係者やNGOスタッフから以下のような指摘があった。

- ① パキスタン政府、行政が欧米NGOの出入りを嫌うため、避難民支援事業の展開に日本（欧米以外）の支援であることが有利に働いた
- ② 日本人のビジネススタイルに次のような優位性がある。1）現実に柔軟に対応する柔軟性がある、2）アフガニスタン人にある程度任せ、信頼を置いてくれる、3）コミュニケーションにおいて親近感がある

①については、まさに日本のNGOだからこそ受け容れられるという優位性であるが、それはNGOやそれを支持する日本社会の強い意志に基づいた思想と行動の結果なのか、あるいは日本という国が常に立ち位置として曖昧なことの副産物なのか、慎重な判断が必要である。そう考えると、そもそも設問自体の意義をあらためて問う必要がある。まず、この設問に対する議論が整理される必要がある。

上記②については、日本のNGOにだけ言えることかどうかは不明であるが、現地調査のさまざまなコメントを総合して考えると、NGOは自らの業務の質の高さによって、新たに比較優位（＝現地での受容性の高さという環境）を作り出しつつあると言えるのではないか。例えば、州レベルのヒアリングでは、「ベストなNGOである」「事業には100%満足している」といった手放しの賞賛があり、中央政府の教育省政策・戦略計画局長レベルも、日本のNGOの事業運営の質（建造物の品質管理と調整能力）や、工期を守る姿勢に惜しみなく賛辞を送っており、州レベルだけでなく、中央レベルにも日本のNGOの業務の質の高さが認知されつつある。無論、それは日本のNGOの中立性という基本的な姿勢が理解されていることも忘れてはならないが、日本のNGOの業務の質が一応に高いことは、ブランドイメージにも似た価値を作り出しつつあるのである。

次に、複数のNGOが事業を行う事による相乗効果については、4章で説明したアフガニスタン人道支援のニーズの大きさと、今回のプログラムの投入規模の小ささから考慮して、そもそもこのプログラムで相乗効果を求めることには無理があると言わざるを得ない。「単独のNGOでは効果的な支援活動が実施できないという課題」に対し、複数のNGOが挑むことがJPFの設立の背景であり存在意義であったが、アフガニスタンにおける人道支援の場合には、JPFに新たなマンデートが追加されているのではないか。アフガニスタンのようなケースでは、「個」の強みを活かしつつ、個々のNGOが事業展開していることを積極的に評価すべきである。

日本のODAも日本人専門家を一時退避させ⁴³、遠隔管理で事業を実施しているが、地方での事業展開は困難がある。一方で、日本のNGOによる事業は計画通り継続して実施されている。それが可能となっているのは、過去の関わりの中で地域との関係性を構築し、地域に対する理解を深め、制約下での業務実施の方法論を確立したからこそ可能になった結果である。また、特定の地域に集中するのではなく、各NGOの事業地域が分散したことで、特定地域の治安情勢悪化⁴⁴によるプログラムの「総崩れ」が避けられる結果にもなっている。

このように、多くの制約条件を乗り越えて事業が継続されている事実について、JPFプログラムとして高く評価がなされるべきである。

⁴² 米国大使館関係者のヒアリングでも、このような指摘があった。

⁴³ 共同通信の報道によると、JICAは2013年6月下旬からアフガニスタンのJICA専門家等を退避させている。

⁴⁴ ナンガハルの治安情勢悪化を受けて、一部のJPFプログラム事業は同地域からの撤退を余儀なくされた。

結果の有効性の検証結果

「★★★★☆ 高い」

本JPFプログラムには明確な目標設定がなされていないため、ここでは実績や全体的なインパクトを確認した。

- 1) 一部を除いて、概ね計画されたフェーズ毎の成果目標を達成するか、場合によっては上回っている。
- 2) 予算規模が限定的で、総体としてのインパクトは大きいとは言えないが、ヒアリングでは人々の暮らしに与えた影響や村の変化について住民や行政関係者からポジティブな評価があり、JPFプログラムが一定のインパクトを与えたと考えられる。
- 3) NGOが支援をすればするほど、住民の行政に対する不信感が増大しないよう、慎重な立ち回りが求められている。緊急援助のサービスデリバリーのマインドから、長期的に係わる「開発」のマインドが求められている。
- 4) 日本のNGOであることが有利に働いたというエビデンスは得られていないが、NGOは自らの業務の質の高さによって、新たに比較優位（＝現地での受容性の高さという環境）を作り出しつつあると考えることができる。なお、投入規模から考えてそもそもこのプログラムで複数のNGOが事業を行う事による相乗効果を求めることには無理があると言わざるを得ない。
- 5) 他の支援が停滞するような状況もあるなかで、多くの制約条件を乗り越えて事業が計画通り継続されている事実について、JPFプログラムとして、高い評価がなされるべきである。

以上から、結果の有効性は高い。

評価レーティングの説明

★★★★★	極めて高い	ほぼ全ての評価の項目において高い評価を得た
★★★★☆	高い	多くの評価の項目において高い評価を得た
★★★☆☆	一部に課題がある	一部に課題があるものの、概ねよい評価を得た
★★☆☆☆	問題がある	多くの問題が指摘された



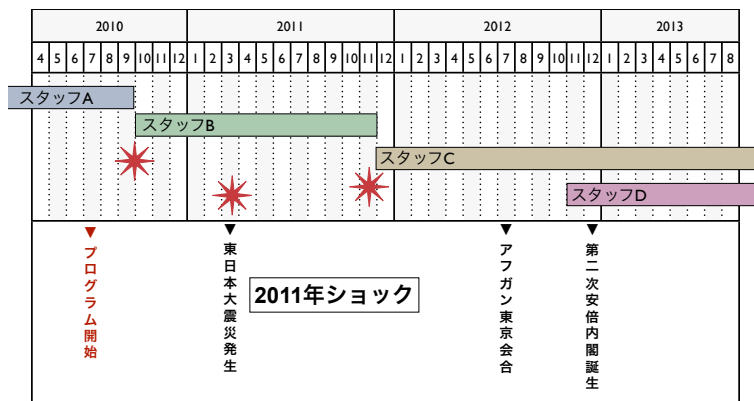
5-2 実施支援体制の適切さの検証

(1) 戦略（プログラム）立案と戦略実施プロセス、支援体制の適切さ

ここでいう戦略とは、プログラムのデザインであり、各NGOの事業展開をどのような形態とするのか（分散型か集中型か）、JPF事務局の機能をどのように位置づけるのか（調整型か主導型か）といった調整機能や、複数年のマネジメントのあり方に対するデザインのことである。これらについて、各種のヒアリングやディスカッション等の結果から、以下のポイントを挙げる。

- ① アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラムが「プログラムというレベルを特に意識しないまま曖昧な形で始まってしまった」ことは関係者も認識している。また、ニーズの分析やアプローチの整理が不十分だったことも影響して、関係者の現地リアリティに対する理解が断片的なまま、通常の人道支援の背景の理解でプログラム運営がなされてきた面がある。
- ② JPFの緊急対応の運営システムを活かして迅速な助成審査で事業が実施できており、結果として間断のない支援が実施されている。
- ③ JPF事務局はNGOの自主的ワーキンググループ（W/G）による勉強会への支援や、シンポジウムの企画運営、NGOによる「プログラム、安全管理、広報」タスクフォース（T/F）の主催を実施して、国内でのNGOの連携促進を行っている。

- ④ JPF事務局の対応に対しては、
「メンターとしても、またヘルプデスク的にも支援を受けている、執行部との間に入って当方の考え方を斟酌しコミュニケーションを促進している」と評価するNGOがいる一方で、プログラム実施中に組織メモリーが途絶えるような人材配置があり、プログラムの進展（関係者の共通理解の醸成、スムーズな手続き）に影響を与えた可能性がある。（右図）



- ⑤ JPFプログラム開始直後に、2011年3月に発生した東日本大震災への対応を迫られたことに加え、現地の治安情勢が悪化したことで、本プログラムのモニタリングは一度もできていない。現在の担当者は情勢変化によって現地視察もできていないために事業管理において隔靴搔痒の感があるがあることが見て取れる。
- ⑥ 安全対策については、共通安全原則に基づいた事業実施を求めるとともに、現地事情に通じた安全対策オフィサーを配置する等の配慮がなされていた。しかし、INSO（旧 ANSO）の情報が直接、タイムリーに入手できていない等、課題もある。

まずは、上記①のように、プログラム戦略の再定義が求められている。それによって、一見バラバラ感のある現状の各JPFプログラム各事業は、戦略的な配置という位置づけに生まれ変わる。プログラム戦略の検討には、本報告書の4章での整理が参考になると思われる。また、現時点でJPF事務局がプログラムアプローチについての議論を形にしようとしていることは評価出来る。

次に、整理された定義のもとで事業実施のコンセプトが共有されるためには、プログラム定義に基づいた審査項目の明確化が必要である。また、現在「突発的・緊急人道支援」の仕様となっている各種様式を見直し、プログラム定義と審査項目に見合った項目に修正することも求められる。一部はガイドラインの変更も必要になる作業であるが、JPFとNGOが協議しつつ原案作成作業を進めることが望ましい。

迅速な助成審査プロセスは、緊急人道支援を基本とするJPFシステムの本領が発揮された部分である。これによって、NGOは現状のニーズに応じた事業を即時に展開でき、複数年の事業を間断なく展

開ることができている。助成規模も含めて、JPF資金のアドバンテージとなっており、多くのNGOが本JPFプログラムに参加する吸引力となっている

ワーキンググループの支援やタスクフォースの立ち上げにより、国内での連携を図っていることは評価出来る。現地での連携はスケールメリット上望めないと指摘したが、国内でのNGO間の知見共有の機会や、シンポジウム等の企画はキャンペーン的メッセージ性を持ち、発信力の強化にも繋がっている。同時に、これらの作業が実施NGOの事業運営の追加的な負担になっていることは否めない。このようなコンソーシアムとしての動きは、その結果が、資金確保に繋がるという好循環を作り出す必要がある。W/G、T/Fの目的を、単にプログラム運営管理に用いるだけでなく、いかにファンドレイジングに結びつけるかという運営デザインが重要である。

事務局体制については、いかに組織メモリーを絶やさないようにするかという視点が重要である。人の入れ替わりとともに組織のメモリーは消えていく。プログラムが発足した経緯、実施NGOとのやりとり等、さまざまな経緯を記録していく「プログラム・ジャーナル」を作成していくなど、組織メモリーの確保に配慮が求められる。

実施NGOのスタッフも現地入りできない状況が続いており、プログラムのアカウントビリティーが低下する可能性がある。現地コンサルタント等、現地リソースを使ったモニタリングや事業チェック体制の確立が急務である。現地調査にはGPSタグ付き写真、ビデオ情報等も活用すべきである。

INSO情報は、共通安全原則にも記されている「意思決定に関わる情報源」である。2014年以後の社会情勢の動きに対応するために、安全対策オフィサーがタイムリーに情報を入手できるよう改善すべきである。また、INSOに、JPF事業対象地に特化したセキュリティ分析レポートの作成を依頼する等、入手する情報の質と量を高める試みも必要である。

最後に、JPF、NGO双方による、効率的な事務手続きのためのオープンな意見交換の必要性について触れておく。NGOは機動性を第一としつつ、期限を厳守して、正確な報告をすることが基本であり、JPFは手続きにおいて本質的に求められているものを見極め、ガイドラインや手続きの流れを柔軟に見直していく態度が肝要である。各種の報告書も、それ自身が自己目的化しないよう、双方であるべき姿を模索していくべきである。無駄な官僚的文化を排除していくことは、双方の責任である。

(2) 資金調達、広報戦略の適切さ

ここでは、本プログラムにおける資金調達と広報戦略のあり方の適切性を検証する。

これらについては、各種のヒアリングやディスカッション等を参考に、以下が指摘できる。

- ① 本プログラムの実施期間は5.5年という例外的な長さが定められたが、どのように資金調達・確保を行っていくかについて当初段階で対処方針が明確に決められておらず、その後も関係者間のあいまいな認識を整理するに至らなかった。
- ② 上記を背景に、後半の第4フェーズに予定していた資金計画が事実上減額を迫られた。
- ③ プログラム開始以後、Website上に本JPFプログラム「支援サイト」が設置され、プログラムの概要と実績、アフガニスタンの日常の紹介等、充実した情報がアップされている。

プログラムの資金調達計画が曖昧なまま推移した原因の一つは、関係者のアフガニスタン・パキスタン人道支援ニーズに対する認識が整理されていなかったことである。人道援助と開発との境目が曖昧な（膨大な）ニーズに対し、本来は複数年の予算規模が明確になることで、連結性、拡張性を考慮した中期計画を実行することが出来たはずである。

今後のことに触れると、本中間評価における関係者の作業を通じてプログラム戦略についての整理が一定程度なされたことから、今後の中長期的な支援を継続するための資金確保のアクションが必要である。まずは、アフガニスタン・パキスタンの北西部における人道ニーズとNGO活動の意義について、主要ステークホルダーの理解をあらためて促し、資金調達に向けて積極的に働きかけることが求められている。

支援サイトの立ち上げや充実の努力に対するJPFの意気込みは十分に評価されるべきである。ただし、これらの広報戦略と上記の資金調達のリンクという発想が求められていたはずであり、確実な資金確保に結びつけるという広報戦略の位置づけが確認される必要がある。

また、メディアも現場に入れないことから、日本ではアフガニスタンやパキスタンの現状については、「テロ」「危険」といった断片的側面で語られることが多い。現地の一般的な社会事情や日本のNGOが人道支援のために挑戦を続けていることは、ほとんどの市民には理解されていない。今回のヒアリングで聞き取られたような市民の声や、アフガニスタン、パキスタン北西部の「今」について、さらにビジュアルに伝えるような試みも求められる。

実施支援体制の適切さの検証結果 「★★☆☆ 一部に課題がある」

JPFのプログラム実施支援体制については、以下のように評価した。

■プログラム立案と戦略実施プロセス、支援体制の適切さ

- 1) まずは、プログラム戦略の明確化とそれに基づいた明確な審査項目の設定が必要である。それに伴いガイドラインや各種様式の見直しも求められる。
- 2) 迅速な助成プロセスというJPF助成システムのアドバンテージを遺憾なく発揮しており、多くのNGOがプログラムに参加し、中断なく事業が実施されている。
- 3) W/G、T/Fの立ち上げにより、国内での連携を図っていることは評価出来る。このようなコンソーシアムとしての動きは、その結果が、資金確保に繋がるという好循環を作り出す必要がある。
- 4) プログラムを統括する立場として、組織メモリーを絶やさない人員配置、ジャーナル資料による記憶の保持が必要である。
- 5) 現地事情に鑑み、現地リソースを使ったモニタリング体制の確立は急務である。
- 6) 意思決定に必要な現地治安情報をタイムリーに入手できるよう改善すべきである。
- 7) JPF、NGO双方による、効率的な事務手続きのためのオープンな意見交換が必要である。

■資金調達、広報戦略の適切さ

- 1) アフガニスタン、パキスタンにおける継続的な人道支援のニーズについて主要なステークホルダーの理解をあらためて促す等、積極的な資金調達に向けた働きかけが求められている。
- 2) 支援サイトの立ち上げ等、広報における情報量と伝達手段の拡大は高く評価出来る。これらの広報戦略が資金調達に結びつけられる戦略的な視点が必要である。
- 3) 今回の現地ヒアリングのような市民の声や、アフガニスタン、パキスタン北西部の「今」についてビジュアルに伝える媒体（ビデオ等）の開発も検討すべきである。

以上のように実施支援体制の適切さは一定程度評価出来るが、一部に課題、改善が必要な点がある。

評価レーティングの説明

★★★★	極めて高い	ほぼ全ての評価の項目において高い評価を得た
★★★☆☆	高い	多くの評価の項目において高い評価を得た
★★☆☆☆	一部に課題がある	一部に課題があるものの、概ねよい評価を得た
★☆☆☆☆	問題がある	多くの問題が指摘された

第6章 プログラム後期、および今後の支援の方向性と支援戦略のあり方

ここでは、プログラム後期（2014年 - 2015年）の支援戦略を検討するにあたり、1）現状におけるニーズギャップをJPF事業対象地の州レベルで概観するとともに、2）安全管理の視点から支援の外部環境としての治安状況の動きを観察する。最後に、3）これまでの検証をもとに、プログラム後半に向けた支援戦略の提言を行うこととする。

6-1 現状におけるJPFプログラム事業対象地域での支援ギャップ

NGOのこれまでの地域との関係性を最大限に活用した事業展開を行う事を今後のプログラム戦略の前提とすると、地域レベルでのニーズを今一度確認する必要がある。

そこで、現地ヒアリングの際に行った主なJPF事業地の簡易ニーズアセスの結果を以下に示す。3つの優先分野について、2001年以降のこれまでの主な人道支援事業、および現状とニーズについて概略を示した⁴⁵。

その結果、共通するニーズとしては「教育の質の改善」、「地方での保健医療サービスの提供」、「農業・生計支援」が挙げられた。より具体的には以下のとおり。

- ① 絶対的な教室不足の解消
- ② 教員の質の向上
- ③ クリニック等での人材、設備不足の改善と遠隔地での医療サービスの提供
- ④ 農業生産力回復
- ⑤ IDP支援における教育環境改善、生計回復

以下に示す具体的調査結果も活用して、第4フェーズの事業計画（短期的目標）を検討するとともに、ポスト2015年のプログラムの支援のあり方（長期的目標）が導き出されることが望ましい。

【パルワン州】

分野	過去の主な人道支援事業	現状でのニーズ
教育	■465の公立校を対象とする設備改善支援 ・教員研修 ・244の学校建設 ・109の境界壁の整備 ・221のトイレ建設 ・113の井戸掘削 ・35校の図書館建設・整備	■465の公立校において、以下のようなニーズがある。 ・教員研修（指導法） ・図書館運営に関する教員訓練 ・221校の学校建設 ・353校の境界壁整備 ・244のトイレ建設 ・352の水供給あるいは井戸掘削 ・430校に対する実験室と図書館建設
農業	■一部での簡易農機具、肥料と改良種子の無償配布 ⇒農業のポテンシャルはあるものの、農業セクターでの大きな改善は行われていない。多くが農業活動で暮らしているので、この分野での支援は持続的な収入活動を生み出すことになる。	・近代化のための機械化 ・灌漑用水路の改修 ・近代化、機械化のための農民訓練 ・改良種子と肥料無償配布

⁴⁵ セクター間の優先順位はヒアリング対象者の所属によってバイアスがかかっていると思われるので、3つの分野の優先度は考慮しなかった

保健	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州立病院は、NGOの支援によって基本的な設備整備がなされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 州立病院における医師不足 ・ 同院の施設拡充と機材整備の不足 ・ 州全体に建てられた郡立医療センターでの機材と医師の不足 ・ 地方クリニックの不足と、地方での医師、医療機材整備の不足 ・ 医師に対する訓練（全体）
----	--	--

【バーミヤン】

分野	過去の主な人道支援事業	現状でのニーズ
教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州内7郡の352の公立校に対する支援 ・ 1,905教室、48校の図書室 50校の境界塀、85校の井戸、1,259のトイレの建設・整備 ・ 262の管理室、142の倉庫室の建設・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州内352の公立校を対象にした以下の整備 ・ 2,041教室 ・ 270校の水供給 ・ 367の管理室 ・ 306校の図書館 ・ 295校の境界塀 ・ 1,321個のトイレ ・ 322の物品庫 ・ 長期の教員研修、特に冬期間の研修
保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州立病院への支援で保健・医療サービスが提供されるようになった。 ■ 過去数年間に郡立病院と複数のクリニックが建設された。 ■ いくつかのコミュニティに基礎保健ケアセンターが建てられ、簡易的医療サービスと投薬が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地方から来院も多い州立病院での、専門性のある医師と医療機材の配備 ■ 各地のヘルスケアセンター、クリニックの不足と、医師、看護師等の配備
電気、道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヤカワラン郡への100Km道路の整備 ■ バーミヤン市内とバザールの一部に電気を供給する太陽光発電 ■ NSPによる遠隔地での小規模水力発電 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路と電気供給 ・ 大多数の村落での小規模道路整備 ・ 特に郡事務所と州事務所間の道路整備 ・ 各地の未舗装道路の整備 ・ 工業用の電力供給 ・ 遠隔地での電気供給

【ヘラート】

分野	過去の主な人道支援事業	現状でのニーズ
農業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 簡易農機具、肥料、改良種子の無償配布 ■ サフラン栽培の拡大支援 <p>⇒ヘラートはアフガニスタンの農業ハブ地域の一つであるが、過去の支援は限定的。農業分野の就労が80%と裨益者が多く、土地の潜在力も高い。短期間で長期的改善をもたらす可能性がある。</p> <p>⇒JPFプロジェクトによる村の女性に対する農業活動支援は非常に評価が高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近代化（工業化）、機械化された農業のための抜本的な改善 ・ 改良農機具の配布 ・ 灌漑施設や灌漑システムの改良 ・ 近代化のための農民への訓練提供 ・ 改良種子と肥料の無償配布 ・ 収穫プロセス、バリューチェーン、マーケティング支援 ・ ぶどうの貯蔵、食品加工

教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州内893の公立校に対する以下の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 498校の校舎整備 ・ 355校の境界壁建設 ・ 246校への給電・配電整備 ・ 678校での水供給施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 以下のインフラ開発ニーズ <ul style="list-style-type: none"> ・ 機材、教材、図書館設備の提供 ・ 893校のうち395校の校舎 ・ 538校の境界壁 ・ 647校への電気供給 ・ 215校への水供給施設 ■ 教員に対する指導法訓練
保健	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州中央病院の改修と機材供与（これにより州全体から来院する住民への基本的な医療・保健サービスの提供が開始） ■ 民間支援による市内のクリニック建設 ■ 郡立クリニック建設（保健サービス、産科サービス） ■ 地方のためのモバイル保健チームの稼働 ■ 一部での村レベルクラスター保健センター建設 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 州・郡立病院、民間病院の医師、看護師、保健師に対する技能向上の機会提供 ■ 医療機材整備と関連技師、技術者の使用法に対する訓練 ■ 最重要ニーズとしての遠隔地での保健、妊産婦に対する保健サービス ■ 医療サービスにアクセスできるコミュニティ道路と交通手段の確保 ■ 安全な水へのアクセス

【カブール州 バグラミ地区】

分野	過去の主な人道支援事業	現状でのニーズ
教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドナーの支援による教育システム改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の能力向上訓練 ・ 33校の学校建設 ・ 24校の境界壁建設 ・ 31校の水供給 ・ 2校への再生可能エネルギー電気供給 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 42公立校における以下のインフラ整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9校の校舎建設 ・ 18校の境界壁 ・ 11校の水供給 ・ 40校の電気供給 ■ 教員に対する専門的な教授法訓練
道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 砂利の敷設等の簡単な道路整備 ⇒カブールでももっとも開発が遅れている地域である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 域内道路全般の舗装と排水路建設（積雪のある冬期は移動が出来ず、緊急時にも困難がある）
飲料水、保健	<ul style="list-style-type: none"> ■ NSPとフランスの支援による水道給水施設敷設 ⇒地域の地下水は塩分濃度が高く、生活用水には不向き。上記の支援で一部に上水道整備がなされたが十分ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上水道整備 ■ クリニックの建設（適切な保健サービスが受けられないためカブールまで悪道を使って通院）

【デライスマルカーン】 パキスタン

分野	現状でのニーズ
保健	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域には限られた保健施設のみがあり、特に子どもと女性のための医療サービスが求められている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニックの建設 ・ 投薬、医療機材の整備、訓練されたスタッフの配置

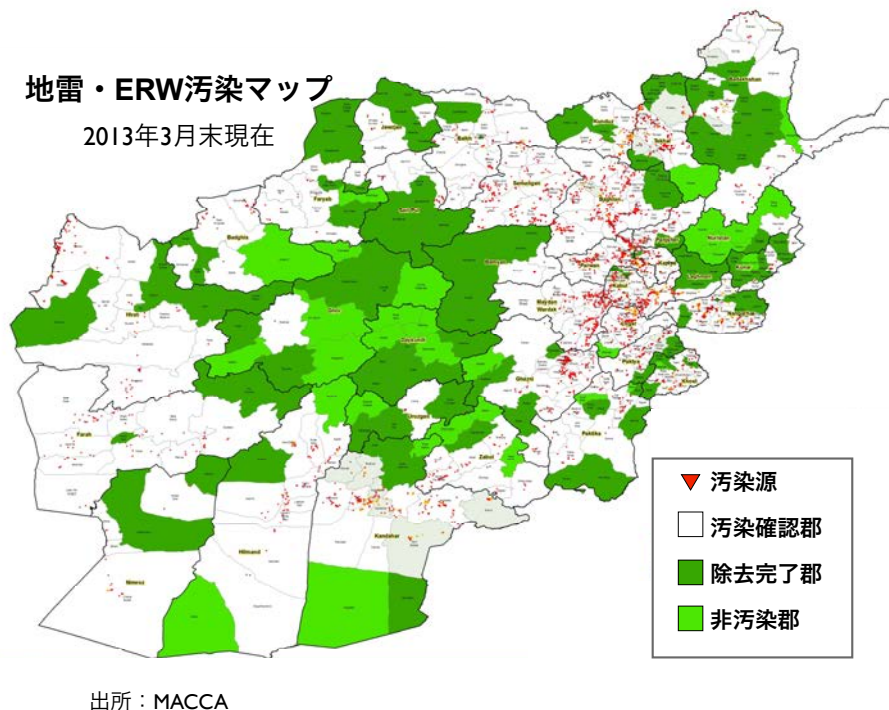
教育	<p>■いくつかの国際NGO、現地NGOが簡易（テント）校舎を提供しているが、数が絶対的に不足している。一般的にIDPの児童は各地を転々としてきており、満足な教育を受けていない。いい教育環境が必要。また、保護者達は子どもの教育に関心を払う余裕がない。この点で、保護者に対する支援も喫緊。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設整備 ・保護者のための支援プログラム
就労、生計活動	<p>■継続した生計支援 （ヤギ配布は就労にも結びつき、生活の質を向上させた非常に効果的な支援であったと好評である）</p>

【アフガニスタンの地雷汚染に対する対応】地雷回避教育を前提として

世界でも最大級の汚染地域を抱えるアフガニスタンの地雷・ERW（爆発性戦争残存物）除去は政府の「Mine Action Programme of Afghanistan (MAPA)」に基づいて実施されている。2002年から全国的な地雷インパクトサーベイが実施され、2005年にパキスタン系のNGOであるMCPA (Mine Clearance Planning Agency)によってアフガニスタンの汚染状況レポートが作成された。しかし、その後も毎月次々と汚染地域が見つかるのが実態である。現状では、33州の244郡（1,688村）で汚染が確認されており、2013年度の除去計画は「81郡」とされているが、これまでの10年間で除去作業が完了した地域が、123郡にとどまることを考慮すれば、今後も長期的な作業が必要とされている。よって、地雷回避教育の必要性は依然として高い。

同時に、これまでのマスメディアや村での映画上映といったワンショットによる情報のインプットから、コミュニティレベルでの対応能力を向上させるコミュニティ・ベースのアプローチも考慮される必要があることが指摘されている⁴⁶。

図 6-1 アフガニスタンの地雷・ERW汚染状況



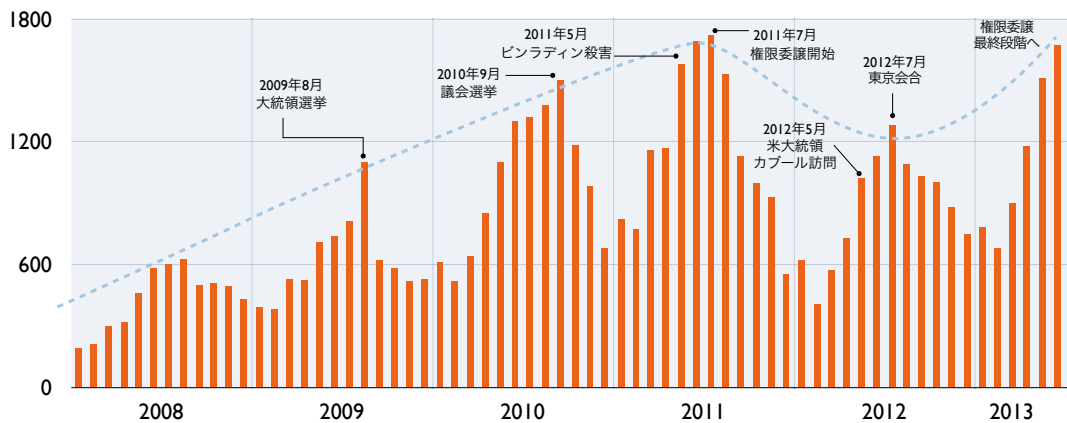
⁴⁶ Samuel! Hall Consulting (2012) "Community Based Approaches for Improving MRE and Perceptions of Deminers" Mine Action Coordination Center of Afghanistan(MACCA) p.3-5

6-2 今後の社会情勢変化シナリオ

北大西洋条約機構（NATO）軍主導の国際治安支援部隊（ISAF）からアフガニスタン治安部隊（アフガニスタン国軍・警察）へ治安維持権限を移譲するプロセスは、2013年7月に最終段階に入った。また、2014年4月には大統領選挙を控えており、2014年末に予定されるISAF撤退に向けて利害関係者のポジショニング、打算と交渉のプロセス⁴⁷が始まることになる。このような動きに対して、今後、治安状況が悪化するとの見方も出ている。ここでは、社会情勢変化のNGO活動への影響を分析する。

6-2-1 治安の全般的な傾向

図 6-1 反政府武力勢力の活動状況の推移



出所：INSO Afghanistan - Quarterly Data Report Q.2 2013を参考に作成

図6-1は、過去5年のタリバンを含む反政府武装勢力による各種攻撃件数を示したものである。ここからは、以下のような一般的傾向が理解できる。

- ① 選挙時や、国際社会がからむ大きなマイルストーンがある際には必ず攻撃数が増加している。
- ② 2011年まで増加傾向にあった攻撃は、2012年に一旦減少傾向を示したものの、2013年になって再び2011年並の攻撃件数を示すような傾向が見受けられる。
- ③ 特に2013年は冬期、春期から攻撃件数が多く、2013年後半は、より増加傾向を示す可能性もある。

上記に加え、2014年の大統領選挙では、軍部における権力闘争も懸念され、全体的な治安悪化の傾向に留意が必要である。

6-2-2 権限委譲の現状

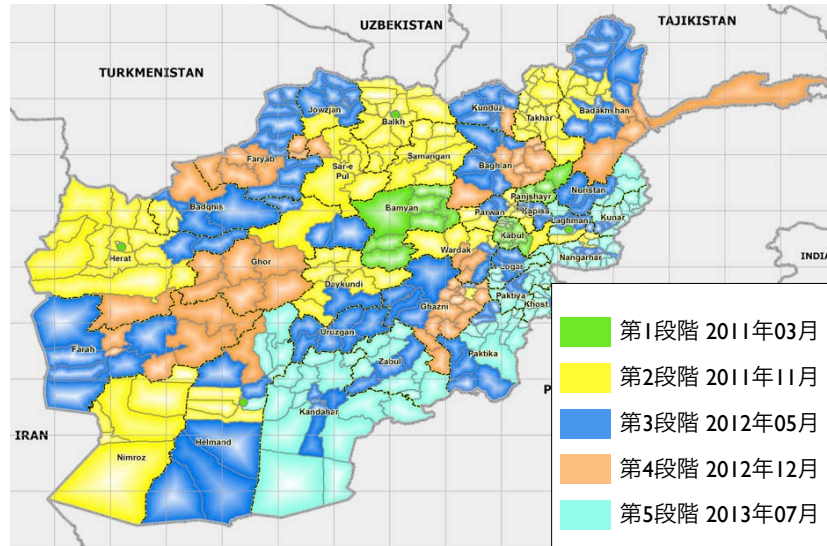
図6-2のように、2011年から始まった権限委譲プロセスは2013年7月に最終段階に入った。多国籍軍の撤退は、反政府武装勢力側の無差別攻撃の根拠を奪うことにもなり、好材料とも考えられる。しかし、すでに権限委譲がなされた地域での国軍や警察による治安維持には多くの課題があると指摘されており、反政府武装勢力は国軍や警察への攻撃を激化させつつある。

2013年9月時点での英国海外渡航情報でも、多くの地域が渡航禁止（退避勧告）となっており、全国的に武装勢力の存在が脅威となっていることは客観的にも明らかである。（図6-3）

また、その正確さは明らかではないが、全国34州中ほぼ全ての地域で、州レベルでのタリバン代表者（shadow province governors）がいるとされている。（図6-4）

⁴⁷ アジア経済研究所(2013)『アジア動向年報2013』「アフガニスタン」（鈴木均上席研究員）を参考にした

図 6-2 治安権限委譲の推移



出所：NATO Website

図 6-3 英国の海外渡航情報



出所：英国政府 Website

図 6-4 タリバン勢力の影響が及んでいるとされる地域 (参考)



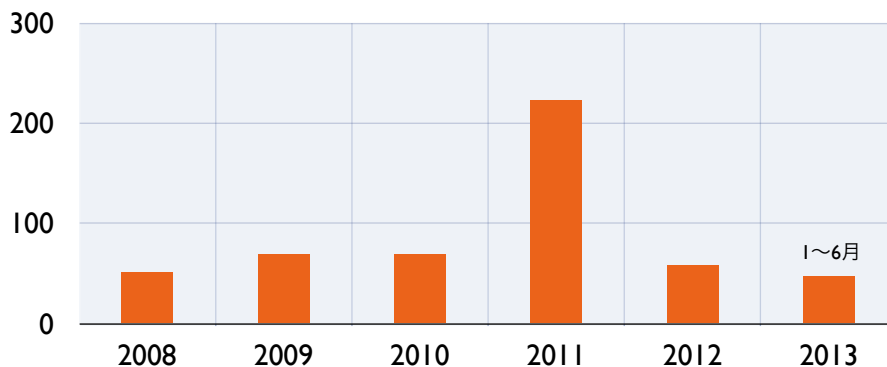
出所：The New York Times

6-2-3 NGOに対する脅威

では、これらの脅威がどのような形でNGO活動に及ぶ恐れがあるか、過去の事件の傾向から分析する。ここでは直接的な脅威であり、武装勢力が存在誇示に用いることが多い「誘拐」を例とする。

INSO（IBANSO）によればNGO関係者の誘拐事件は、近年、図6-5に示すとおり推移しており、一時期の増加傾向は収まったかに見える。しかし、治安権限委譲等の動きによって、本年はすでに第1～2四半期だけで、47名が誘拐に遭遇しており、2011年度並の増加傾向がみられる。また、IED、砲撃攻撃にも同様の傾向が見られる。これまで影響の少なかった地域で新たな武装グループが出現する場合には、存在誇示のための攻撃を加えることがあり、これまで比較的事件が少なかった地域でも新たな脅威が出現する可能性は十分にある。

図 6-5 武装勢力等によるNGO関係者の誘拐（人数）



出所：ANSO - Quarterly Data Report 各種を参考に作成

以上のように全体的に治安状況が悪化し、NGOに対する脅威も高まりつつある。最近の情報ではJPF事業対象地域でも治安悪化の傾向がみられることに留意が必要である。現地調査ヒアリングでも複数のNGO現地スタッフが「2010年頃からの治安の悪化」について言及している。（ヒアリング後に個別確認）

6-2-4 プログラム後半における安全対策の留意点

上記のような傾向を受け、プログラム後半を実施する場合には、以下のような留意点がある。

- ① 一部の現地NGOスタッフからは、「遠隔管理という事情から、本部事務所が（治安悪化の）現状を十分に理解していない」と指摘する声もあった。JPF、NGO関係者は、現場のリアリティが急激に変化しつつあることを十分理解し、現地の判断を尊重する態度と意思決定が必要である。
- ② 現在の安全管理マニュアル等の対応を再点検し、起こりうる可能性のある危機に迅速、適切に対応できるか、改善可能な点がないかを検討することが求められる。
- ③ 工期（あるいは投入リソース）に余裕をみた事業計画の立案が必要である。一般に、工期を重視すると、安全管理対応レベルが下がり、危険を冒しやすくなる傾向がある。事業進捗を優先して、安全管理上の無理を「する」、「させる」ことがないよう、組織全体で「安全第一」の方針を再確認する必要がある。
- ⑤ さまざまな安全対策上の必要によって、事業計画の遅延等が起こり、変更手続きが増える可能性もある。JPFとNGOは、それらに迅速に、柔軟に対応することが望まれる。
- ⑥ 既述のように、INSOの発出する情報がJPFにも直接、タイムリーに届くようなアレンジを行うと同時に、JPFプログラム事業実施対象地域に特化した治安分析を依頼する等、情報収集の上での改善が求められる。

6-3 今後のプログラムの方向性と戦略検討における提言

ここでは、プログラム後半の2年間の方向性と戦略の検討における提言を示す。

<プログラム後半の取り組み上で求められる改善項目>

中間評価で検証したように、対象地域、事業分野の妥当性は高く、すでに、それぞれのNGOが5年計画を策定していることから、基本的には同計画に沿って今後2年間の実施がなされることが望ましいが、本中間評価で明らかになった点を反映し、改善が求められる点として以下の5つがある。

1. プログラム戦略を再定義することで、これまでの支援、今後の支援についての妥当性をより明確にすること
2. 今後の流動的な社会情勢に対応するための各種の対応策を検討すること
3. アフガニスタンとパキスタン北西部の人道支援ニーズの大きさに鑑み、中長期的な支援実施を目論み、そのためのステークホルダーマネジメントに注力すること
4. 量だけでなく質へこだわりを強めること
5. サービスプロバイダーとしての役割に加え、パートナーとして行政、市民社会組織（CSO）支援等、人づくりの方策を模索すること

6-3-1 プログラム戦略の明確化

<◎ JPF ○ NGO>

JPFのプログラムとはなにかを整理した上で、アフガニスタンとパキスタン北西部の人道支援ニーズの特徴と、当該地域での「NGOの役割」の再発見の視点に立った本プログラムの戦略を明確化する必要がある。それによって、プログラムの妥当性をより高めることが求められる。

その上で、整理されたプログラム戦略に沿って一部の業務システムの見直し作業が必要である。これには、以下の項目が含まれる。

- (1) プログラムのあり方の整理と本JPFプログラム戦略の明確化
 - ⇒ 「分散型」による各NGOの事業展開
 - ⇒ 「調整型」によるJPF事務局の支援活動の展開
 - ⇒ 人道支援ニーズの特徴から、長期的な支援が求められることの確認
- (2) プログラム戦略を反映した審査項目の明確化
- (3) 「突発的・緊急人道支援」仕様となっている現在の各種様式の見直し
- (4) プログラム実施体制の強化（必要に応じた人員増員やプログラムの権限委譲等）

6-3-2 流動的な社会情勢に対応するための対応策の検討

<◎ JPF 一部 ○ NGO>

プログラム後半は、アフガニスタン国内の社会情勢に大きな変化や混乱があることが予想される。プログラム後半の継続、今後の長期的な支援を可能とするためにも、追加的な対応策の検討が求められる。

具体的には、以下のような対策が必要である。

- (1) 現地コンサルタントを活用したモニタリング、あるいは事業チェックの実施
 - ⇒ 今後も遠隔管理による事業運営管理が求められると考えられるが、長期的にモニタリングが出来ていない現状は、アカウントビリティの確保の観点からも改善が求められる。現地コンサルタ

ントの備上によって、客観的なモニタリングが実施されることが望ましい。その際、可能な限りGPS情報が付加された写真や、ビデオ画像等のビジュアル情報の提供を求めるべきである。

(2) 安全管理体制強化のためのINSO（旧ANSO）からの情報収集

⇒ より迅速な安全管理情報の収集・分析をJPFが行うためにも、INSOから直接的に情報を収集する。また、JPF支援実施対象地域に係る調査作業を依頼し、安全管理に対する情報の質を高めることが必要である。

(3) より柔軟で迅速な事業管理体制

⇒ 現地の流動的な状況に、柔軟に迅速に対応するためにも、意思決定、事務手続きにおける冗長性を排除すべきである。最適なシステムのあり方について、JPFとNGOは常にオープンな意見交換をすべきである。

6-3-3 中長期的な支援実施のためのステークホルダーマネジメント

< ◎ JPF >

プログラム後半、及びポスト2015に向けた資金調達に結びつけるため、1) アフガニスタン・パキスタン北西部における人道支援ニーズの大きさと重要性、2) 援助減少の傾向、3) さまざまな制約下において事業を継続しているNGOの優位性について、関係者の理解を促すことが必要である。

具体的には、以下のアクションが必要である。

(1) 資金提供者、政策担当者に対する働きかけ ◎

⇒ 上記1) 2) 3) の理解の促進を行う。

⇒ JPF資金以外に活用できる資金についての情報収集を通じて、他ファンドへの移行がスムーズに行われるようにJPFが主導的に働きかける。

(2) NGOの役割の意義をアピールした広報戦略の策定 ○

⇒ 単に何をやっているのかを説明する方法論から、なぜそこにいるのか、なぜNGOが必要なのかについての理解を促進する。

(3) 現地のビジュアル情報を活用した広報媒体の検討 ○

⇒ 受益者、一般市民、行政官、現地NGOスタッフの生の声を収録したビデオ作成等を通じて、アフガニスタンの「今」を伝える。これらの追加的な費用については、「コスト」ではなく「投資」と考える思考が必要である。

(4) 長期的支援のあり方に関する研究調査活動 ○

⇒ ポスト2015のプログラムのあり方について、より効率的、効果的支援策を検討するため、外部リソースや学識経験者を活用した研究会活動の実施等が考えられる。

⇒ ポスト2015の支援のあり方について、さまざまな方法論が考えられる。たとえば、AAR、JVC、PWJ、CS等が提案している「アフガニスタン市民社会サポートファンド⁴⁸」について、NGOと関係当局が議論してきた。このような事例も参考に、多様な支援のあり方を研究することも必要であろう。

6-3-4 事業実施における「質」へのこだわり

< ◎ NGO ○ JPF >

アウトカムの「質の向上」にフォーカスし、ハードとソフトのコンポーネントのより良いあり方を検討すべきである。例えば、これまで短期的な期間しか提供できていなかった教員研修について、同じ対象者に対する継続した研修実施やフォローアップを行い、学校建設等のハード支援から生み出されるア

⁴⁸ 以下のサイトが参考になる。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/taiwa/pdfs/ngo_rs23_0203.pdf

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/taiwa/pdfs/ngo_rs22_0304.pdf

ウトカムの「質の向上」にフォーカスしたソフトコンポーネントのあり方を検討する。コンポーネント間の相乗効果については、そのストーリー性の向上や「見える化」の努力を行う必要がある。

同時に、支援分野にも「偏り」がないように配慮し、地域の中での脆弱層の権利が守られるよう、対象村落の選択、コンポーネントの設計を行うべきである。

6-3-5 関係パートナーの「人づくり」に配慮した取り組み

<◎ NGO ◎ JPF>

現状では、当面NGOが各種の社会サービスを代替的に提供する役割を担う必要があるが、この状態が続くことは、1) 行政のキャパシティの向上につながらない、2) 市民の行政に対する不信感の増大を助長することにも繋がりがねないという問題もあるため、NGOに求められている新たな役割の理解のもとに、より良いアプローチの検討が必要である。

具体的には、サービスプロバイダーとしての役割に加え、行政、CSO、コミュニティ支援という、パートナーの人づくりの方策を模索することが求められている。

(1) 行政当局関係者のキャパビル

- ⇒ ニーズサーベイに行政官を同行させる等、現状の事業展開の中でも行政官のキャパシティビルディングを盛り込むことは十分に可能である。
- ⇒ 加えて、教員訓練や建設のEPC（設計、調達、建設）に関する基本的知識の習得等、事業に関連した専門的な研修実施を施す等、現行の事業展開の中でできうる人づくりを検討することが求められる。

(2) 現地NGO強化やCSOの活動の促進

- ⇒ 現地NGOとの連携がある場合、現地NGOがより自立し、他ファンドも活用しながら地域に根ざした活動を展開していくことは持続性の「中間地点」とも位置づけられる。また、現地ネットワークNGO等との協働を通じた現地パートナーの強化についても検討が求められる。

(3) 地域リーダーやコミュニティの強化

- ⇒ これまでの事業展開でも地域リーダー（CDC含む）やコミュニティの強化が行われてきているが、今後は、彼らを開発の担い手として位置づける等、目的思考をもったキャパシティビルディングが必要である。今後の事業の中で可能な限りこのような側面に配慮することが望ましい。

6-3-6 アクションプランの作成

<◎ NGO ○ JPF>

これらの提言について、JPFとNGOは早急に協議し、プログラム後半に向けたアクションプランを作成するよう提案する。アクション、タイムフレーム、JPFとNGOの責任のあり方を示し、ワーキンググループで定期的に進捗を把握することが望ましい。

6-3-7 終了時評価に向けて

5章で述べたように、終了時評価のタイミングに向けて以下の情報を整理しておくべきである。

- (1) 達成度の評価のため、団体別、分野別の実績、事業費別の集計をしておくことが望ましい。
- (2) NGOによる学校建設の費用対効果の高さ等を証明できるエビデンスの収集が求められる。具体的には、他ドナーの学校建設費用との比較等である。
- (3) 早期に評価実施時期の計画を立案し、評価人材調達も含め、適切な時期に実施することが必要である。一般的にはプログラム終了数ヶ月前に行う事が望ましい。（例：2015年7月）

以上

6-4 外部有識者、地域専門家による総括

6-4-1 外部有識者総括 今里義和／東京新聞前論説委員、元外務省ODA評価有識者会議メンバー

JPFアフガニスタン・パキスタン人道支援の評価について

(1) 評価の全体的な傾向

今回の評価では、支援現場で活動する各NGOの努力が率直に認められたのに対し、「効果的な連携」の調整役を担うジャパン・プラットフォーム（JPF）の仕事ぶりに対しては、かなり厳しい判定が下された。

すなわち、NGOは「事業実施プロセスの適切性」で「極めて高い」とされるなど、その活動が高く評価されたが、JPFは「プログラム戦略と事業の妥当性」で4段階で2番目の「高い」、「JPFのプログラム実施支援体制」について、4段階の3番目の「一部に課題がある」とされるにとどまった。

NGOが現地の不穏な情勢や行政機関の能力不足といった障害と向き合いつつ高評価を獲得したのと比べ、安全な日本国内で質の高い行政、経済団体と連携して活動するJPFがぎりぎりの合格点しか得られなかった結果は、いかにも物足りない。

評価報告書は、JPFのこれまでの活動の問題点について、予算助成事業の選定の幅、組織内における実務知識の継承、現地モニタリング体制の整備、NGOとの意思疎通など、具体的な課題をいくつも指摘した。JPFは、厳しい判定を真剣に受け止め、今後、早急に課題克服に取り組まねばならない。

JPFが、これほど広範な課題を抱えたまま活動を続けてきたのはなぜか。アフガニスタン・パキスタン人道支援をめぐる、そもそも戦略的な意識を欠いていたのではないか。課題に今後の課題克服にあたっては、その背景や原因も究明し、外務省などを含めた関係者が反省する必要もあるのではないか。

(2) JPFが関与する支援の位置づけ

JPFによるアフガニスタン・パキスタン人道支援にはどのような意義があり、大きな支援の構図の中でどのように位置づけられるのか。そもそも、この基本的な意識が近年、鮮明だったとはいえない。

もとより日本外務省は、2001年9月11日の米国同時多発テロ事件の後、アフガニスタンの民主化、復興を積極的に支援してきた。同時多発テロを実行した国際テロ組織アルカイダが、根拠地アフガニスタンのタリバン政権の崩壊に伴って四散。その後、アフガニスタンが再びテロの温床とならないよう、人道分野、復興、治安回復の分野を重点として支援を開始した。これは、ODA大綱の基本方針である「人間の安全保障」や、重要課題の一つである「平和の構築」の実現という課題にも符合した。

加えて、この地域の安定は日本のエネルギー安全保障の国益上も意味があるとされた。アフガニスタンは南アジア、中央アジア、中東を結ぶ要衝に位置する。日本は近年、輸入原油の85%前後を中東地域に依存しており、同国への支援は、地域一帯の安定にもつながるからだ。

外務省の2013年3月の資料によると、日本は2001年以降、アフガニスタンに対し、総額約47.97億ドルの支援を実施している。2012年7月の「アフガニスタンに関する東京会合」では、それまでの実績として政治プロセス、インフラ整備、基礎生活分野、農業・農村開発及び文化等の各分野で総額約33億ドルに及ぶ支援を実施したとの内容を強調した。さらに、2012年より概ね5年間で、開発分野

及び治安維持能力の向上のため最大約30億ドル規模の支援を行う意図を表明。今後の支援の重点は (a) 農業 (b) インフラ整備 (c) 人づくり——の各分野に置くと表明している。

加えて東京会合では、アフガニスタンと周辺国との地域協力を強化するため、周辺国に総額約10億ドル規模の事業を行うと説明。その中で、中央アジアからパキスタンのカラチに至るアフガニスタン縦断回廊の整備を支援する方針を特記した。

ところが、こうした説明の中には、JPFが関与する支援の位置づけや、JPFの役割の意義などに関する明解な記述はない。今回評価の調査では、7月ごろに外務省の担当部局に聞き取り作業を申し入れ、「日本のアフガニスタン支援全体の中でのJPF人道支援複数年プログラムの位置づけ」などについて質問を用意していた。しかし、外務省からは「東京宣言では“アフガニスタンの経済及び多元的社会の発展における市民社会の重要性を強調”している」との回答が文書で寄せられたものの、結局、「重要性」の具体的な内容などに関する聞き取りは実現しなかった。アフガニスタン支援全体のロードマップの中で、JPFが関与する支援は、他の支援とどのように関連づけられているのか。その疑問をめぐり当局の詳しい見解を確認できなかったのは残念だった。

(3)アフガニスタン支援の環境

JPF評議会は当初、アフガニスタン国内で支援を必要としている人々に「緊急支援活動」を行うことを2001年11月、決議。外務省と協議した上で、JPFに供与されている政府資金から5億8千万円を利用することを承認した。

その出発点から約12年が経過した。日本は、前述のように、2012年までに総額約47.97億ドルに及ぶ支援をアフガニスタンに供与し、米国に次ぐ第2のドナー国の立場にある。国際社会がこの間、アフガニスタンに投入した復興支援は、累積で約300億ドルに達するとされるが、現地の情勢はなお安定せず、復興も進んでいない。いまだに危機の中、アフガニスタンの国民生活の人道水準は世界の最底辺に近い水準から脱していない。

今後の展望も、必ずしも楽観できない。米政府がアフガニスタン駐留米軍を2014年に完全撤退させる案を検討中と伝えられるかたわら、アフガニスタン政府と武装勢力タリバンの和平協議は進展していない。かえって、2014年4月に予定されるアフガニスタン大統領選を前に、国内のテロ活動は激しさを増している。緊張が高まる中、外国のNGOや、NGOに協力する現地市民らの活動にも制約が強まっている。

復興を妨げている困難は、治安だけではない。行政の腐敗、人材の不足、援助依存体質の定着といった障害もほとんど改善されていない。

2012年の東京会合の目標の一つは、「国際社会が“変革の10年”（2015年～2024年）において、アフガニスタンの自立に向けての開発面の努力を支援することにコミットし、支えていく（「アフガニスタンを見捨てない」）との戦略的メッセージを発出することとされた。「見捨てない」という表現の背景には、復興が一向に進まない現地の停滞状況と、アフガニスタン政府と国際社会の焦りや不信感にも似た心理があるように映る。東京会合で打ち出された今後の支援の方針には、あえて「アフガニスタンの持続可能な開発に向け、アフガニスタン及び国際社会の相互責任を明確化するとともに、それを定期的に確認・検証するメカニズムを創設」などと、相互責任に関する「東京フレームワーク」まで打ち出された。

それでは、こうした環境下で、JPFと傘下のNGOはどのように支援を展開していくべきなのか。復興プロセスの長期化と、日本を含む国際社会の援助方針の修正に対応するため、支援活動のあり方を再検討すべきではないのか。

そもそも、JPFとは、難民発生時・自然災害時の緊急援助を、より効率的かつ迅速に行うためのシステム構築を目的とする組織だった。当初の「緊急支援活動」の資金は初動活動にのみあてられるが、その適用期間については、今回の事態が前例のないケースであることに鑑み随時外務省と協議し、弾力的に対応する――とされた。

アフガニスタンでは依然として混乱した状況が続いていて、人道支援の膨大なニーズも解消していない。しかし、2001年から12年を経て今や「緊急」の局面ではなく、世界各地で新たに緊急人道支援が求められる大きな災害、紛争、事件が相次いでいる。アフガニスタンに支援を投入し続けるにあたっては、人道支援の分野であっても、効率的な支援を工夫しないわけにはいかない。

JPFとしても、傘下のNGOに限られた資金を分配する際、事業分野の優先順位を折々適切に見直す努力があってよい。国際社会による復興開発支援と歩調を合わせて相乗効果を図る戦略も一案だ。たとえば、東京会合で打ち出された「人づくり」の重点目標に対応し、地域や市民社会のリーダーの育成、行政能力の構築といった長期的課題への取り組みを新たに強化してはどうか。インフラ整備、農業開発の分野でも支援に工夫の余地があり得るはずだ。

今回の評価報告で、JPFの取り組みに辛口の判定が下された背景には、JPFがその支援の位置づけについて明確な意識を持っていなかった事情、経緯があるのではないか。傘下のNGO個々の個性と能力を生かしつつ各支援の連携を図るネットワーク機能がJPFの本分であり、今、アフガニスタン支援では、戦略的な構図を描く力と意識が問われている。戦略的な構図を描くには、長期的な視点も不可欠だ。

(4) JPF傘下のNGOの活動

地域社会のニーズにきめ細かく清廉に取り組む多彩な人道支援事業は、現地の聞き取り調査でも高く評価された。住民が地方行政よりJPF傘下のNGOを高く信頼する例さえあった。

しかし、日本のアフガニスタン支援全体に占めるJPF連携事業の規模は1%～数%程度で、他の先進国のNGO助成規模と比べるとまだ差がある。JPF傘下のNGOには、十分な資金があればさらに活動を充実できる余地もある。

しかも近年、JPFが傘下のNGOに助成できる資金量は、縮小しつつある。円安傾向が続けば、NGOの事業規模はさらに制約されかねない。

今後、JPFが受け取るODA予算の維持、増額を期するうえで、JPFはまず、傘下のNGOによるこれまでのアフガニスタン支援の意義と成果、現地の評価などを積極的に広報し、日本国内の理解と支持を取り付ける必要がある。今後の支援の重点分野は透明な手続きで選択されねばならず、選択の結果と理由などを国民に説明する責任もある。

限られた予算で事業を効率的に展開するため、アフガニスタン現地の市民社会組織（CSO）との連携も強化すべきだ。既に昨2012年、「アフガニスタンに関する東京会合」の機会に、アフガニスタンのCSOとJPF傘下のNGOなどが協力してアフガニスタンCSO東京会議を開催した。市民社会の現実的な経験と感覚に基づく意見、助言、要求を、支援の展開にあたってできるだけ採り入れてもらいたい。

今後、現地の治安状況が悪化すれば、JPF傘下のNGOに協力している現地人スタッフの安全確保が懸念される。危険情報の収集、他のNGOや国際機関との連携と合わせて、CSOの協力の確保にもぜひ努めねばならない。

難しい時期こそ情報力を鍛えるべき

アフガニスタン・パキスタン人道支援の「複数年プログラム中間評価調査報告書」に外部有識者として加わって、地域研究者としてもいろいろなることを学ばせていただいた。それはこのプログラムに関わってアフガニスタンでの活動を行なっているNGOの関係者が、多くの場合極めて真摯にアフガニスタンの将来のことを考え、そのことを最優先に日本から何とか支援の手を差し伸べ続けたいという積極的な姿勢で最大限の工夫をされている事実である。

(1) アフガニスタンを取り巻く厳しい現実

アフガニスタンを取り巻く現状は、この数年をみただけでも悪化の一途をたどっており、状況改善の兆候はなかなか見出せない。現在の状況に直接繋がっているのは2009年初めのオバマ政権発足から1年を経ずに明らかにされた、2014年末を期したアフガニスタンからの撤退完了である。2011年には実際に米軍の撤退が開始され、またこの年の5月1日に米海軍特殊部隊によるパキスタン領内でのビン・ラーディン殺害作戦が遂行されて撤退のための前提条件のひとつがクリアされた。

前任のブッシュ大統領の任期中、2001年の9・11同時多発テロ事件を受けて10月7日の米英軍による空爆から始まったアフガニスタンにおける対テロ戦争は、その後2003年3月から2011年12月のイラク戦争を挟んで現在まですでに12年近くの長きにわたっている。いうまでもなく長期間の戦争は米国経済を圧迫し続け、この戦争に対する米国民の厭戦気分は覆いようもない。

この間に失われたISAF・米軍側の兵力は3,000人以上、他方アフガニスタンの民間死者数は2007年以降だけで約16,000人に達している。実際にはこれら民間死傷者の多くはターリバーンなど反政府勢力側のテロ攻撃による犠牲が多くを占めている。だが他方で長期化する外国軍の駐留に対するアフガニスタン国民の反発は年々高まっており、2012年には米兵によるコーラン焼却事件から全国的なデモに発展して多数の犠牲者を出すにいった。

オバマ大統領が軍関係者からの反発をも辞さずにアフガニスタンからの撤退を決定した背景には、アフガニスタン戦争に対する大統領自身の認識の就任直後からの劇的な変化があったといわれる。それはこの地域における米国の真の脅威は、アフガニスタン自体よりもむしろ不安定な核武装国家であるパキスタンの方にあるという基本的な発想の転換である。

ともあれアフガニスタン国内においてはターリバーン側（の一部）を将来的にいかに現政府に取り込んでいくかが最大の課題であり、6月にはカタールで米・ターリバーン間の交渉開始が予定されていたものの、これが決裂したことは耳目に新しい。もとより両者の交渉が進まないまま2014年末を迎えることは、誰よりもアフガニスタンの一般国民にとって最悪の展開である。だが残念ながら現状では1990年代のような内戦状況の再来を危惧する声すら少なくないのである。

(2) 日本側でも自ら情報力を高める努力を

この7月以来限られた時間ではあったが、NGO人道支援プログラムの中間評価報告書作成のためのコメント・アドバイスというかたちでJPF主催の検討会に参加させていただいた。そこで感じたことを、ここに幾つか記しておきたいと思う。

日本のNGOによるアフガニスタンへの支援は、基本的にJICAなど政府主導によるものとも赤十字やUNAMAなど国際機関の主導によるものとも性格を異にしている。

そのためNGOによる支援活動は、その継続・終了および拡大・縮小・中断についての具体的な判断が必要な場合には独自の戦略と情報分析に基づいて出来る限り統一的に行動するよう、日頃から議論を深めておく必要がある。

NGOが現在の状況下で可能な限り安全に支援活動を遂行し、かつその成果を最大限に挙げるためには、つまるところ刻々と変化するアフガニスタン情勢についての情報力（とりわけプログラム全体を統括するJPFのそれ）を常に高める努力が必要である。

さてそうすると、NGOの支援活動といっても地域研究者として現地の情報を日々追っている私のような研究者の日常的な仕事と、基本的にやるべきことはそう変わらないということである。中東に限らず外国の情勢を追おうとする場合、①言語力と②基本的な情報ソースについての知識さえあれば、このインターネットの時代に情報それ自体は処理しきれないほど溢れている。

(3) 先ずはダリー語・ペルシャ語の学習を始めよう

語学についていえばアフガニスタンの場合、欧米語として英語・フランス語とロシア語のいずれかが使えることは多かれ少なかれ役に立つ。だが現地の人と通訳なしで渉りあおうとする場合、ダリー語（≒ペルシャ語）ないしパシュトー語を知っているかどうかで結果は雲泥の差になるだろう。

よく知られているように、パキスタンは英語がよく通じる国である。これは第二次世界大戦以前にあの地域が英領インドの一部であったという歴史的な経緯が大きく関係している。他方アフガニスタンはその意味では19世紀以来帝国主義列強の緩衝国ではあったが、欧米の植民地になったという歴史的経験はない（因みに8月18日が独立記念日になっているのは、英国との不平等条約による従属状態からの脱却という意味である）。それ故アフガニスタン人の間で一般に通じる言語といえば、国語であるダリー語、パシュトー語、ないしパキスタンのウルドゥー語ということになる。

翻って日本のアフガニスタン支援はこの数年現地情勢の悪化を反映して、現地側のカウンターパートに事業の実施をゆだねる間接的な形態が多くを占めているという。またこうした現状に近い将来に急激に改善される可能性は非常に小さいものといわなければならない。

日本からの支援がこうした間接的な方式に限定される現状で、逆に日本国内で出来ることは何でも取り組むというような発想の転換が必要であろう。とはいえここで提案していることは大それたことではない。先ずは英語の運用能力を高めてインターネット情報を継続的に収集して纏めること、さらにアフガニスタン現地の公用語であるダリー語（≒ペルシャ語）のレッスンを始めること。このとき間違ってもパシュトー語から始めようなどと考えるはいけない。

ダリー語の講師はぜひとも日本に滞在しているアフガニスタン人が良いだろう。日本の復興支援の一環として日本の各大学に留学している優秀なアフガニスタン人は数多い。語学のレッスンの合間の雑談や教材自体のなかからでも、現地の情報や支援のためのヒントは少し気をつければ幾らでも引き出すことが可能である。まさに一石三丁か四丁、これだけはぜひやって頂きたい。



資料編

評価グリッド

現地調査ヒアリング結果

面談者リスト

第3フェーズまでの実績

目的	評価項目	主な評価設問	評価指標項目	情報収集方法
複合的人道危機軽減のインパクト検証	1. 戦略と事業の妥当性	1.0 プログラムはアフガニスタン・パキスタンの人道支援ニーズに見合った戦略デザインがなされていたか	1.0 アフガニスタン・パキスタンの人道支援の特殊性の把握、明確化を通じた、プログラム定義と戦略のあり方や他の複数年プログラムとの違いの明確化	⇒事業関係資料、国際機関等資料
		1.1 プログラムの重点分野と個々のプロジェクトは地域ニーズと優先度に合致し、実現可能なものか。より脆弱な地域が選定されていたか	1.1 人道支援ニーズ、優先度との整合性（重点分野、個々のプロジェクトの事業の内容、地域選択）	⇒NGO関係者ヒアリング
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	1.2 プログラムや個々のプロジェクトは国や他ドナーによる支援内容と調和していたか	1.2 事業（内容、地域）検討における他の支援との調整履歴と他の支援との有機的関係の検討履歴（重複回避、相乗効果発現の例）	⇒現地調査による基礎情報収集、裨益者ヒアリング
		1.3 個々のプロジェクトの形成は地域関係者、裨益者の主体的関与と合意形成があったか	1.3 地域当局、村落代表、住民との合意形成の履歴	⇒NGO関係者ヒアリング
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	1.4 長期的計画（連結性）、出口戦略は適切であったか（プログラムとして）（プロジェクトとして）	1.4 プログラムの中長期計画における連結性の検討経緯。あるいは出口戦略の有無と適用実績	⇒検討会での協議
		1.5 複数コンポーネントの個々の投入の相互作用があったか	1.5 複数コンポーネント間の結びつきの事例	
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	1.6 NGOの過去の実績、特性が配慮された事業選定であったか	1.6 過去のNGOの実績や得意分野との関係	
		1.7 事業におけるNGOの主体性は確保されたか	1.7 事業形成、実施運営、モニタリングにおける主体性の形跡	
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	2.1 ベースラインの測定、支援効果を図るための指標設定と測定・把握を行っていたか	2.1 ベースライン調査、効果測定指標、モニタリングによる情報把握の有無。過去フェーズ事業の直近のモニタリング実績結果	⇒事業関係資料、国際機関等資料
		2.2 現地での支援調整機構に参加していたか	2.2 セクター会合等の支援グループ会合への参加実績	⇒NGO関係者ヒアリング
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	2.3 事業地・裨益者選定は適切で透明性があったか	2.3 選定クライテリアの内容と、選定プロセスにおける関係者の合意の有無、環境社会配慮のプロセスの有無	⇒現地調査による基礎情報収集、裨益者ヒアリング
		2.4 現地関係者による保守・維持管理メカニズムの組み込みやオーナーシップ醸成を行ったか	2.4 維持管理のための現地グループの立ち上げや強化支援、あるいは同様のメカニズムの有無	⇒NGO関係者ヒアリング
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	2.5 実施プロセスは現実に対応し柔軟であったか	2.5 実施体制や調達における現実的な適応・対応事例	⇒検討会での協議
		2.6 現地関係者への報告、情報の周知はあるか。関係者の意見を事業にフィードバックし反映したか？	2.6 州当局や地域関係者への報告、定期協議の実績。地域関係者のフィードバックに対する反応の例	
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	2.7 人道的側面が配慮されているか	2.7 人道的側面に配慮した事業のデザインのポイントや具体的事例	
		2.8 リスクの把握と対応方針があったか	2.8 抽出されたリスクとリスク対応案、危機管理体制の有無	
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	2.9 現地での職務体制、TORは明確で、十分なリソースが配置されたか	2.9 職務記述書、組織体制図の有無。リソース配置不足による事業進捗の遅れの事例の有無	
		2.10 遠隔操作における関係者のコミュニケーション、業務遂行体は適切か	2.10 遠隔管理のPDCAサイクルにおける具体的改善事例、確立された報告体制の有無、現地提携団体を対象とする能力向上の例	
複合的人道危機軽減のインパクト検証	2. 事業実施プロセスの適切性	2.11 JPFのプレゼンス確保は可能な限りなされてきたか	2.11 日本による支援が認識されている度合い。「ロー・プロフィール」の場合の対応と現地関係者の実際の認識	

目的	評価項目	主な評価設問	評価指標項目	情報収集方法
複合的人道危機軽減のインパクト検証	<p>3. 結果の有効性とインパクト（「新たなツール」としての価値の検討）</p>	<p>3.1 プロジェクトレベルで期待された成果が達成されたか、タイミングは適切であったか</p> <p>3.2 JPF人道支援プログラムは対象地域の複合的人道危機を軽減したか（被覆率とインパクト）</p> <p>3.3 日本のNGOの比較優位があったか。国際機関や二国間ドナーがカバーできない部分を補ったか</p> <p>3.4 本プログラムは、1) 複数のNGOが事業を行うことによる相乗効果や事業の一体感によるインパクトがもたらされることを期待すべきか、2) あるいは複数のNGOがその強みを活かして、一定期間、それぞれの地域での成果を挙げることで、総体としてのインパクトが期待されるべきか</p>	<p>3.1 計画の進捗度、当初期待された成果の発現度合い（発現見込み）</p> <p>3.2 3つの重点分野における貢献度の見込み（限定された地域での改善、変化）、「支援全体」に占めるJPFプログラムの割合</p> <p>3.3 日本のNGOに対する地域の受容性、専門性やマネジメントでの比較優位、「N」GOによる人道支援事業の優位性（NGOや関係者の認識）</p> <p>3.4 単独事業、単独団体では達し得ない成果やインパクトがあったか、あるいは最大限、日本のNGOの強みが活かされたことによる、より実質的な成果やインパクトが見られたか</p>	<p>⇒事業関係資料、国際機関等資料</p> <p>⇒NGO関係者ヒアリング</p> <p>⇒現地調査による基礎情報収集、利益者ヒアリング、関係者ヒアリング</p> <p>⇒検討会での協議</p>
実施支援体制の適切さの検証	<p>4. JPF事務局による事業実施の支援体制の適切さ</p>	<p>4.1 プログラムとしての効果を発揮させるための戦略立案・支援であったか</p> <p>4.2 実施段階で必要とされる支援が行われたか</p> <p>4.3 フアンドレイジングは積極的に行われたか</p> <p>4.4 幅広い関係者への広報と、情報発信があったか</p>	<p>4.1.1 リソース（資金、NGOの実施能力）とプログラム内容の合致度</p> <p>4.1.2 複数のNGOが一体感を持ってプログラムのための支援体制の有無</p> <p>4.1.3 明確な5年間の全体計画、資金配分計画の有無</p> <p>4.1.4 迅速な意思決定の有無</p> <p>4.2.1 明文化された審査基準、透明性のある評価作業プロセスやモニタリング体制の構築と実績</p> <p>4.2.2 実施NGOに対するパートナーとしての助言の有無、専門家投入の実績</p> <p>4.2.3 マネジメントのあり方（意思決定、NGOとのチームワーク、コミュニケーション、組織の記憶の蓄積、他）</p> <p>4.3.1 事業実施・継続のための多様な財源確保の努力</p> <p>4.3.2 資金提供者に対するプロアクティブな説明機会の確保と説得力ある説明内容</p> <p>4.4.1 広報戦略（計画）立案、戦略（計画）更新の有無</p> <p>4.4.2 プログラムに占める広報予算と、広報担当の人員配置、手段（特別site等）の確保</p> <p>4.4.3 複数の広報媒体における広報実績（アクセス数、メディア露出の数含む）、接触率・理解度向上の方策</p> <p>4.4.4 報告会、シンポジウム等の「プログラムの成果アピール」の実績</p> <p>4.4.5 広報内容におけるビジュアル度、簡潔性、論理性（例：「Why」と「What」は適切か）</p> <p>4.4.6 アップデート頻度と迅速性</p>	<p>⇒各種調査結果とヒアリング結果の分析、関係者とのプレミングトーク</p> <p>⇒検討会におけるディスカッションと有識者からのコメント</p>

プログラム後半のための調査・検討項目（Ver.2）

目的	調査・検討項目	主な検討設問	検討項目	検討方法
プログラム後半の方向性と戦略の検討	5. プログラム前半の教訓	どのような促進・阻害要因があったか	5.1 促進・阻害要因と（強化、抑制）対策 5.2 プログラムのあり方の課題	⇒各種調査結果とヒアリング結果の分析、関係者とのブレーストローミング ⇒検討会におけるディスカッションと有識者からのコメント
	6. 現状ニーズ分析	どのような現在の支援ギャップがあるか	6.1 現時点での人道支援のニーズと優先度の再確認	
	7. 情勢変化の将来予測	どのような情勢変化のシナリオがあるか	7.1 プログラム後半での事業実施上のリスク（脅威、事業の遅れ、実施体制上の制約等） 7.2 新たな人道支援のニーズが生じる可能性の検討	
	8. 【これから導き出せるプログラム後半の方向性】 どのようなプログラムの最適化が必要か、どのような実施上の留意点があるか	【どのようなプログラム後半とすべきか】 Programme design for the latter half period 8.1 優先課題、優先地域、実施体制（NGO、JPF） 8.2 本プログラムにおける出口戦略、あるいはより長期的な支援戦略 8.3 今後の情勢変化を踏まえた留意点		
		提言のレベル	提言対象	
提言	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクトレベルの提言 ■ プログラムレベルの提言 ■ JPF組織レベルの提言 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施NGO ・ JPF事務局 ・ JPF執行部 	

現地調査 質問票調査結果

Questionnaire Survey Results JEN Parwan

Questionnaire Survey Results SVA Kabul

Questionnaire Survey Results ADRA/SCJ Bamiyan

Questionnaire Survey Results NICCO Herat

Questionnaire Survey Results JEN Pakistan

(住民関係者、NGO職員らの対象者は匿名としています)

調査期間

2013年8月4日～2013年8月28日

現地調査委託団体

Silkroad Caravan, Inc.

Kabul, Afghanistan

Silkroadenv@gmail.com

+93.797.808.086

Questionnaire survey of JEN projects in Parwan province

Project Sites	Phase 1 (Darul Hoffaz school) and phase 2 (Ezzat Khel school)
Date	4th and 5th August 2013
Interviewer	Ayub Alavi and Hafiz Rahmani
Name of NGO Staff	
Phone NO. Of the staff	

The questionnaire survey was completed by conducting 8 interviews including one provincial and one district level head of education department, one school head master, two local community members - parents of the school students (beneficiaries), two local elder who were involved with the project and one questionnaire via a group discussion with 4 JEN NGO staff.

Interview 1

Local Government Official (head of education department at the district level)

Name and designation: Mr. Mohammad Aziz, head of District Education Department (Salang District)

Phone No

Q. No	Questions	Answer
1.	What kind of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before this project began? What kind of humanitarian needs were there in Education and Hygiene sector, in 2010 before this project began?	Needs were in different sectors and all areas but in education department included: <ul style="list-style-type: none"> - The school buildings didn't existed or were old and not safe to use; - Not enough class rooms for students; - Some of the schools had no toilets and still do not have; - Low level of knowledge among teachers; - People had no knowledge about personal hygiene and people were dying from simple diseases
2.	How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)	Since the school project was implemented: <ul style="list-style-type: none"> - Knowledge of teachers and students improved, - Now the school building has the capacity for more students compared with the past - Level of disease among school students has decreased
3.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	An NGO called PAMLARANA has provided some literacy courses
4.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or	We meet occasionally and as needed, officials from our department and NGO staff participate and we also are in contact via telephone, if needed

	support the mechanism?	
5.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	The education department at the provincial level played the main role and CDCs and NGO were all involved in the selection process. The decision and approval was taken by Salang district education department and Parwan province education department
6.	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	No specific criteria existed but the most needed, populated and central location were the criteria used for the selection process.
7.	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	About one year before the project, the head of NGO had visited the project location but I do not know if there was any baseline survey or data.
8.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	I am satisfied with the project quality which is good but I do not know the budget of this project.
9.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	There were some small issues and minor problems like land issue and local labors (he is not sure), but was resolved by coordination among education department, NGO and local communities.
10.	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	Verbal reports and information at our occasional meetings was provided. There were no regular scheduled meetings but we met on as a needed basis.
11.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	CDC and the local elders were all aware of the projects at all times during the project implementation and they visited the project regularly and provided recommendations.
12.	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	There are school support committees in each school (including your project school) which is established by community representatives under supervision of education department but not established by the NGO.
13.	How can you identify the impact of the School building rehabilitation and Hygiene component? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	We clearly can see the increase in number of students, decrease in number of disease among the students and increase in interest among local people to and have their children educated.
14.	Was there good interaction between different components, namely school	Yes, I think there is close relation and interaction between the three project components including the

	rehabilitation, water supply and hygiene components of the project?	school building, drinking water and improved personal health
15.	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	1- First we need more school buildings, 2- Health clinics, and 3- Electricity and power by building dams
16.	What is the future forecast for assistance to the community?	Our society is developing and if the security keeps as it is now, more assistance will come to our people
17.	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	If the security and political situation of the country do not get worse, our social structure will develop and will improve
18.	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	Yes (but he is not sure about it)
19.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes, the activities of Japanese NGOs are to our benefit and our development, the local communities are interested in the activities of this NGO (JEN) in this area.
20.	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	About three years, and their experience will benefit their future projects in this area
21.	PLEASE ask to provide necessary information in order to fill in the attached table, "Humanitarian Needs and Assistance List in this region".	In general our area needs more assistance in sectors like road construction, computer training, training on management and also on-job technical trainings

Interview 2

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: head of CDC in Qhalatak village of Salang

Phone No:

Q. No	Questions	Answer
1.	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	Before war our situation was good. There were lesser facilities but our life was normal, when the war started our way of life was destroyed including our social structures, economy and our culture, especially during the Taliban era. With Karzai's government, our new life started with provision of facilities and now the life of people in this mountainous region is good.
2.	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	Yes, twice. Once at the invasion by Soviet Union and the other during Taliban time

3.	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	We had lots of needs such as in health, education and livelihoods development.
4.	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled?	Those needs still exist but about 80% of those needs are fulfilled
5.	What kind of assistance did you have from other organizations or from the governments?	Drinking water and electricity by World Bank in some of our villages and also some food have been provided by the ministry of women affairs and some other donors
6.	Why did this project select this village instead of other villages?	Our village is center to the area and we are needy people
7.	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	First we suggested and made a request, then the NGO surveyed our area and also the provincial education department agreed
8.	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	The project quality was 80% good and it was completed about 20 days after the schedule.
9.	What kind of problems did you and the project have and how did you solve these problems during the project period?	One issue was that everybody from local communities wanted to work on this project as paid labor, and in this regard the community elders sat together and decided to give everybody the chance to work, by turn and on different days.
10.	Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?	Yes, it has increased the interest of people for education of their children and in long term has increased the unity among local people
11.	In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?	The local people and CDCs have committed to maintain the school building and repair it if needed without support of NGO and to protect the school
12.	Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?	No written report was received but verbal updates and information provided in their meetings.
13.	How long is the NGO working in your area? What is their reputation?	About three years this NGO worked in our area and they have good reputation among people and people like their work.
14.	In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?	Yes, NGOs called BARAK and RUSTAI
15.	How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?	Yes, the NGO staff told us that the donor of this project is Japanese and about 80% of local people are aware of this.
16.	What is the most urgent need which should be met immediately	Now we need a mosque and drinking water supply system.

	in this village?	
17.	How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?	We are not optimistic about government assistance but we are concerned about NGOs assistance as there are rumors that NGO support will end in 2014.
18.	Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask carefully)	The government will not be able to support development of villages on its own

Interview 3

Villagers (parent of student)

Name and relation with the project: a villager from Qhalatak village

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	We had good education before war and a good life but it was very difficult since there were very few facilities available, but we had good security. With start of war people's life were destroyed and we lost our entire life at least twice, but no, we lost our life many time. Now life is getting better but still there are many needs and a long way to a good life. We are happy now.
2.	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	Me and my people become displaced twice. Once in the war with Russia for 4 years and another time 5 years during Taliban.
3.	How are your living conditions now?	My life is good on an average level.
4.	What is the urgent need of you and this village? (generally) Were the schools building, water supply in the school and hygiene knowledge the problems in the village?	<ul style="list-style-type: none"> - Health clinic - Bridge over the road that our children can cross the road safely - More class rooms in the school - Drinking water Water was needed for the school and now it is good and children knew little about their hygiene which is better now
5.	How are those needs being satisfied or not?	Most of the problems are solved with construction of the new school building but still there are more class rooms needed because the number of students have increased and continue to do so.
6.	What do you remember in hygiene training? How do you use those knowledge in your daily life?	I remember about washing hands by soap, brushing my teeth and cleaning my children for school and now my children are more clean when they are in school.

	What kind of specific change did the project bring to school time to your child or to your life?	
7.	Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment)	There are many positive changes by this project but no negative changes. It provided jobs for local people during construction
8.	What is your main source of income?	I am a truck driver
9.	Why did they select the school as a target?	We needed it urgently, the people requested it and we followed up our request
10	How did the community discuss the selection of target school?	By arranging and participating in meetings
11	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	I do not have specific information about contribution by people into this project but I am aware that local communities have committed to protect the school and the building.
12	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes, as I have heard from the school and CDC members, the government of Japan has provided the money.
13	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	There were no relationship before this project.
14	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, the project was completed on time and the quality is very good, I have heard all CDC members are satisfied with quality of the project
15	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	I am not sure about the government's commitment.
16	How do you foresee the future social situation in this area?	The social situation of this area will continue to develop if security is as good as it is now.

Interview 4

Villagers (parent of student)

Name and relation with the project:

a villager from

Navoch village of Salang

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
-------------	------------------	---------------

1.	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	Before war we were very poor and had tough life but had very good security and we were all happy. Our life was very simple. When the war started we were in front line and lost our belongings. During Taliban again we were in front line of war and we lost our entire life. After war, life is improving but still we do not have jobs and income. Our agriculture income is not enough.
2.	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	Twice, the first time during war with Soviet Union, I went to Iran for 6 years and second time we went to Panjsher
3.	How are your living conditions now?	Now my life is good but I do not have job and income
4.	What is the urgent need of you and this village? (generally) Were the schools building, water supply in the school and hygiene knowledge the problems in the village?	<ul style="list-style-type: none"> - Lack of shelter and house - Lack of enough class rooms because number of students are too much for this school - Access to drinking water - Electricity <p>We had no water in the old school building but now water is good. Hygiene was a problem among the villagers and school children</p>
5.	How are those needs being satisfied or not?	Most of the school problems are fulfilled by the new school building but still we need more class rooms.
6.	What do you remember in hygiene training? How do you use those knowledge in your daily life? What kind of specific change did the project bring to school time to your child or to your life?	Cleaning my children, cleaning the classrooms. Now the children go more happily to school and they brush their teeth and wash their hands and face by soap.
7.	Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment)	It provided jobs and income, people are more happy by sending their children to school. Project has no negative impact.
8.	What is your main source of income?	Agriculture and horticulture
9.	Why did they select the school as a target?	Our population was high in this village, we are at the center of this area and people were really interested
10	How did the community discuss the selection of target school?	CDCs consulted with people and selected the location.
11	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	People cooperated for providing sand and stone for construction and people and CDCs guaranteed to protect the school.
12	Do you know which country provided the funds for this project? How did you	Yes, Japan and I know this from the school administration and CDC.

	know? (or Why didn't you know?)	
13	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	The NGO had no relationship with this area before.
14	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, they completed the project on time and in good quality.
15	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	I do not think so. The government is too weak
16	How do you foresee the future social situation in this area?	The life will be better

Interview 5

Local Government Official (representing government at the school level)

Name and designation: Fazluddin, the school headmaster (Maulana Abdurazaqh high school)

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before hits project began? What kind of humanitarian needs were there in Education and Hygiene sector, in 2010 before hits project began?	Our life was not good and we had needs in different sectors, especially in education sector we had the following needs: <ul style="list-style-type: none"> - Few classrooms were available - Few facilities were available - School students were not aware of their personal and environment hygiene.
2.	How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)	As this project implemented: <ul style="list-style-type: none"> - Teachers and students are more aware of their personal and environment health and hygiene - The school building has provided more and better classrooms - The number of disease incidents among students decreased
3.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	Electricity, drinking water and water reserve provided through NSP program, some road projects by other a NGOs, 50 days of work for food by WFP and also a loan program by BARAK organization
4.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the	Meetings were conducted as needed between NGO staff and CDC members and information was shared including updates.

	meetings or support the mechanism?	
5.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	Based on the original request by CDCs and the general information/surveys of provincial education department, the district and provincial education department provided list of target areas but at the final stage the target area was selected jointly by NGO, education department and CDC.
6.	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	There were no criteria discussed as far as I know but this school were selected because of its population and location in relation to other villages.
7.	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	I am not sure but I think there was a survey conducted by NGO and they visited the school and communities but I do not know the result. We clearly see the positive changes on the school and students.
8.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	The quality is good and is covering some of our needs but since the number of school students' increase every year, we do not have enough classrooms for all of our children.
9.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	Some minor issues appeared, we dealt with it together with CDCs but no major problems happened.
10.	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	Verbal updates and information were provided in meetings but there were no regularly scheduled meetings. Meetings were held on as a needed basis if there were issues to be solved or discussed.
11.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	CDCs and community elders were involved since the beginning of project, and we monitored the construction works and provided recommendations and suggestions if needed.
12.	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	No, mechanism was established by NGO but we have the school support committee, community representatives are member this committee. If the school building needs some maintenance or repairs, they will work on it and ask community to do what is needed. They are committed to protect and support the school.

13.	How can you identify the impact of the School building rehabilitation and Hygiene component? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	Impacts of the project as I can see are increase in number of students, decrease in disease among them and increase in interest to education among local communities.
14.	Was there good interaction between different components, namely school rehabilitation, water supply and hygiene components of the project?	Yes, there is good relation and the training program supports the project very well.
15.	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	The most needed are more school buildings, establishing health clinics and electricity.
16.	What is the future forecast for assistance to the community?	Hopefully we will continue developing but it seems that the international assistance is decreasing and we worry about it.
17.	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	The security is not clear that how it will be but if it is going to be good everything else will be good including the economic situation.
18.	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	Yes
19.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes, their activities are benefit to our social development and local communities trust their plans and activities when the name of Japan is behind it. Transparency and honesty are also part of the Japanese funded projects.
20.	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	We had no contact or knowledge of this NGO before implementation of this school but now it is few years that they are working in our region.

Interview 6

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: a member of CDC in Ezzat Khel village of Jabal-d-Seraj district

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened	We had poor but stable life before war with very low level of income and facilities in our life. The war with Russia destroyed our life. After that during Mujahidin war we lost

	during war period and after the war.	the remaining of our life and had no income or job. During Taliban our area was in front line of the war with them and we had no families staying in this region for a while. After Taliban we are rebuilding our life and the social and economic situation in getting better.
2.	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	We were displaced two times, first for 10 years in Iran during Soviet Union war and second time for 2 years during Taliban.
3.	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	We mostly needed roads, health clinics, school and religious schools
4.	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled?	Still we are needy on those area but the situation has improved and we are 80% developed.
5.	What kind of assistance did you have from other organizations or from the governments?	We have electricity, improved roads (not paved), flood control walls, water wells and also some food have been distributed.
6.	Why did this project select this village instead of other villages?	We needed classrooms and our village is in the center of region which most villages can come to this place easier.
7.	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	We had our request and suggestion in advance and we did follow it through the provincial education department and later the NGO also surveyed this location and approved it.
8.	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	The school building project was completed on time but the quality is not as good as we expected and I am not satisfied with quality of the work.
9.	What kind of problems did you and the project have and how did you solve these problems during the project period?	There we lots of dust during the project implementation.
10.	Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?	Yes, there are positive changes that people are more interested and are more happy to send their children to school and they are more coordinated and cooperative among themselves.
11.	In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?	The school support committee involves local people and parents of the students and they are committed to maintain the school building without involvement of the NGO.
12.	Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?	All information about the project and progress or work were provided in the meetings between CDCs and the NGO staff.
13.	How long is the NGO working in your area? What is their	It is about 5 years that they work in this region and people respect them and they have good reputation

	reputation?	among the people.
14.	In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?	I do not know
15.	How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?	Yes, the NGO staff told us that the project is funded by Japan and most of people are aware of this.
16.	What is the most urgent need which should be met immediately in this village?	<ul style="list-style-type: none"> - Health clinic - Cold storage facilities - Road - Enough electricity
17.	How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?	We are not optimistic about the government, and other NGOs are not very active in our area. We have received some development assistance but we need more.
18.	Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask carefully)	The government cannot proceed in the development of Afghanistan including our region.

Interview 7

Local Government Official (Head of provincial education department)

Name and designation: Alhaj Zalmai Shahid, head of provincial education department

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	<p>What kind of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before the project began?</p> <p>What kind of humanitarian needs were there in Education and Hygiene sector, in 2010 before the project began?</p>	<p>During years of war all sectors of life were destroyed including our economy, agriculture, education, health, livestock husbandry, etc. and so all of these sectors needed to be rebuilt and to be re-established but in Education sector we needed most:</p> <ul style="list-style-type: none"> - More class rooms - More facilities - We needed to develop capacity and knowledge of our teachers and education - Students were less aware of knowledge about personal health issues and hygiene
2.	<p>How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)</p>	<p>By implementation of this project the knowledge and awareness of both teachers and students have increased, our schools have more capacity and class rooms, the level of diseases incidents among students decreased and people are happy to send their children to school.</p>

		Not only JEN NGO but also there are other NGOs like PAMLARANA who has assisted us in this sector.
3.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	We do not have enough development budgets from our government but had some assistance and money from World Bank to improve and develop about 18 schools. We receive normal government budget which is only enough for teacher salaries, books and some teacher training programs.
4.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	We have a team of 12 engineers in provincial education department which they control the projects. Also we do a joint control by participation of the NGO, construction department of provincial governor office, department of transparency, UNAMA and the provincial education department. In addition to this we have the monthly sectorial coordination meetings at the province level.
5.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	Based on the coordination by provincial education department, CDCs and relevant NGOs, did coordination among themselves and the final approval is made by the provincial and district education departments.
6.	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	We have specific criteria's and list of priorities on which basis we selected the target schools. This priorities also is reflected in our annual plan. Some of these criteria's include: <ul style="list-style-type: none"> - Population - Security - Availability of land - The area should be center to a group or cluster of villages, etc.
7.	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	There have been no baseline surveys, the projects have been selected based on priorities by the province but I can say for sure that when there are needs and the project is based on those needs, there will be positive changes and effects.
8.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	I am satisfied with the quality of JEN projects which has covered our needs to some extent but since the population is increasing fast, we need more class rooms every year.
9.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	There were some minor problems like agreeing about location, land issues, etc., but were solved by coordination and participation of CDCs.

10.	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	The NGO has provided monthly reports to us and participated regularly in our sectorial meetings at the province level and also provided occasional progress reports to us as needed or we asked them or in case of problems or specific issues.
11.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	The school councils or committees (school support councils) or the parents councils have been involved in the projects a lot and directly. Also CDCs and community elders are involved in different stages of the project. All of these parties regularly visit the projects, assist with the problems and give recommendations to the implementers and NGOs.
12.	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	Yes, after completion of each project, the local community and CDCs guaranteed and committed to protect the school and rebuild it if there are any damages in the future. Also we have the school support councils in each school to protect and support schools from local communities.
13.	How can you identify the impact of the School building rehabilitation and Hygiene component? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	Some of the benefits and positive impacts of the projects have been increase in number of students, decrease in disease among students and more interest and sympathy of the local people in education.
14.	Was there good interaction between different components, namely school rehabilitation, water supply and hygiene components of the project?	Yes, all aspects of the project support each other and are directly linked.
15.	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	<ul style="list-style-type: none"> - We need to introduce advanced agricultural technologies - We need to create sustainable jobs like on handicrafts - Developing our education sector toward professionalism and teaching practical skills to our students - Construction of health clinics - Construction of the electric dams and producing power
16.	What is the future forecast for assistance to the community?	Our society is in development and if the security situation continues to remain good, there will be more development assistances to our people
17.	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	If the security and political situation of the country do not get worse, the social situation will improve and if we have a stable government the social situation will also

		improve.
18.	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	It would be better to give more information and be transparent to them but unfortunately this is not happening in many cases.
19.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes, most of the activities by Japanese NGOs are in the benefit to our social development, local people are interested in these NGOs and trust them since they are transparent and honest.
20.	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	I am new in this region and do not know about the past but currently they are in very good coordination with us.
21.	PLEASE ask to provide necessary information in order to fill in the attached table, "Humanitarian Needs and Assistance List in this region".	Some of the emphasized points by the provincial head of education department were: <ul style="list-style-type: none"> - Development of teacher capacity, - Teacher training on laboratory issues and providing/equipping school laboratories - Building more school buildings and class rooms - Continuation of projects and activities by JEN and other Japanese NGOs because I we still have many tent class rooms and lot more needs in education sector and the number of students are increasing.

Interview number 8

NGO Staff

Name, position and period of work for the project:

The interview with NGO staff was conducted as group discussion and different people contributed and answered questions relevant to their area of responsibilities.

Phone No:

S.No	Questions	Answer
1.	What kind of relationship does your organization have in this region or village historically?	JEN started its work in Afghanistan since 2002 and because Parwan area was heavily effected and almost entirely destroyed during war and also because it was close to Kabul and logistically easier to work in this area, it was preferred to work in Parwan province as our target area. We had no particular relationship at the village level.
2.	How well did the prior relationship work in helping to implement the project? Was it essential for the project implementation? If you don't have the past relationship, what could happen?	Since we were present in the area since 2002, this background helps us with planning and implementation. If we did not have background or knowledge of the people and area, it was probable that we would be facing difficulties in our implementation work. Also our relationship and familiarity with local communities and CDCs is one of fundamental factors of implementation that gives the sense of ownership to the people.
3.	Do you think that there is anything you can do that other organizations can't?	Yes, ability to work in unsecure areas and transparency.
4.	What are the advantages of Japanese NGOs or NGOs for implementing humanitarian or development projects?	<ul style="list-style-type: none">- Lesser amount of associate costs which allows most of money to be spent in implementation of project- Best quality with minimum of cost- Good relationship and good reputation of JEN and Japan among communities and government
5.	Do you think that you could maintain good relationships with the local government and village stakeholders? If yes, how?	Yes, we do this through regular contact and meetings, sharing information and experience and accepting recommendations.
6.	What kind of problems did you have during the project and how did you sort out these problems?	<ul style="list-style-type: none">- Lack of suitable and enough lands for projects (usually solved via coordination and cooperation between CDCs and provincial education department)

		<ul style="list-style-type: none"> - Bad security situations (which usually tackled by contact with insurgent groups and convincing them) - Some unreasonable people among local communities (tackled through raising awareness and involving communities and CDCs in the issue)
7.	What kind of risks did you assume for the project implementation? Did you have particular counter measures for those risks?	The risks are natural disasters and bad weather, rapid change in market prices and security related risks. We always consider these risks in our plans and try to provide appropriate alternatives and solutions.
8.	Did you pay any special attention to the humanitarian aspect of the project implementation?	Yes, training staff on security and safety, providing safety equipment and training and requiring them to use safety equipment.
9.	How do you identify the change brought about by the project? Do you have any specific indicators?	We have specific indicators, we do pre and post assessments, and we use specific assessment forms in beginning, middle and final stages of the project
10	In the case of training component, how do you identify the effect of this component?	We conduct pre and post tests and also monitor the changes after training
11	Do you have any examples of providing a flexible response to changing situation in the field? e.g. sudden increase of IDPs	Yes. In 2012 during construction of a school part of the school land was seized by a local individual and we were waiting and stopped the work for a while but finally we were able to facilitate some meetings among community elders and finally the person agreed to return the land to the school project.
12	What are the remaining needs in this region or villages? How will those needs be fulfilled?	<ul style="list-style-type: none"> - In health sector (clinic buildings, equipment and better trained doctors) - In agriculture sector (cold storage and agriculture equipment) - Drinking water and water distribution - In education sector (school building, surrounding walls and drinking water for the schools)
13	Do you think that the government is committed to the future development of the region? (ask carefully)	There is no doubt that the government is committed to the future development of villages in this area but we are not sure that it can deliver such services
14	When did you last visit the project site of the 1 st & 2 nd phase?	About one month ago for checking the water system
15	How many staff were assigned to the project in your office? Was this enough?	Two field engineers and one field officer
16	Did you have a job description in the project? Did it clearly state your roles and responsibilities?	Yes, every one of them have it as part of their contract

17	When & how often did you report about current project to HQs (Kabul & Tokyo)? What kind of report format do you have? What kind of regular communication system do you use to report or exchange views?	<ul style="list-style-type: none"> - Daily report to head quarter office in Islamabad, Pakistan - Weekly reports to Kabul office and cc to head quarter office in Islamabad, Pakistan - Semi-annual (6 months) reports to the provincial governor office with copy to the provincial department of economy - Monthly report to the sectorial department of province and PDC meetings - Three months reports to the Provincial Development Council
18	Did you have any examples of clear instructions that you received from HQs to sort out any problem?	Not specifically about problems but there are other manuals from and HQ office
19	What is the biggest problem in current "Remote Management" by Japanese NGO? How do you manage the problem?	Bad security situation is the biggest problem now.
20	Are there any personal capacity development opportunities or programs in your office? What's your opinion about what should be done?	We use opportunities when there are training programs in country or outside by home office and the trained person is responsible to deliver such training to the rest of staff when is back. Also we support our staff to participate in some training program by other NGOs

Humanitarian Needs and Assistance List in this region

Please ask the Provincial Office or District office about the humanitarian needs in the region.

3 main sectors should be selected by them and” what they have already received” and “what they will have to cope with” should be explain briefly.

Priority 1: Sector and details of need	
Education sector	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>There have been school buildings development, new building projects and some teacher capacity development projects.</p> <p>In the current situation the province has 244 school buildings, 109 boundary walls, 221 latrines, 113 water well and 35 laboratories.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Development of teacher capacity regarding the modern education approaches, - Teacher training on laboratory issues and providing/equipping school laboratories - Building more school buildings and class rooms <p>from the total 465 official government schools throughout the province, 221 schools need school building, 353 school need boundary walls, 244 schools need latrines, 352 school need water supply or water wells and 430 schools need laboratories and libraries</p>

Priority 2: Sector and details of need	
Agriculture sector	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>There have been no fundamental development efforts in agriculture sector in our province so far. Some simple equipment, fertilizers and improved seeds distributed earlier. Most of our people are involved with agriculture and it can provide many sustainable jobs.</p>	<p>In this sector we need fundamental developments toward industrial and mechanical agriculture, providing advance machineries, improving irrigation system and irrigation canals and training our farmers on use of the new advanced equipment. Also we need subsidized improved seeds and fertilizers.</p>

Priority 3: Sector and details of need

Health sector

Past Assistance

In the health sector we have the provincial government hospital which has limit capacity and there were some basic medical equipment provided earlier by NGO supports but not enough at all. We do not have enough medical doctors. Also district medical centers also have been built throughout the province but there are no proper equipment and no professional doctors available there.

Remaining Needs

We need:

- More clinics in the rural areas,
- Develop the building and provide equipment for the provincial hospital
- Training and capacity development for our medical doctors
- Proper equipment and doctors needed to cover more remote and rural areas

Questionnaire survey of SVA project in Kabul province, Bagrami district

Project Sites	Phase 1 (Qalai Ahmad Khan school)
Date	7 th and 31 August 2013
Interviewer	Ayub Alavi and Hafiz Rahmani
Name of NGO Staff	
Phone NO. Of the staff	

The questionnaire survey was conducted by 6 interview questionnaires. In this process one high level official from the Ministry of Education, one school head master, two local community members as parents of the school students (beneficiaries), one local elder who were involved with the project were met and questioned and one questionnaire was filled in a meeting with 2 key staff of SVA.

In this process of evaluation a 16 class room school building project of phase two program was visited in Qalai Ahmad Khan village of Bagrami district, Kabul province (520183.10 m E – 3820064.74 m N).

Interview 1

Local Government Official (at the school level)

Name and designation: Del Aqha Safi, the school head master

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before hits project began? What kind of humanitarian needs were there in Education and sector, in 2010 before hits project began?	In our area there were few class rooms available, very limited public services accessible, the quality and level of knowledge among the education sector actors were very low and limited and there were many families that they were not interested or were not able to send their children to school
2.	How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)	There were few development projects in this place by NGOs including your project of this school. Comparing with other projects, the school building by SVA is of good quality and the project finished on scheduled time.
3.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	In this place there were not many NGOs and donors interested to help us. This is a very poor community of Qalai Naw, Qalai Ahmad Khan and Bagrami. Very little aid support was provided to us including NSP funds that we spent on roads and drinking water. Also we

		benefited by a water-supply project by a French donor. During past years there have been food distribution projects sometimes as well.
4.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	They were in contact with us and meetings were organized according to the need and situation. In these meetings the information about project progress and any other issues were shared and discussed with community representatives
5.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	Based on the survey by engineering department of ministry of education and our request, our need was assessed and then coordinated with education departments of Bagrami and Kabul, our CDCs and the NGO, the selection process was complete and they agreed to do the project in our area. It was greatly needed.
6.	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	There is a huge population in this place and there were not proper and enough classrooms for our children. Most of the students were in tents. I do not know about any other criteria or agreeable criteria.
7.	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	There were a visit and a survey was conducted about one year ago before the start of the project, but I am not aware of the results or detail of the survey.
8.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	I am quite satisfied with quality and the project was finished on schedule.
9.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	There was a problem about water supply for the project. Because of the high level of salinity in the water at the place, the water used for the project was brought from outside by NGO and partially contributed by local communities.
10.	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	I was present in all of the meetings at the local level about the project and in these meetings update information and progress reports were provided by NGO staff verbally. I also was present physically on the project site most of the time and I could get information from them.
11.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	CDCs, community elders and representatives were involved with the project throughout the different phases. They followed their request at the ministry of education until the project was agreed for this place. We then held coordination meetings with NGO staff and sometimes with

		representatives from the district authorities. Community representatives and members of the parents council were supervising the implementation of the project.
12.	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	After completion of the project local communities and CDCs guaranteed to support the school and actively participate in any maintenance and volunteered to repair the building if necessary. Also there is the school support council in the school (not related to this specific project) which community representatives are actively involved with school issues.
13.	How can you identify the impact of the School building rehabilitation and other component? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	As results of this project and based on my observations and personal experience is that number of students have increased, there are less disease among them, quality of teaching and learning is improved and we can find good teachers for our school.
14.	Was there good interaction between different components, namely school rehabilitation, water supply and other components of the project?	Yes, we are satisfied with all components of the project and they were all useful and needed and complementary to each other.
15.	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	Currently our most urgent needs are school buildings, health clinic and improvement of our roads.
16.	What is the future forecast for assistance to the community?	The society is developing and people are changing and I hope more aid from donor community comes and supports our development.
17.	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	If the security is maintained and war does not start, the society will develop more and improve from economic and cultural point of views.
18.	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	No
19.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	All of the activities by Japan is in our benefit and people believe this and they trust the Japanese NGOs and the way funds are used.
20.	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	We were not familiar with this NGO before this project and it is only few years that we know them.

Interview 2

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: a member of school support committee, Ahmad Khan

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	Before the war with Soviet Union and before the Mujahedin entered Kabul, here was a small village with few households and very little population. Life was simple and very limited. We had jobs and were working in the Nassaji government factory nearby. Life was good. Basically during Mujahedin we lost our life and went to Pakistan but during Taliban I returned but had no jobs or income. Now we are working on the brick factories and making mud bricks.
2.	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	Yes, I experienced displacement during Mijaheedin
3.	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	In these years there were needs everywhere but most urgent needs for us is drinking water, health clinics, education, electricity and improved access roads
4.	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled?	About 80% of those needs are covered but we need more school buildings and the roads are not paved.
5.	What kind of assistance did you have from other organizations or from the governments?	The water supply project by French, some school buildings by USAID (America) and also the NSP projects worked on roads and drinking water, some NGOs distributed foods for us annual basis after Taliban.
6.	Why did this project select this village instead of other villages?	This location is the biggest and center to the surrounding communities and the school was the most populated and we are poor people who consistently requested ministry of education for help.
7.	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	The selection was based on our request and followed by the survey of NGO to which they confirmed our need and necessity.
8.	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	The school in 100% of good quality and on time finished the work
9.	What kind of problems did you and the project have and how did you solve these problems during the project	One of the problems was saline water which was not good for project works. For solving this issue the NGO had to buy water

	period?	
10.	Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?	Yes, it has brought interest of education among the people and school among children. Also it has made people more unified.
11.	In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?	Local people agreed and announced that they will participate in any voluntary works for repair and maintaining the school and also the CDCs are committed to support the school in future.
12.	Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?	Yes, time by time and as we participated in the meeting between community and NGO staff and also they gave us information when we visited the project.
13.	How long is the NGO working in your area? What is their reputation?	It is about two years that they are active in this region and people know them as good and useful
14.	In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?	I do not know
15.	How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?	The NGO staff told us that Japan is paying for this project and about 80% of people know about this issue.
16.	What is the most urgent need which should be met immediately in this village?	Know we need paved roads and improved drinking water system
17.	How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?	I am not hopeful about obtaining supports from the government and also our people are worried that NGOs also will leave Afghanistan after 2014
18.	Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask carefully)	No, government can't support development of villages and rural areas.

Interview 3

Villagers (a parent of student)

Name and relation with the project:

Qalai

Ahmad Khan village of Bagram

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	The life before war was good and we had simple and comfortable life. Our families could easily travel for trade and working with government was honorable job. With the government salary I was able to cover my needs and family's life 100%. During Mujahheden there was no place for me to live here and also the same during Taliban. Me and my family were in Pakistan all of this time.

		Now life is difficult but I am optimistic about the future.
2.	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	My family was displaced once and we lived a long time in Pakistan
3.	How are your living conditions now?	No I have a mid- level life and can handle the life with some difficulties.
4.	What is the urgent need of you and this village? (generally) Were the schools building and water supply in the school the problems in the village?	We need health clinics, roads, school building and water. And yes, we needed the school building very urgently and also the training program was useful for us and the students.
5.	How are those needs being satisfied or not?	With this new school building, our need is covered mostly in this area but we have more classes in the tent and need more class rooms. Also the school does not have surrounding wall which is a very big issue and urgently needed.
6.	Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment)	The positive impacts of this project have been a lot and I see no negative impacts of it. Also it provided some jobs and incomes to the local communities.
7.	What is your main source of income?	Retirement Salary
8.	Why did they select the school as a target?	Because it was really and obviously needed and it was strongly requested by local people.
9.	How did the community discuss the selection of target school?	Through meetings with community elders and government officials
10.	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	People contributed providing water for the project, and they are committed to provide any further support that the school needs.
11.	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes, as told to us by the school support council, Japanese are providing this support for us.
12.	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	They had no relationship
13.	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, the project was completed in a very short period of time and is of good quality.
14.	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	I am not sure about the government support to this village or other remote and poor places.
15.	How do you foresee the future social situation in this area?	The social situation will get better and will develop if the security is good and as it is now.

Interview 4

Villagers (a parent of student)

Name and relation with the project: resident of Ahmad Khan village,
Bagram district

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	Our life before revolution was poor and in very hard condition. Few people had jobs with the Nassaji factory complex near to this place but most of the lives were very difficult. People had some daily labor jobs in Kabul Bazaar. When the revolution started it got worse. During Majaheeden and Taliban there were no factories working and most of the people lost their lives due to war. After 2001 we are trying hard to recover our life, education and economy but still lots of difficulties and needs more work.
2.	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	We had to leave our belongings and everything and flee to Pakistan when Mijaheedin entered into Kabul.
3.	How are your living conditions now?	No I have good and improving life. I have a small shop in the village.
4.	What is the urgent need of you and this village? (generally) Were the schools building and water supply in the school the problems in the village?	We need health clinic, roads, more classrooms and school building and drinking water. This project was very good and effective covering most of our needs in education and classrooms. I do not know about this training.
5.	How are those needs being satisfied or not?	Our need to proper classrooms and school building is partially or mostly covered but still there are needs for more classrooms and a boundary wall around the school
6.	Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment)	Yes, people are happy with the new school and now we are looking for possible funds for the boundary wall for the school
7.	What is your main source of income?	Small village shop (groceries)
8.	Why did they select the school as a target?	Our children were in tents and the population of students were growing greatly.
9.	How did the community discuss the selection of target school?	We had many meetings within our CDCs and with our elders and finally they went through the Japanese NGO and the ministry of education
10.	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the	People worked as labors and tried their best to work as hard as they could and also we provided drinking water for the project. We also

	building in the future?	helped them to keep and protect their equipment during project implementation
11.	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	We know via the school staff and teachers that the Japanese NGO gives the money for our school project.
12.	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	No relationship we had before this project
13.	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, it completed on its defined time and the quality of their work is good.
14.	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	I am 100% sure that the government will do nothing for this place if NGOs go away and there is no aid money for other countries.
15.	How do you foresee the future social situation in this area?	If the world support us, then the society will keep developing and our economy will grow but if they go out after 2014, there will be war again and Mujahedin will start fighting each other.

Interview 5

Government Official

Name and designation: Mr. Mohammad Qasim Mohseni, Policy and Strategic Planning Director, Ministry of Education

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of humanitarian needs were there in Education and other sector, in 2010 before hits project began?	In education sector we have been dealing with some fundamental problems and serious issues during past few years after 2001. The entire education system was nearly collapsed. In this situation we needed to set up the system, establish new infrastructures, train and strengthen technical and supporting human resources such as our management staff and teachers, as well as provide relevant facilities and equipments for the schools throughout the country. Low level of general and professional knowledge of local actors in this sector has been and still is one of the major and longer term challenges.
2.	How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)	In general the supporting programs and findings by Japanese donors and function of relevant NGOs have been effective and comprehensively supporting us to cover more areas with better

		<p>educational services in the schools of poor and rural Afghanistan but I can't be very specific about this particular NGO and the project that you mentioned.</p> <p>According to my information from provinces and education departments, mostly these IPF funded school projects have been in good quality and on time.</p>
3.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	NGOs have coordination meetings mostly with provincial and district authorities. There is a routine coordination mechanism through the monthly sectorial meetings with NGOs and governmental departments.
4.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	As explained above, local community representatives also participate in this coordination process at the level of villages or also they come to the central level for further following or if there are issues not sorted with local government.
5.	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	<p>We have clear selection criteria for provinces for project selection and on the process of providing the list of priorities in each province and we do confirm or agreed with a project based on those criteria. Some of them are:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Level of population or number of beneficiaries - Officially registered school - Availability of land for a school building project - Security situation - Support and cooperation of local communities, etc.
6.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	As I said earlier and based on my information from provinces I am satisfied with the quality of their works.
7.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	Usually we have issues with land tenure and security in different places
8.	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	We have the school support committees or parents committees in each school and this is a mechanism by MoE throughout Afghanistan
9.	Was there good interaction between different components, namely school	As you explained about the components of this particular projects, they are all interconnected

	rehabilitation, water supply and other components of the project?	and relevant to each other
10.	What is the current condition of needs in education sector of the community? (remaining needs)	Education sector is one of the most successful areas of Afghanistan government and international aids but still there are major areas of needs in this sector. Some long term programs require training and capacity development of professional teachers and quality development of education sector. There are great infrastructures needs such as construction of new class rooms and school building, and establishing/equipping school laboratories and libraries. Still we have many school buildings that need to provide them complementary infrastructures and facilities such as boundary walls, toilets, water system and water wells, etc.
11.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes, according to my information from provinces, they have good coordination and information sharing with the relevant authorities and education departments. Also they are in good coordination about selection of beneficiaries and target areas. There is good trust and good level of acceptance among communities in Afghanistan about funds and NGOs related to Japan. Many provincial education department directors are confident with projects via Japanese NGOs or funds and they are satisfied with quality of their works.

Interview 6

NGO Staff

Name, position and period of work for the project:

The questionnaire interview session with NGO (SVA) staff was conducted with participation of two key staff to provide answers as appropriate to their areas of responsibilities and in according to their knowledge about the project.

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of relationship does your organization have in this region or village historically?	Had no relationship or link to the area or school situation. Our work for selection of a target area is based on the survey results by our engineering team, accompanying the engineering

		department of ministry of education. We surveyed this specific location and in coordination with the MoE engineering department we suggested this to Japanese and it was approved.
2.	How well did the prior relationship work in helping to implement the project? Was it essential for the project implementation? If you don't have the past relationship, what could happen?	We had no prior relationship in this particular area but our experience with the similar situation helped us to better implementation. In my opinion, it is better for the project to have no prior relationship or link to a target area.
3.	Do you think that there is anything you can do that other organizations can't?	Yes, involvement of people. We are good in establishing libraries and involvement of local communities
4.	What are the advantages of Japanese NGOs or NGOs for implementing humanitarian or development projects?	They can provide training opportunities for our staff outside Afghanistan and also we can manage our projects without direct involvement of Japanese consultants and advisors.
5.	Do you think that you could maintain good relationships with the local government and village stakeholders? If yes, how?	Yes, we have good and close relationship with local communities and the government through our coordination/consultation meetings, information and experience sharing and asking their comments and inputs into our projects.
6.	What kind of problems did you have during the project and how did you sort out these problems?	We had difficulty for providing water during project implementation. The water available locally was salty and not usable in the project. We solved this issue by buying water from outside the area.
7.	What kind of risks did you assume for the project implementation? Did you have particular counter measures for those risks?	According to our analysis, we had no important risks identified.
8.	Did you pay any special attention to the humanitarian aspect of the project implementation?	Yes, we have humanitarian aids, supporting basic medical care supports to those labors and staff affected during works and safety training to the labors and workers before starting a project.
9.	How do you identify the change brought about by the project? Do you have any specific indicators?	Through a survey form. We conduct baseline or pre project survey, midterm survey and at the end of project and we compared the results. Yes we have specific indicators.
10.	In the case of training component, how do you identify the effect of this component?	Increase in number of school students and decrease in number of absence days by them
11.	Do you have any examples of providing a flexible response to changing situation in the field? E.g. sudden increase of IDPs	Yes, the water issue in Ahmad Khan school project is an example as I explained.

12.	What are the remaining needs in this region or villages? How will those needs be fulfilled?	There is need for more school buildings in this region, they clearly need boundary wall for this school, and other needs are road, and a clinic.
13.	Do you think that the government is committed to the future development of the region? (ask carefully)	There is no doubt that the government is committed to support rural development but I am not sure if they can deliver it and can implement development programs.
14.	When did you last visit the project site of the 1 st & 2 nd phase?	Two weeks ago
15.	How many staff were assigned to the project in your office? Was this enough?	Two field engineers and 3 supporting staff in Kabul office. Yes they were mostly enough except in some urgent cases
16.	Did you have a job description in the project? Did it clearly state your roles and responsibilities?	Yes, everyone has clear job description or ToR as part of their contract.
17.	When & how often did you report about current project to HQs (Kabul & Tokyo)? What kind of report format do you have? What kind of regular communication system do you use to report or exchange views?	We provide daily reports to our headquarter office in Islamabad and also 6 months reports to the government authorities including the provincial governor office and the economy department.
18.	Did you have any examples of clear instructions that you received from HQs to sort out any problem?	Yes, we receive instructions from HQ office on different issues such as finance, management, etc but specific about sorting out problems, no.
19.	What is the biggest problem in current "Remote Management" by Japanese NGO? How do you manage the problem?	Lack of security or bad security is the biggest current problem for us which we can't implement projects on those places that are needier.
20.	Are there any personal capacity development opportunities or programs in your office? What's your opinion about what should be done?	We send our staff to other countries for training if there is a chance like our finance person is currently in training outside Afghanistan.

Humanitarian Needs and Assistance List in Bagram district of Kabul

The humanitarian needs in 3 main sector in the region are identified based on meetings and interviews with community elders and one official from the ministry of education..

Priority 1 : Sector and details of need	
Education Sectors	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>In Education sector we have been dealing with some fundamental problems and serious issues during past few years after 2001 but so far with assistance for international donors and assistance we have been able to re-establish the entire education system, train and raise capacity of the teachers, built school building and many class rooms and provided related facilities for many schools in this district (Bagrami).</p> <p>In Bagrami we have 33 school buildings, 24 schools have boundary walls, 31 schools have water resources and 2 schools have sustainable electricity.</p>	<p>The education sector of Bagrami district need to establish new infrastructures, train and strengthen technical and supporting teachers, as well as provide relevant facilities and equipments for the schools throughout the country. Low level of general and professional knowledge of local actors in this sector has been and still is one of the major and longer-term of challenges.</p> <p>From the total 42 schools of Bagrami, 9 schools do not have buildings, 18 schools do not have boundary walls, 11 schools do not have water and 40 schools do not have power.</p>
Priority 2: Sector and details of need	
Road	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>There have been some basic improvements such as leveling and gravelling on the roads Qalai Ahmad Khan and surrounding areas as a poor and undeveloped suburb of Kabul city.</p>	<p>Most of the suburb roads (like Qalai Ahmad Khan, Qalai Naw, etc. in west of Kabul city) needs pavement and construction of relevant facilities such as surface water canals. Also there are many secondary roads and valleys throughout the district and villages in this region that are not even leveled or graveled and so they are a major difficulties in winter and for those urgent cases that need quick transport to Kabul city</p>

Priority 3: Sector and details of need	
Drinking water and Health sector	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>The local water resources are very saline and not useable for most households or daily life needs. In the past there were NSP money spent on water supplies and also aid projects by a French donor also worked in this regard. Resulting from these efforts, most households in the region have pipe water for drinking and other daily uses but not enough and more efforts needed according to the local knowledge.</p> <p>There is no health clinic or proper health care services available locally but this service can be reached in Kabul city via a bad road</p>	<p>There are many more households and sub valleys that still do not have access to the existing water system and the capacity of the water system needs to be improved to be able to cover those needy households. By improving the road situation in this region, the need for proper health care services also can be tackled to some extent.</p>

Questionnaire Survey Results of Bamiyan Province

In Bamiyan province there are two NGOs implementing JPF funded program of support to the education sector. The two NGO are “Save the Children” (SCJ) and ADRA. During the field visit by survey team two projects of each NGO (4 school projects in total) have been visited. Topchi school project (405335.66 m E, 385442.43 m N) in about 15km east of Bamiyan city, Shashpul area and Gombaz school project (373432.28 n E, 3867615.54 b N) in about 30km northwest of Bamiyan city, Gombaz/Akhshai area; both projects implemented by SCJ. The third attached building project of the central high school (394253.75 m E, 3854243.25 n N) in Bamiyan city and Darai Ali school project (323425.24 m E, 3839912.19 m N) in about 100km to the west of Bamiyan city, Darai Ali area, Yakawlang district; both projects implemented by ADRA.

During this field mission we met and interviewed the district and provincial authorities in Bamiyan city and Yakawlang district, school staff and teachers, and community elders and individuals as project beneficiaries (detail list is attached).

A- Questionnaire survey Results of SCJ projects in Bamiyan province

Project Sites	Phase 2
Date	August 12 th and 16 th 2013
Interviewer	Ayub Alavi and Ahmad Walid Bidar
Name of NGO Staff	
Phone NO. Of the staff	

Interview 1

Local Government Official (Provincial official in charge of the project)

Name and designation: Mr. Mohammad Reza Ada, head of provincial education department, Bamiyan

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kinds of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before this project began? What kinds of humanitarian needs were	Transportation, energy and agriculture are the two main sectors providing the basis for economic development (basically focused on ecotourism industry) and the education sector

	there in Education and health & hygiene sector, in 2010 before hits project began?	is the basis for social development in Bamiyan. Support and assistance in these sectors are the key elements of sustainable development and in urgent need including shelter and food support. In education sector, we need infrastructure with associated facilities, even after reasonable level of development during last few years. There have been various winter teacher-training programs implemented during the past but teacher capacity development programs are needed.
2.	How well did the project satisfy the needs?(please ask just “general impression” of them)	The school building construction, new classrooms teachers/community trainings and provision of associated facilities have been in accordance to our need and have been effectively improving the educational environment throughout the province.
3.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	Electricity, road and transport infrastructures, rural basic health centers and services, education sector and school buildings, trainings and capacity development programs including teacher training projects by AREZU and other NGOs, shelter and food supports, agriculture supports and developments efforts, etc. are among those areas where some level of assistance has occurred during the last few years.
4.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	Most of the NGOs who are active in the education sector and school development programs participate in our monthly education sector meeting at the provincial center. ADRA and SCJ are among the best NGOs who are cooperative in this regard and closely coordinate with us. We also closely coordinate and cooperate on different stages of the project.
5.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	We have our annual development plan which lists priorities for new school building projects which all NGOs in this sector could consider for support and plan accordingly. In the monthly coordination meetings on education sector the selection of a target (beneficiary) for a new project is discussed and the process for finalizing a project follows through local actors.
6.	Was there agreeable selection criteria for the project site and beneficiaries? (Why did you and the NGO select this village?)	Yes, we have specific criteria that the survey teams and authorities consider them during annual development planning and providing the

		list of priorities for development opportunities. Those project sites that you may have visited are selected based on this plan and also the specific local conditions/situations that are included in the final decision for project site selection.
7.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	Usually during implementation of the projects many small problems appears like land issue and employing the local people as labors which by close involvement and cooperation of CDCs and local elders these problems are solved.
8.	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	Regular update/progress reports are provided in the education sector meetings and occasional reports also have been submitted as necessary.
9.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	All of community representatives (including members of CDCs) are member of school support committees, within this framework they are involved in the process and issues related to the school.
10.	Is “the Parent Shura” that was established by the Project working after the completion of the project? How is the Shura managing the school building as voluntary management system?	The school “Parents Shura” or the school support committee is established by the ministry of education and a representative from NGO who can also participate in the meetings.
11.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services),? Did the results meet your expectations?	ADRA and SCJ are among our best partners, their projects are of good quality. I am completely satisfied with quality of their work and project and they completed their projects on time.
12.	How can you identify the impact of the construction of the building and the training component? How did the project change peoples’ lives? - Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this? - For instance, how can you get to know the change of school attendance rate by the project? - In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	We have survey and control/monitoring teams who regularly visit different schools, especially newly built and completed projects. During these field visits they conduct inspections, interviews and surveys to identify the impacts. NGO have not shared any indicators with us in this regard. According to the surveys and monitoring by our teams, the school attendance rate has increased in all of the schools with provision of new buildings and additional classrooms. I know that the NGOs do such a survey but I do not remember the results.
13.	Was there good interaction between different components (school building, teacher training, health & hygiene	Off course the different components of this project are related and in support of each other but about the training programs, it might be more

	training of the project? What exactly are they?	effective if they are planned for longer period of time.
14.	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	Bamiyan is among the least developed and poorest province of Afghanistan. It is a land locked area surrounded with insurgents affecting the access roads to the area. Most of the districts including Bamiyan city do not have electricity and few appropriate roads are available. Agriculture is still not developed and is conducted with no modern machinery. Health and education sectors are among the most developed areas of social life but we are still in a needy situation.
15.	What is the future forecast for assistance to the community by the government or any other organizations?	I am very optimistic about the future and Insha'Allah all of social and economic sectors will be developing in the future.
16.	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	As mentioned above, the society and social situation will improve and developments will continue.
17.	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	No. it is a good idea and will have positive impacts on the level of trust and acceptance to the government and among local people.
18.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	These two NGOs and the funds given by Japan is trustworthy and satisfactory. There are good level of acceptance and trust among local communities as well about the Japanese NGOs and the projects by Japan. Good coordination with government, considering the needs of beneficiaries, good quality, very tight control and monitoring is some of the advantages of projects by Japan and Japanese NGOs. Very hard working people.
19.	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	I know ADRA since many years earlier as they were active in health sector and are new in education and school issues. SCJ also has long experience in Bamiyan and are familiar to me and to the communities throughout the province. Their knowledge of the area and knowledge of people/local government by them help better coordination and effective implementation.

Interview 2

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: member of school support committees and resident of Gombaz village of Bamiyan.

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	Before war Bamiyan was the main tourism destination and we were able to work in some local restaurants in the Bazaar and once a month we could come back to the village. We were very poor but everywhere was secure. When Jihad started many people had to leave the area but during Taliban it was the worst. They would kill us if they could find us. We had no life on that time.
2.	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	Yes, some people immigrated to Iran during Jihad and war with Soviet Union but most of the people were displaced during Taliban. We were at the front line of the war with Taliban coming from Saighan district (in Gumbaz villages of Bamiyan).
3.	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	We need everything in all of these years and almost no assistance had reached to us except the NSP money that by using that we opened an access road for our village for the first time. This school is the best help to us and the only project that we have benefitted from.
4.	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled? What kinds of assistances did your village have from other organizations or from the governments?	There has been minimum of assistance to us. The only aid project that we have benefitted in this very poor village is this school project by SCJ and the NSP money that we used for our road.
5.	Why did this project select this village instead of other villages?	Because our school had no building and our children were in tents in warm and cold weather and we had no other options.
6.	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	I do not know how they did but God helped us in selecting our village. Government also agreed to support us by agreeing to this project.
7.	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	Yes, it was completed in about 5 months, on time and of very good quality. I have seen other school building projects in other areas but this is the best..
8.	What kind of problems did you and the project have and how did you solve	Our problem is that we do not have land available in our area. Our lands are very little.

	these problems during the project period?	For this project we have to work on a piece of wetland to dry it and make it ready to be used for school. There was no other option available.
9.	Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?	This project has brought us hope and happiness. Now our children have good and safe classes, they are happier to go to school and they do not get too frequently sick as they used to when they were in tents.
10.	In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?	We all will take care of this building and are ready to repair it if necessary. We have the school committee of parents and CDC members to help the school.
11.	Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?	The NGO staff always gave us all of the information about the project that we asked for, we had many meetings with them and I was present on the project and gave them some advice which they appreciated as to where they could find raw materials.
12.	How long is the NGO working in your area? What is their reputation?	Just this time with this project.
13.	In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?	No
14.	How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?	Staff of Save the Children (NGO) told us that the donor of this project is Japan
15.	What is the most urgent need which should be met immediately in this village?	We need a health clinic. The distance to Bamiyan is very long, the road is very bad and in winter there is lots of snow, so we cannot reach easily to Bamiyan for health services.
16.	How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?	Government and NGOs have forgotten us and they will not support us in the future as well. Nobody will look to help such a poor community.
17.	Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask in absence of provincial officers)	Never. They do not want to help us and even if they want, they are not able to do so.

Interview 3

Principal & Teachers (The School Headmaster)

Name and relation with the project: Abdul Qhader Adel, school headmaster, Gumbaz village school, Bamiyan

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	How did the school building change education environment?	Many good and positive changes this project has brought, number of students has increased, last year for the first time I could easily find a teacher to accept to come here for teaching (before this new school building nobody was ready to come here for teaching). People are happy
2.	How did the Teacher Training change teaching approach? Before the training and after the training, what did you (they) change?	The training course about children's right and teaching approaches has changed behavior of the teachers and they are interacting better with students.
3.	How did the health & hygiene training change students' lives? Do you have any good examples? Can you identify any rule or behavior in the daily life of student brought by the health & component?	It has raised public awareness among local communities and the children of school about health & hygiene and personal sanitation which in general less disease and health problems incidence, and less people are going to Bamiyan for treatment.
4.	Why do you prefer "the Child to Child" approach?	Because children can communicate easier to each other and they better accept the health message. The elder children who understand the main topic (during the training), they have free time and during their daily plays with other children they deliver the same message to them. It also have effect on changing behavior of the children on both sides and give them some real and strong character.
5.	How is the ECD (Early Child Development) effective? What & How did it change children's' & parents' attitude?	This program is very effective since it makes the children ready to join the school, it is implemented inside the village and seeing some positive changes on the child's behavior on this early stages of learning, parents get more motivated to send their children to school. Children easily trust each other and so they accept what the other says.

Interview 4

Principal & Teachers (school Teacher)

Name and relation with the project:

school teacher,

Topchi village school

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	How did the school building change education environment?	By the new school building there are good classes and we and students do not have to stay outside in the cold and under sunshine and so teachers and students will not get sick. By the training program teachers have better relationship with students. The school has water and proper toilets (water from the well is a bit smelly because it is close to the grass land nearby and it would be good if we change the water system and pipe the water from an spring).
2.	How did the Teacher Training change teaching approach? Before the training and after the training, what did you (they) change?	Teachers do not beat or hit the children anymore because now they know about the child's rights and treat them properly. They know better teaching skills and so students learn better.
3.	How did the health & hygiene training change students' lives? Do you have any good examples? Can you identify any rule or behavior in the daily life of student brought by the health & hygiene component?	Yes. Now some children carry soap in their bag to wash their hands and also most of them are asking their parents to buy soap and tooth brush for them. Also the school toilets are more clean and stays clean for longer, because now they now how properly use toilet.
4.	Why do you prefer "the Child to Child" approach?	I think it is a good approach to involve children into such programs because they can easily and by the most simple way communicate and deliver the lesson or whatever they need to deliver to a wider range of children. They have time and can use their play time with each other and also children who are going to teach other, they will feel better about themselves and will endorse the lesson for themselves and other children.
5.	How is the ECD (Early Child Development) effective? What & How did it change children's' & parents' attitude?	Children learn better in the school if they have been involved in the early child development program. Parents can have more time to do their jobs and they also like this program. Many more people are interested in this particular program now and we want this to continue for long time.

Interview 5

Villagers

Name and relation with the project: teacher of the literacy course,
member of the school support committee, Gumbaz village

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	We were very poor in this remote village. Had no electricity, no access roads, and no jobs. Our agriculture lands are very limited and livestock is also limited because there is not much of grazing areas left. During the war we immigrated to Iran and came back after Taliban. Now our life is better. Most people go to Bamiyan city for labor jobs and so have some income. We have the road and this new school. Life it better and improving.
2.	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	Yes, we went to Iran during Mujahidin war and returned back after Taliban
3.	What is your main source of income? How are your living conditions now?	My husband works in Bamiyan and also at home I take care of our livestock. I also teach in a literacy course.
4.	What is the urgent need of you and this village? (generally). What kind of difficulty did or do you have in Education & Health (for the children)?	Health clinic, electricity, and road We do not have health care services available, no clean drinking water.
5.	How are those needs being satisfied or not?	We are very poor and this village has not benefited from development aid coming to Afghanistan except this school project and the NSP that helped us on our access road.
6.	What kind of specific change did the School Building bring to children's school life? (e.g. children developed feelings for attending school)	It has been very effective and brought the biggest change in our life. Now we have teachers and we can send our children to school. They will not get sick and can take lessons in the warm and comfortable classes.
7.	What kind of specific change did the health & hygiene training bring to children's daily life?	My children and kids in the village are cleaner, have better understanding of personal health & hygiene and they get less sick.
8.	Why did they select your village as a beneficiary target?	Because this village had never experienced a development project while we needed the school building for many years. Finally somebody found about our poverty and needs and implemented this project for us.
9.	What kind of contributions did the	We provided food and helped them to find better

	community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	masonry. Also we worked as labors for the project while tried our very best to do a better job.
10	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes, Japan paid the money and the Shura member and NGO staff told us about this.
11	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	We had no relationship with them and did not know them.
12	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes. Project was completed on time and as planned. There were meetings in the village at the beginning and during the project between school support committee and the NGO staff.
13	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	No, the government will not help us. They do not even know where we live. If NGOs and foreigners go out of Afghanistan, we will have no more support.
14	How do you foresee the future social situation in this area? (ask in absence of others)	Enshallah good society. No security threats in the future but if foreign countries leave, everything will collapse and we will not be able to live in this place because Taliban will come after us.

Interview 6

NGO Staff

Name and designation: SCJ staff:

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of relationship does your organization have in this region or village historically?	We have been present here after Taliban time and presence of donor-NGO societies in Afghanistan. At the beginning different NGOs with the general name of Save the Children from different countries were active in this area but later on all of these NGOs decided to unify under an umbrella and establish a single "Save the Children" NGO. During all of this time we were actively working in central highlands of Afghanistan of which Bamiyan is part of it. During all of these times we have been dealing with education sector and providing some training

		programs as well as other rural support and assistance.
2.	How well did the prior relationship work in helping to implement the project? Was it essential for the project implementation? If you don't have the past relationship, what could happen?	Our knowledge of the area and good reputation, coordination with local actors help us to provide realistic plans, good coordination in implementation and being flexible to challenges.
3.	Do you think that there is anything you can do that other organizations can't?	Yes, our very flexible implementing strategy, good coordination and relationship with local government and quality control of our project have made us the most efficient and reliable partner for local government in education sector and trustworthy NGO for the local communities.
4.	What are the advantages of Japanese NGOs or NGOs for implementing humanitarian or development projects?	As explained above, the advantages of Japanese NGOs and fund of Japan is the very good reputation among Afghan government and local communities that make them believe, support any development project which Japanese are behind it. Most of the project have been on time, in good quality and planned/implemented in coordination with Afghan counterparts.
5.	Do you think that you could maintain good relationships with the local government and village stakeholders? If yes, how?	Yes, this good relationship and coordination with local government is the focus of our organization. We will keep close contact and will regularly participate in the monthly sectorial meetings of the province.
6.	What kind of problems did you have during the project and how did you sort out these problems?	Security concerns in some areas, logistical challenges in remote places and the very harsh weather and long winters of Bamiyan are the most common difficulties that we face during implementation stages. We usually make sure that all of these elements are considered during planning stages of a project. Another major specific problem is the very short term period of the third phase of JPF fund. It is very difficult work more effectively in the existing time period of phase 3.
7.	What kind of risks did you assume for the project implementation? Did you have particular counter measures for those risks?	We usually consider the natural disasters, bad weather, security incidents, market price changes, management mistakes and technical failures as potential risks to the projects and always we have appropriate measures and alternatives discussed and included in our plan.
8.	Did you pay any special attention to the humanitarian aspect of the project implementation?	Yes, we train our people, we consider the security of the staff and local workers as priority, provide workers with safety equipments.

9.	How do you identify the change brought about by the project? Do you have any specific indicators?	By baseline surveys, pre and post assessments, continual control and monitoring and finally comparing the data and results of these surveys.
10.	In the case of training component, how do you identify the effect of this component?	By assessing our pre and post tests and also the general behavior of the participants in after training on real applicable areas of their works and duties. Example for teachers that we monitor that how they interact with students after training them about the teaching techniques and about the children's rights.
11.	Do you have any examples of providing a flexible response to changing situation in the field? e.g. sudden increase of IDPs	Yes, there are many examples on modifying parts of the original designs based on the situation or some valid advises from local communities or in according to the situation. For example we changed the location of a toilet block in one of our project because the local elders recommended changing it into a new location that the wind can take the smell in the opposite direction of the classes.
12.	What are the remaining needs in this region or villages? How will those needs be fulfilled?	There is a need for more classrooms and school buildings (many schools exist with no building throughout the province). Support and development in agriculture sector is the most needed and effective toward sustainable economic development. Energy and productive electricity, not only for household uses but for industry and economic development.
13.	Do you think that the government is committed to the future development of the region? (ask carefully)	Yes, the government, at least the local government that we can see is committed to support afghan communities and have an effective and positive role on social/economic development but they have limited resources and very limited capacity.
14.	When did you last visit the project site of the 1st & 2nd phase?	About two weeks ago a representative from us participated in a school support committee meeting of a project from phase 2.
15.	How many staff were assigned to the project in your office? Was this enough?	
16.	Did you have a job description in the project? Did it clearly state your roles and responsibilities?	Yes, every person has a job contract with clear job description or ToR as part of the contract.
17.	When & how often did you report about current project to HQs (Kabul & Tokyo)? What kind of report format do you have? What kind of regular communication system do you use to report or exchange views?	

18.	Did you have any examples of clear instructions that you received from HQs to sort out any problem?	To deal with the problems, we usually report the issues to our HQ office and discuss with them and based on this sharing information we make the appropriate decision together.
19.	What is the biggest problem in current "Remote Management" by Japanese NGO? How do you manage the problem?	The biggest problem in this approach or management mechanism is related to the planning and budgeting and relevant timing for the project that some time it is not quite in accordance to the ground level situation. For example the existing phase three of the JPF fund is very difficult to be achieved in Bamiyan with considerations to the harsh weather and long winters in Bamiyan when there is no possibility for construction.
20.	Are there any personal capacity development opportunities or programs in your office? What's your opinion about what should be done?	Yes, some time we send the national staff to the training opportunities in Kabul or other training programs by other NGOs in the province. We recommend that training and capacity development for national staffs go be planned and imbedded with the development programs such as JPF funding for education sector.

B- Questionnaire survey Results of ADRA projects in Bamiyan province

Project Sites	Phase 2
Date	August 14 th and 15 th 2013
Interviewer	Ayub Alavi and Ahmad Walid Bidar
Name of NGO Staff	
Phone NO. Of the staff	

Interview 1

Local Government Official (District official in charge of the project)

Name and designation: Mr. Said Johar Khan Amal, district head of education department, Yakawlang district.

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
20.	What kinds of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before hits project began? What kinds of humanitarian needs were there in Education & Health (& hygiene) sector, in 2010 before hits project began?	In Bamiyan people needed urgent food supports, transportation facilities, shelter supports, electricity, agriculture supports, and also there were no jobs and income. In education sector most of the infrastructures and facilities were destroyed or never developed, there were few teachers available and both human resources and infrastructures were in great need. There have been different winter teacher training programs implemented during years.
21.	How well did the project satisfy the needs?(please ask just “general impression” of them)	This project is in accordance to the mentioned needs in the education sector and very effective
22.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	In the health sector we have been working in the area, ADB has sponsored road projects, a solar electricity project in under development, many NSP supported projects have been implemented in rural developments such as villager roads, solar power, school building, clinics, etc.
23.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	Most of the general coordination and communications are managed through the province and we are mostly visiting the project and doing quality control, occasional project visits, field level coordination and liaison with local communities. At the province level there are the monthly sectorial meeting that the NGO and the relevant governmental departments participate for coordination and information sharing.
24.	In the initial process of the project, how did the stakeholders	Based on the ground level information and our surveys, we provide a annual list of priorities of the

	(government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	education sector and list of school buildings needed. Considering this list of priorities and coordination between district/provincial education department and the local community representative we select a project location but each location should get the final approval of the provincial education department.
25.	Were there agreeable selection criteria for the project site and beneficiaries? (Why did you and the NGO select this village?)	First of all during our survey for provision of annual priorities and development plans we consider different criteria like population, security, interest and cooperation of people, land tenure, level of existing situation and development, number of villages and children who are eligible for school, etc. We always try to select the most needy and urgent cases. This location was in the list of waiting for a development project for 4 years.
26.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	We have usually little problem with the projects by SCJ and ADRA. Regarding the school project in Darai Ali, we had logistical difficulties and also there were not easy stone masonry available.
27.	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	Monthly and regular reports were submitted to the sectorial meeting of the province and we usually were receiving copies of their monthly report. In addition to this on occasional basis and during project visits there were updates and reports provided by NGO
28.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	CDCs and the school support committees were directly involved and continually visited/monitored the quality and progress of the project on the ground. The district department of education (my department) also had regular visits to the project site. Local community members as daily workers were hired and were involved during the implementation.
29.	Is “the Parent Shura” that was established by the Project working after the completion of the project? How is the Shura managing the school building as voluntary management system?	The “Parents Shura” in the schools are a national wide program by ministry of education which is called “school Support Committee” and is not related to this specific project but representatives from the NGO can participate in the meetings on this committee and they usually do so. This committees are a community based structure for involvement and participation of local communities in maintenance and support of the schools toward self-sustaining.
30.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services),? Did the results meet your expectations?	Quality of projects by SCJ and ADRA are quite good and we are completely satisfied with them. The projects by these two organizations are mostly on time and very good. They are among the best of our NGO counterparts.
31.	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have	Yes, On time. Yes they are participating regularly in the sectorial meeting of the province and in any

	meetings with you and other related government officials during the project period?	meeting at the local level with communities.
32.	<p>How can you identify the impact of the construction of the building and the training component? How did the project change peoples' lives?</p> <ul style="list-style-type: none"> - Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this? - For instance, how can you get to know the change of school attendance rate by the project? - In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey? 	<p>I see the improvement in the school and students. The project has made people more close to the government and with more trust to the government, NGO and Japan as a good donor.</p> <p>I do not know if there are specific indicators</p> <p>About the school attendance rate, I receive reports from the school headmaster and I can confirm that the numbers of students have increased.</p> <p>I know that they do surveys before each project by I do not know result of that. If needed I can ask them for it!</p>
33.	Was there good interaction between different components (school building, teacher training, health & hygiene training of the project? What exactly are they?	Yes, when they train teachers to improve their capacity and knowledge, these teachers can deal with students more appropriately and also the new school building is providing better, safer, warm in the winter and happier education environment, which all of these will improve the quality of education in the area.
34.	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	Bamiyan and Yakawlang are still poor, and needs a lot of development efforts and support. We need electricity, roads, health clinics, shelter supports, and development in the agriculture sector.
35.	What is the future forecast for assistance to the community by the government or any other organizations?	The international assistance is disappearing and in 2012 if the foreign countries go out, then the situation will get worse.
36.	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	The social situation will remain calm. Our people are tired of fights and they want to develop their economy and life.
37.	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	It is good to be transparent and people will cooperate better if the know the real situation of Afghanistan.
38.	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes. We always trust any funds and projects which Japan is supporting. The projects are always on time and of good quality. People really trust NGOs and funds of Japan.
39.	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	Since long time. They know this area and have good knowledge of the people and their needs. People also trust them very well.

Interview 2

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: member of Zur Ab CDC and the head of school support committee, Darai Ali area, Yakawlang district

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
18.	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	Before the revolution many people from this area went to Iran and Pakistan for work. Taliban burned our houses, haystacks, our crops and the storages of the winter fuels and they killed too many people of us. After Taliban our life and the area is developing slowly.
19.	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	During Mujahidin war many people immigrated to Iran and Pakistan and also during Taliban most of the people got displaced internally in Behsud and other places and also many people travelled to Iran.
20.	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	Road, electricity, health care services, school and education sector in general, as well as many people had no houses after Taliban burned their houses and food supplies.
21.	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled? What kinds of assistances did your village have from other organizations or from the governments?	We have a very good quality main road from Bamiyan city to the center of Yakawlang, many micro-hydro and solar electric projects by NSP program, some agricultural projects such as potato and wheat seeds. But the most important for us is the main valley road of Darai Ali which is in very bad condition and no improvement on it. Our school is very good and we are happy with that. We have electricity but of very bad quality.
22.	Why did this project select this village instead of other villages?	Because this school had no building for so many years and the government promised us many times and we were pursuing them all the time. The NGO surveyed this location and finally agreed to implement the project.
23.	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	I do not know about the indicators but they agreed with community representatives and we also went to government to approve this project for darai Ali which we needed .
24.	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	Yes, In very good timing and quality. I have been watching their work. In some cases we gave them recommendations in regard to use of better materials and they agreed with us.
25.	What kind of problems did you and the project have and how did you solve	We had no important problem for implementation but the original school land was not enough and

	these problems during the project period?	we could not agree with a local individual to give some land to the new school project and the problem was solved.
26.	Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?	Yes, It has many many positive impacts. It has changed the life and education environment for the children and also people are now happier and they send their girls also to the school. It is easier for the school to find and hire better teachers and we also have some female teachers for girls which makes them able to go to school to higher grades and levels.
27.	In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?	The agreed to maintain the building and this was announced in the opening ceremony of the project. Also the school support committee will actively participate in such efforts. We are all ready and happy to maintain and take care of the school.
28.	Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?	Yes, there were regular meetings among us and we were also present on the project site all the time. The contractor and NGO staff provided updated information as we asked and also in all of the meetings. We had good coordination and transparent information sharing.
29.	How long is the NGO working in your area? What is their reputation?	This project was the first time that we know about ADRA. Now people are very happy with them and they did a good job and on time.
30.	In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?	No. There has not been many NGO working in this place. We welcome anybody who wants to do some work here.
31.	How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?	We completely know from the beginning of the project from NGO (ADRA) that Japan is funding the project
32.	What is the most urgent need which should be met immediately in this village?	Our road to the center of district is the most urgent need and a separate school building for girls.
33.	How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?	No other NGOs or government organization do any work or assistance for us. Everybody has forgotten about us.
34.	Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask in absence of provincial officers)	No. the government has never done anything for us in the past and will not do after this. Even if they want to do, they will not be able to assist us.

Interview 3

Principal & Teachers (The school headmaster)

Name and relation with the project: Haji Asadullah, school headmaster,
Bamiyan central high school

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
6.	How did the school building change education environment?	It has a great impact on capacity on this central school in Bamiyan. By this new building many new students from all around the province have a better education environment, there are no more tent classes and now we have better and enough toilets, and a better appropriate administrative office in the school.
7.	How did the Teacher Training change teaching approach? Before the training and after the training, what did you (they) change?	The teacher training (training on child's rights and improved teaching approaches) has changed the behavior and relationship between teachers and students and also improved the quality of teaching by these teachers.
8.	How did the health & hygiene training change students' lives? Do you have any good examples? Can you identify any rule or behavior in the daily life of student brought by the health & hygiene component?	More use of soap by students after use of toilet and better hygienic behavior of the students in the school. A good example is our toilets which are much cleaner now because of better use by children.

Interview 4

Principal & Teachers (school Teacher)

Name and relation with the project: , teacher of Darai Ali School,
Yakawlang district

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
6.	How did the school building change education environment?	Children are happier, there is better and healthier education environment available, people like the school and send their children to school. We do not have any more tent classes. In winter the school is much more comfortable in the cold weather. More girls go to higher levels, they can attend classes in the new school building. Before it was difficult for girls to come to school and had few female students.

7.	How did the Teacher Training change teaching approach? Before the training and after the training, what did you (they) change?	Now teacher have better knowledge of children's right and know better teaching approaches. Some of our teachers have better ability to teach mathematics and Dari (those participated in the teacher training). Very useful teaching manual and hand books were provided and distributed to the teachers.
8.	How did the health & hygiene training change students' lives? Do you have any good examples? Can you identify any rule or behavior in the daily life of student brought by the health & hygiene component?	By this training, children have better knowledge and useful information about personal health & hygiene and keeping the school environment clean. As example now children use toilets appropriately and they are healthier.

Interview 5

Villagers

Name and relation with the project: a villager from Darai Ali (20 km distance to the south of Yakawlang district)

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
15	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	We had good life before Taliban. My parent was doing agriculture and was very poor. During Taliban it was very difficult time for us. In the last year of Taliban regime, they killed many people of this area and we lost everything that we had in our life.
16	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	Yes, during Taliban my family and myself had to go to Behsood first and then we went to Iran for 5 years.
17	What is your main source of income? How are your living conditions now?	Agriculture and livestock husbandry in the village.
18	What is the urgent need of you and this village? (generally). What kind of difficulty did or do you have in Education & Health (for the children)?	In general we need electricity; our road is very bad quality. Actually this big number of villages in Darai Ali area have very bad road. Also we need a health care center in this area. Our new school (school project by ADRA) is very good and enough for us.
19	How are those needs being satisfied or not?	Our need for good classrooms and school building is completely fulfilled but still have no clinic, no good road and also there is not enough electricity available in the villages.
20	What kind of specific change did the School Building bring to children's school life? (e.g. children developed feelings for	Our children are not under the tent in cold weather and under the burning sun. The students learn better and they are happily going

	attending school)	to school. My children's do not get sick as much as they used to get sick before the new school building.
21	What kind of specific change did the health & hygiene training bring to children's daily life?	People and children's know better about their health and washing properly.
22	Why did they select your village as a beneficiary target?	We had no school building and we were pushing the government for many years, they had promised us several times. The location was chosen because it is the center of many surrounding villages and they can come easier here.
23	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	Community provided the land for school project. In the future we will take care of school and if there are damages or need for repairs, people are committed to help.
24	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes, Japan has provided the fund and NGO staff provided this information to our Shura (CDC) members
25	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	No relationship. We did not know them before this project but yes, they could do this job.
26	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	The project was on time and very quickly completed.
27	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	No. our government will not help us and has never done so.
28	How do you foresee the future social situation in this area? (ask in absence of others)	The situation will be better in future if supports and aids by foreign countries continue.

Interview 6

NGO Staff

Name and designation:

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of relationship does your organization have in this region or village historically?	Before this project of IPF we were active in health sector in Bamiyan and we supported basic health clinics and health centers in the rural areas of Bamiyan. We had very good relationship with and knowledge of government

		departments and local communities.
2.	How well did the prior relationship work in helping to implement the project? Was it essential for the project implementation? If you don't have the past relationship, what could happen?	This early knowledge and good relationship and being known to the local authorities helped us on better planning, easy coordination and better implementation of our programs in education sector which without this knowledge and relationship we would face much difficulties.
3.	Do you think that there is anything you can do that other organizations can't?	ADRA has the work experience in more than 125 countries around the world, good and strong reporting capability and system and also we have very precise control system.
4.	What are the advantages of Japanese NGOs or NGOs for implementing humanitarian or development projects?	The projects by these NGOs are mostly on time and completed in a short period of time. This school support project is a comprehensive package of activities and components such as classrooms and building, training and capacity development and provision of other facilities and equipment like water system, toilets and desks/chairs.
5.	Do you think that you could maintain good relationships with the local government and village stakeholders? If yes, how?	Yes, we will do so as have been doing this good coordination, information sharing and participatory approach since the beginning.
6.	What kind of problems did you have during the project and how did you sort out these problems?	Most of the problems usually appear on start and end of projects. We need to be coordinated with government but mostly the government is too slow or the relevant bureaucracy is very complicated. Also we face some logistical difficulties in remote areas. The other problem is that the government's relevant development plan usually gets ready very late.
7.	What kind of risks did you assume for the project implementation? Did you have particular counter measures for those risks?	Natural condition, natural disasters and security risks are common. To counter those risks we usually try to select the best and most experienced sub contractors and consider about the security problems and use our links and contacts.
8.	Did you pay any special attention to the humanitarian aspect of the project implementation?	Yes. We consider the humanitarian issues in the design of our projects like disabled peoples, we consider the security and safety of our employees as a priority for the organization.
9.	How do you identify the change brought about by the project? Do you have any specific indicators?	We do a survey on each school on about 8 months after completion of the project and we talk to the local beneficiaries and parents, but we do not have any specific indicators in this regard.
10.	In the case of training component, how do you identify the effect of this	We do a pre test and post test for each training and also we gather the health situation

	component?	information from the local clinics and health service centers to find out the effect of the health & hygiene.
11.	Do you have any examples of providing a flexible response to changing situation in the field? e.g. sudden increase of IDPs	Yes, in one of our projects in Shibar district of Bamiyan we found that there was no easy access road available. We discussed this issues with the local communities and they agreed to contribute in this project by improving the road and they did this.
12.	What are the remaining needs in this region or villages? How will those needs be fulfilled?	In Bamiyan we need more school building and more proper classrooms. We need to establish more health clinics in rural areas and provide health doctors and train the existing health actors. Electricity and roads are the most important needs of the area and also the agriculture sector needs to be developed.
13.	Do you think that the government is committed to the future development of the region? (ask carefully)	About 50% yes, but the government can do this only by support of donors and NGOs.
14.	When did you last visit the project site of the 1st & 2nd phase?	In April 2013 which we visited three school project in Yakawlang district.
15.	How many staff were assigned to the project in your office? Was this enough?	7 person and we have no problem in this regard
16.	Did you have a job description in the project? Did it clearly state your roles and responsibilities?	Yes, for every one as part of their contract.
17.	When & how often did you report about current project to HQs (Kabul & Tokyo)? What kind of report format do you have? What kind of regular communication system do you use to report or exchange views?	Our home office is located in USA but we report our activities, financials, and administration/operational to our HQ office in Kabul on monthly basis. Also we organize Skype call as needed or the key personals go to Kabul for coordination meetings on weekly basis.
18.	Did you have any examples of clear instructions that you received from HQs to sort out any problem?	When a problem appears to us, we report and share it with our Kabul HQ and they give us instructions but we do not have such instructions in general.
19.	What is the biggest problem in current "Remote Management" by Japanese NGO? How do you manage the problem?	It is the short period of remaining time for the project and also the original timing of the program was not in good match with education department's plan.
20.	Are there any personal capacity development opportunities or programs in your office? What's your opinion about what should be done?	Not as a planned activities but we try to use any opportunities coming through. I suggest that the training and capacity development of the NGO staff to be included in the project budget.

Humanitarian Needs and Assistance List in Bamiyan

The humanitarian needs in 3 main sectors in the region are identified based on meetings and interviews with community elders and one official from the ministry of education.

Priority 1: Sector and details of need	
Education Sectors	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>In Bamiyan province despite the good success and impressive achievements in education sector, still this is among the top priorities and needs in the province as emphasized by interviewees and by local actors in the group discussions. Among the total of 352 existing official registered schools throughout the seven districts of the province, 1905 classrooms provided, 50 schools have boundary walls, 85 schools have water wells, 1259 toilet cabins are provided, 262 rooms for administrative purposes are provided, 142 storage rooms are provided, and 48 school have libraries.</p>	<p>Among the total of 352 existing official registered schools throughout the seven districts of the province, 2041 classrooms are needed, 295 schools need boundary walls, 270 schools need water system, 1321 toilet cabins needed, 367 rooms for administrative purposes needed, 322 storage rooms needed, and 306 school needs libraries. Also the need for teacher capacity development through long term training programs and winter trainings are strongly emphasized.</p>
Priority 2: Sector and details of need	
Health Sector	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>In Bamiyan there is one provincial hospital which is mostly operation with aid assistance and provides basic health care services. Lack of good professional doctors and lack medical equipments in this hospital is a major challenge. There are many people from around the province coming to this center on daily basis. The district basic hospital or major health clinics also have been established during last few years. In</p>	<p>Expanding the qualitative and quantitative capacity of existing health care centers, clinics and the hospitals, expand capacity of doctors, nurses, and the other health care actors and establishing many new health care centers are the most needed supports that can be done by aid assistance.</p>

<p>addition to this, basic health care centers in some villages or within clusters of villages are providing some basic maternity services and simple medicines to the local communities.</p>	
---	--

<p>Priority 3: Sector and details of need</p>	
<p>Electricity and Roads</p>	
<p>Past Assistance</p>	<p>Remaining Needs</p>
<p>Currently there is one good quality road connecting Bamiyan city to the center of Yakawlang district (100 km) and a solar electricity project under development to provide solar power to the households in the Bamiyan city and the Bazaar area. In addition to these, micro hydro projects mostly funded via NSP program are providing electricity to the villages and rural areas in some extent which provides power mostly for lighting in households. Rural roads (all unpaved) also have been developed under NSP program in some villages.</p>	<p>Basically the existing level of facilities, infrastructures and development in the both roads and electricity sectors in the province is identified as in the very poor situation. Most of the district centres are not linked with the province center by paved roads and the existing gravel roads need improvement and pavement. The existing level of electricity is only enough for household uses and lighting but there is need for stronger and more productive source of energy for industrial and commercial uses. Also there are many remote places excluded from this existing level of health care services and electricity and are not connected by roads to the rest of province.</p>

Questionnaire Results for Razi in Herat Province_

Project Site	Phase 1 and 2,
Date	August 23 rd and 24 th 2013
Interviewer	Ayub Alavi and Hafiz Rahmani
Name of NGO Staff	
Phone NO. of the staff	

In Herat province the field survey team visited two project sites by Razi NGO. Razi has been introduced as the local partner to NICCO in Herat province. The two project sites include 1) a 8 classrooms school project in Imam Shishnoor village of Enjil district, Herat (62.32595 E 34.27675 N); and 2) a school project in Mahalle Arabha of Herat city (62.16183 E 34.35763 N).

During this mission in addition to the project site visits, introductory meetings, group discussions and interview were conducted with local government authorities, local elders who have been involved with the project implementations, other local individuals and the project beneficiaries and the NGO staff.

During one of project visits we were able to conduct a separate group discussion with ladies as participants to the literacy course and their teacher in Imam Shishnoor village of Enjil district. This particular group discussion was important since it was the only meeting that we were able to conduct with a group of female beneficiaries to hear their specific point of views about the project.

Interview 1

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: school headmaster, Imam Shishnoor School, Enjil district, Herat.

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	With start of the war in the country the life system was destroyed, all social, cultural and economic system were affected and changed, specifically during Taliban but since establishment of Karzai's government, more facilities and developments are provided and life is improving. If security continues to improve, more developments will occur.
	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	Yes, for a short period of time during Jihad with Soviet Union troops.
	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	There were lots of needs such as: <ul style="list-style-type: none"> - Health care services - Education and school facilities - On agriculture as the main source of livelihoods.
	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled?	Until now lots of development has happened and about 95% of those needs generally covered

	<p>What kind of assistance did you have from other organizations or from the governments?</p>	<p>Regarding agriculture supports we have some supports on Saffron farming, vegetable gardening, and strawberry farming in our area which mostly is recently introduced by NGO support. Also there were wells drilled by MRRD for irrigation purposes.</p>
	<p>Why did this project select this village instead of other villages?</p>	<p>It was decided based on our urgent need and the fact that we had no school building and children were in tent classes.</p>
	<p>How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?</p>	<p>Based on our request and following via the education department and the assessment by NGO and education department about need for our school.</p>
	<p>Was the project completed on schedule with the expected quality and results?</p>	<p>Yes, it was very soon completed with good quality</p>
	<p>What kind of problems did you and the project have and how did you solve these problems during the project period?</p>	<p>There were no serious problems.</p>
	<p>Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?</p>	<p>There are changes and improvement of interest and attention of people to the education of their children. The children are clean with more appropriate clothes during school times, regular attendance to the classes are improved and disease has decreased among students.</p>
	<p>In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?</p>	<p>There is a school committee that is responsible for support and protection of the school and also the CDC is committed to support and protect the school. I am a member of this school support committee.</p>
	<p>Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?</p>	<p>They always provided update information in the coordination meetings and as we asked for it.</p>
	<p>How long is the NGO working in your area? What is their reputation?</p>	<p>We had no relation or knowledge about Razi before this project but know people have good opinion about them. They have delivered good works in this project.</p>
	<p>In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?</p>	<p>Yes, the "Adel Construction Company" has implemented the water well projects with very bad quality and poor workmanship.</p>
	<p>How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?</p>	<p>The Razi NGO staff informed us that Japan is the donor of this program</p>

What is the most urgent need which should be met immediately in this village?	Currently we need more classrooms, more toilets, teaching materials in education sector and in agriculture we need improved seeds and fertilizers
How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?	We do not expect the government to support us. If there are no support from NGOs, the government can do nothing.
Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask carefully)	The government will not be able to support and develop rural areas. No doubt about this. I know the government and have been dealing with it since many years ago.

Interview 2

Villagers (a parent of student)

Name and relation with the project: head of agriculture cooperative in Katani village of Imam Shishnoor, Enjil district

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	During the war we had very difficult situation. There were no security and our life was destroyed. We had very difficult life and had to move from place to place. It is about 8 or 9 years that the life is taking shape again.
	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	I was displaced with my family but many times.
	How are your living conditions now?	Now my life is good and I have a average life in the village.
	What is the urgent need of you and this village? (generally)	<ul style="list-style-type: none"> - We need agriculture equipments - Fertilizers - Water wells and - Flood control facilities
	How are those needs being satisfied or not?	Most of difficulties about education and need for school is covered but there has been not many development projects in our area.
	Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment)	There have been many positive changes and no negative impacts of this project. During the project it provided temporary jobs for local people as well.
	What is your main source of income?	Agriculture and livestock
	Why did they select the school as a target?	Our children were under tent and in very bad weather and we had no school building.
	How did the community discuss the selection of target school?	CDCs and local people made an official request to the district and provincial departments of education and the government found this project for us.

	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	<ul style="list-style-type: none"> - Local people provided the land - The community representative did all of the following up and early coordination to get the approval for the project - Cooperated on leveling the land for school - They bought the water pump for school and extra pipes for watering the school garden and greeneries - They made the painting and drawing of the school walls - Tree planting in the school
	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes, Japan has funded the project and I know this from the school committee and Shura.
	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	We had no relationship but now they have working very successfully.
	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, they did it very quickly and the school is built of very good quality
	Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	I do not think the government is going to help us. It is very weak.
	How do you foresee the future social situation in this area?	The life situation will improve.

Interview 3

Villagers (Project beneficiaries)

Name and relation with the project: The group interview with local ladies who were beneficiaries to the literacy course and their teacher including

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war? (asking one time enough for one village)	We had very difficult situation and life during the war. During Taliban we were not able to go out of home or work. Most women were not going to school and that is why we have to participate in the literacy course.
	Have you been displaced as an IDP or a refugee? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others?	Yes, we were displaced during Soviet war.
	How are your living conditions now?	Now life is better and we are mostly happy. There are difficulties but we hope it will be solved step by step.

What is the urgent need of you and this village? (generally)	Specific need for women are: <ul style="list-style-type: none"> - Jobs for women - Agriculture supports for women farms - Clinic and health supports for women - Job trainings and technical support for women to find jobs.
How are those needs being satisfied or not?	Some support by Razi NGO have been provided for women farming like vegetable farming, Saffron, etc in this area which has been very useful and supportive to the women life.
Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment)	Yes, many good changes in our life and our children's life. We are healthier. Also because of the literacy course those women that had never experienced education and being present in a class and the girls above 13 -14 years old who usually parents do not allow them to go to school now can go to a class and experience some level of formal education
What is your main source of income?	No income
Why did they select the school as a target?	Our children were under sun and rain and also this place is very safe for projects and NGOs
How did the community discuss the selection of target school?	Shuras (CDCs) and local people found this NGO and so they agreed to build our school.
What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the building in the future?	People provided the land for school.
Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes, the school staff told us that Japan has provided the money for our school.
What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a relationship?	<ul style="list-style-type: none"> - We had no relationship. - Yes they have done a good job.
Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, the project was completed on very short time comparing with other projects and the quality is also good.
Do you think that the government is committed to the development of this area? (ask carefully)	We do not think the government can help us as they have not done it so far. The government is too weak.
How do you foresee the future social situation in this area?	The life will improve per sure with support from foreign countries.

Interview 4

Local Government Official (School headmaster)

Name and designation: Abdullah Emad, Mahalle Arabha school, Herat city

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
1.	What kind of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before hits project began? What kind of humanitarian needs were there in Education and other sector, in 2010 before hits project began?	We had few classrooms and school building, we had minimum of facilities in the schools, and there were very low capacity among teachers and little knowledge among people and students.
2.	How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)	With implementation of this project now there are more appropriate classrooms available, more students come to the school in a good teaching environment which was definitely needed.
3.	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?	<ul style="list-style-type: none"> - Some bridges and road projects by DACAR - Habitat implemented the water piping project - And more road projects by municipalities
4.	What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	There are contact between school management team, NGO and local people and have regular meetings.
5.	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?	The project was selected in coordination with education department, CDCs and NGO and according to the list of school project by provincial education department of Herat.
6.	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	It was long time that the school had no building or proper classrooms and also the student population was very high. This village is the center with easy access for many houses.
7.	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	There was a survey conducted before the project but I am not aware of the results but I can say per sure that there are improvements in quality of education, health situation, attendance rate of students and teachers.
8.	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	I am satisfied with quality of the project.
9.	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	There might be some minor problems that I do not remember, problems were usually solved through coordination with CDCs.
10	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	During meetings with NGO staff and also since I was present in the project site during construction, I was able to get updates and information regularly.

11.	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	The Shura members (CDCs) were involved since the beginning of the project; they regularly monitored and visited the project, provided recommendations and cooperated in solving problems.
12	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	Yes, after completion of the project, district education department, local people, and CDCs committed to protect and support the school and rebuilt or repair it if there are damages to the building. Also we have the school support committee which will also will support the school.
13	How can you identify the impact of the School building rehabilitation and other component? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	Some impact of the projects are: <ul style="list-style-type: none"> - Increase in number of students - Decrease in disease incidents among people and school children - Increase in interest and sympathy among local people to education and school.
15	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	We need establishment of practical on-job training centers. There are good achievements and development in all sectors of social and economy but more supports toward sustainability and continuing these developments are needed.
16	What is the future forecast for assistance to the community?	The society is developing. If the security remains stable and the international supports continue, then we will continue our development.
17	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	If the security remains stable and the international supports continue, then the society will continue development.
18	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	Yes, it might effect on security situation and raise some concerns among people.
19	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes, The activities of Japanese NGOs are for the benefit and development of our society. The people believe and trust and people are interested in the project of Japan and their NGOs.
20	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	This NGO was not working in this place before and it is only few years after this project that we know of them. People now trust their work and they have good reputation among local people here.

Interview 5

Elder Leader who was involved in the project deeply

Name and position: head of CDC, Mahalle Arabha, Herat

city

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
	Please provide a brief history of the village in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	The people's life before war was good and normal, people were dealing with their life issues normally but with start of war our lives changed, many people were displaced from their homes to other places inside the country or to some foreign countries. During Taliban here the situation was ok and we were able to continue our lives. With the new government after Taliban the society is developing, facilities for more civilized life is coming and security is getting better.
	Have villagers experienced displacement? When and How many times?	Yes, only during the war with Soviet Union
	In the past few years, what was the most needed assistance for the village?	There have been lots of needs but some of them are: <ul style="list-style-type: none">- Health care facilities- Education and relevant infrastructures- Development in agriculture/ livestock husbandry and relevant infrastructures- Road and electricity
	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled?	First, many roads have been built or improved, We have electricity and a school building now and also training and literacy courses are implemented.
	What kind of assistance did you have from other organizations or from the governments?	In this place water wells and bridges/ coverts were built by DACAR, drinking water pipe system established by HABITAT (NSP program) and also roads project by the government are implemented.
	Why did this project select this village instead of other villages?	Our school was in a rental house and some of the classes were inside tents, so we needed the school project
	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	According to our request to the education department and the assessment by NGO of our situation and need, finally the NGO and government approved the project.
	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	Yes

	<p>What kind of problems did you and the project have and how did you solve these problems during the project period?</p>	<p>The only problem that we had was about the major irrigation canal near the school building which was a threat to the building. The local elders requested the NGO to increase their budget to be able to build a supporting/protecting wall for the school building in addition to original design of the building. The suggestion was accepted by NGO and a good protection wall is built now.</p>
	<p>Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?</p>	<p>It change the attitude of people toward the education sector and they pay more attention to their children's education and health care. School students wear cleaner clothes and keep themselves cleaner. The regular presences in the classes are increased and disease decreased.</p>
	<p>In the case of construction, how does the community maintain the building? Was there any mechanism initiated by the project for that?</p>	<p>The school support committee, CDC and local people are committed and promised to support and protect the school.</p>
	<p>Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?</p>	<p>Whenever we asked them they provided information and also they participated in meetings at the school and in the village with CDC and community representatives.</p>
	<p>How long is the NGO working in your area? What is their reputation?</p>	<p>We were not aware of Razi NGO before but now people are happy and supportive to them.</p>
	<p>In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?</p>	<p>No</p>
	<p>How well do you know about the country who funded this project? Do many villagers know about it?</p>	<p>The NGO staff told us that Japan supported this project and gave the money.</p>
	<p>What is the most urgent need which should be met immediately in this village?</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Establishment of on-job and practical training courses and centers - Training and public awareness programs about public rights - Support to the municipality on cleaning the village and transporting trashes to outside. - We need more and better quality of teaching materials and lesson books. - In agriculture we need support like improved seeds and fertilizers.
	<p>How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village?</p>	<p>I am not very hopeful about the support by government. If the aid from international donors are stopped the government will not be able to support us.</p>

Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area? (ask carefully)	The government cannot support and develop rural areas on its own.
---	---

Interview 6

Local Government Official (Provincial official in charge of the project)

Name and designation: Khalil Ahmad Tawana, director of planning department, provincial education department, Herat

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
	<p>What kind of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before hits project began?</p> <p>What kind of humanitarian needs were there in Education and other sector, in 2010 before hits project began?</p>	<p>The area has wide variety of needs in most areas but specifically in education sector our difficulties and needs included:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Few proper classrooms and school building were available - School/Education related facilities were limited - Knowledge and capacity of teachers and people were limited - Student had minimum awareness about and interest to education and going to school.
	<p>How well did the project satisfy the needs? (impacts on needs both quantitatively and qualitatively)</p>	<p>With implementation of the school building projects by Razi we have more appropriate classrooms available, more students can go to school, disease incidents among school children has decreased, and people are motivated to send their children to school.</p>
	<p>What kind of assistance did your area get from other organizations or the government in the field?</p>	<p>There are other NGOs also who helped us and provided some assistance and aid for education sector. Khatamulanbiya NGO is another one of our good supporter.</p>
	<p>What kind of coordination mechanism do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?</p>	<p>We have the engineering team of education department who do the project control and monitoring. Coordination of Razi (NGO) with this team is very good and also we have the sectoral meeting in the province level which all NGOs participate including Razi and present their reports and updates.</p>
	<p>In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the villages, citizens, etc.) discuss the selection of the project? Was there appropriate process and common consent of the stakeholders?</p>	<p>The project was selected generally based on coordination with the provincial education department, CDCs and the NGO and the final approval has been by the provincial education department.</p>

	Was there an agreeable selection criterion for the project site and beneficiaries?	We have our own priorities in our list of projects to be implemented which is reflected in our annual work plan. In a specific project site we receive advice from our district departments, we look at the population, availability of land for school, participation rate and population of female students and lack of existence of another school in the vicinity of the target are.
	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	Since every single project has been implemented according to the needs and priorities, and all parties have approved, then it is obvious that when a project is implemented to cover those needs, it will have positive impacts and changes.
	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	Yes, I confirm the good quality of the schools and projects by Razi
	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO cope with problems?	There have been no important problems so far
	When and how did you receive the reports or briefing about the project? Did you have regular meetings with the NGO?	There are 3 and 6 month reports and also we have coordination meetings with NGO which we share information and discuss issues and about the projects.
	During the project, how were Shura members, CDC members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	The CDC members and local community representatives have been participating in our meetings with NGO, they have participated in some logistical arrangements at the local level as well as in protecting of the project related equipments.
	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the school building rehabilitated by the project after the completion of the project?	The community representatives guaranteed and committed to protect the school building after it is completed and take care or repair if there are damages on the building.
	How can you identify the impact of the School building rehabilitation and other component? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	More new students are registered and included in the school and parents are more interested to send their children to school.
	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	Currently the living condition of people is good and improving. The education sector is also improving throughout the province and about 60% to 70% people are self sustaining and confident now. My main concern is that the awareness programs about Islam and Islamic society is not enough
	What is the future forecast for assistance to the community?	If there is no support from NGOs and international donors, the government will not be able to support our education sector.

	How do you foresee the future social situation in the region? (ask carefully)	It will depend on security situation and the future of international aid supports. If it continues, the society will develop.
	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	No. This will be useful and can improve the trust of people to government and NGOs.
	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	People are happy and satisfied with the projects by Razi and Japan and people believe that they have spend the money appropriately and as needed.
	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	Since 1390 we know this NGO (Razi) and they have been useful and delivered good works.

Interview 7

NGO Staff

Name, position and period of work for the project:

general director of RAZI (worked since the beginning of Razi established) and project manager, RAZI (worked with Razi since 2011)

Phone No:

Q.No	Questions	Answer
	What kind of relationship does your organization have in this region or village historically?	Razi Social Development Organization (RSDO) has been partner to NICCO since 2011 but started working and implementing some project of NICCO earlier in 2007. We started working in the region since 2002 under other names but mostly started school support projects in 2011 in partnership with NICCO in districts and remote areas of Herat province. Now we are active in Ghor province as well.
	How well did the prior relationship work in helping to implement the project? Was it essential for the project implementation? If you don't have the past relationship, what could happen?	Our background, knowledge, contacts and relationship with the local people and local government help us and is useful in planning and implementation of the projects. If we did not have this good reputation and relationship we would face more difficulties in implementation
	Do you think that there is anything you can do that other organizations can't?	Yes, we can work in unsecure places, we are transparent, we have strong technical team, good relationship with education departments in the province and districts. Also we have full support of people and are member to civil societies of Herat.
	What are the advantages of Japanese NGOs or NGOs for implementing humanitarian or development projects?	The advantages include flexibility, design of the programs by Afghans and good and close relationship and contact with home office or partner NGO (with NICCO)

	<p>Do you think that you could maintain good relationships with the local government and village stakeholders? If yes, how?</p>	<p>We are supporter and partner of the government which are able to keep good relationship via regular meetings, information sharing and experiences, seeking for their comments as well as considering the fact that our projects are needed to the poor local people and we have close contact with people and civil society which government officials also know to help us and keep good relationship with us.</p>
	<p>What kind of problems did you have during the project and how did you sort out these problems?</p>	<p>One of our problems is relation to the government. Most government authorities are not coordinated among themselves and sometimes have problems with each other which can affect our project and operation. Another problem is lack of security in most of districts.</p>
	<p>What kind of risks did you assume for the project implementation? Did you have particular counter measures for those risks?</p>	<p>Before starting a project we conduct a risk assessment and provide a list of potential threats that might affect the project. Some of these risks include:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Danger of natural disasters like floods and bad weather - Changes in the market rates for project material and goods. <p>We usually consider some extra money and contingencies in our project budget.</p>
	<p>Did you pay any special attention to the humanitarian aspect of the project implementation?</p>	<p>We consider the following issues and aspects during project implementations:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The human resources shall be provided locally as much as possible - Security is always as priority for us. - Never use children or under age workers.
	<p>How do you identify the change brought about by the project? Do you have any specific indicators?</p>	<p>We have indicators in this regard and using these indicators we implement before project and after project assessments. We use specific assessment forms to be used at the beginning, middle and end of projects. .</p>
	<p>In the case of training component, how do you identify the effect of this component?</p>	<ul style="list-style-type: none"> - By interviewing with people - By pre and post tests - By looking through the average score of children in their normal school scores. - Number of students - By improvement on moral of the teachers.

	Do you have any examples of providing a flexible response to changing situation in the field? E.g. sudden increase of IDPs	Yes, one flexibility that we have all the time is about the security situation. We change the vehicles, change staff's clothes, change the routes to project site and are usually able to continue the project.
	What are the remaining needs in this region or villages? How will those needs being fulfilled?	The most needed and important is in agriculture (equipment, process and marketing and providing water and irrigation system). Secondly drinking water and the relevant facilities are greatly needed. Specifically in education sector there are needs for school buildings, school boundary walls and water system for existing schools.
	Do you think that the government is committed to the future development of the region? (ask carefully)	There is no doubt about the governments commitment toward developing rural areas and we are not optimistic that they can help us.
	When did you last visit the project site of the 1 st & 2 nd phase?	Last week on August 21 st 2013 visited our project in Robat Sangi. We have a monthly schedule for visiting the projects.
	How many staff were assigned to the project in your office? Was this enough?	27 staff in Herat and 7 staff in Ghor province and they are enough for the current.
	Did you have a job description in the project? Did it clearly state your roles and responsibilities?	Yes, every person have a detail job description.
	When & how often did you report about current project to HQs (Kabul & Tokyo)? What kind of report format do you have? What kind of regular communication system do you use to report or exchange views?	We report to NICCO as the HQ office which is located in Mashad city of Iran. Each project manager report to the HQ office on weekly basis and also a general weekly update report goes to this HQ. There are regular contact by telephone and internet as well. Also we have two or three meeting per year in Iran for more coordination
	Did you have any examples of clear instructions that you received from HQs to sort out any problem?	There are security and financial manuals from HQ office.
	What is the biggest problem in current "Remote Management" by Japanese NGO? How do you manage the problem?	<ul style="list-style-type: none"> - Bad security situation is the biggest problem. - Since the HQ office is out of the country (in Iran) some time it is difficult to convince them about on the ground issues and understanding of a situation at the project site.
	Are there any personal capacity development opportunities or programs in your office? What's your opinion about what should be done?	We have specific budget for training and capacity development on computer, English and management skills and when staff take such courses outside the office, the cost is covered. Also we introduce our staff to the training courses by other NGOs. Also our NGO (Razi) have a training center which all staff can participate.

Humanitarian Needs and Assistance List Heart Province

Priority 1: Sector and details of need	
Agriculture	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>Heart province is the agriculture/orchard hub of Afghanistan which provides jobs and is source of livelihoods for more than 80% of the rural population in the province. There have been little achievements toward fundamental development in this sector in the province so far. Some simple equipments, fertilizers and improved seeds have been distributed. There have been effective efforts and important achievements in introducing Saffron farming throughout the province. The agricultural interventions and supports to the women in villages by this project is very well appreciated by beneficiaries and local women and they expressed effectiveness and success of this project component during the group discussion with women in Imam Shishnoor area of Enjil district.</p>	<p>In this sector there is need for fundamental developments toward industrial and mechanical agriculture, providing advanced machineries, improving irrigation system, irrigation canals and training for farmers on use of the new advanced equipments. Subsidized improved seeds and fertilizers also need to be provided. Crop process, value chain interventions to the benefit of farmers and marketing supports also can be effectively useful in this sector. Grape storage and processing is one of the most effective areas of agricultural support with great potential and great number of beneficiaries to be benefitted in long term and immediate term.</p>

Priority 2: Sector and details of need	
Education Sector	
Past Assistance	Remaining Needs
<p>Education is among the most successful areas of aid effectiveness and positive achievements by international aids for Afghanistan and Heart Province. From the total of 893 registered school throughout the province, 498 schools have buildings, 355 schools have boundary walls, 246 schools have electricity, and 678 school have some type of</p>	<p>Despite the great success and achievements in this sector there are great needs in:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Development of teacher capacity regarding on teaching approaches and raising their general knowledge/awareness, - Provision of equipments for school laboratories and libraries

water resources available.	<p>- Constructing more school buildings, class rooms and other relevant facilities/infrastructures.</p> <p>Specifically for the total of 893 registered schools of the province 395 schools needs buildings, 538 schools need boundary walls, 647 schools need electricity and 215 schools need water resources.</p>
----------------------------	--

Priority 3: Sector and details of need		
Health Sector		
Past Assistance		Remaining Needs
<p>The health sector in Heart city is reasonably developed both by government and private sectors. The central provincial hospital in Heart city is providing medical and health care services to the people from all over the province and districts. This hospital has been renewed and some basic medical equipment has been provided via ministry of public health and international aid money. There are other hospitals and health care clinics established by private investment in the city which is developing. Health clinics and basic health care and maternity services are accessible in the district centers. The mobile health teams and village cluster health centers also are active in some rural areas as well.</p>	<p>Medical doctors, nurses and health care workers in both government and private hospitals and clinics need capacity development and training programs. The hospitals and clinics need to be equipped with better medical equipment and the relevant staff and technicians need to be trained on proper use of those equipments. The most important need is developing and expanding health care and maternity services in rural areas.</p> <p>Development of other general facilities such as rural roads and better transportation services also will be quite effective on access to better health care services and development of drinking water systems will decrease disease among poor people.</p>	

Questionnaire for JEN in Pakistan Phase 1

Project Site	Phase 1 , Dera Ismail Khan
Date	26 th August 2013 to 28 th August 2013
Interviewer	Mohammad Asif kakar and Ahmad Jan Mandokheil
Name of NGO Staff	
Phone NO. of the staff	

The Questionnaire survey included : Assistant Commissioner of DIK, One elder leader of the village, Two beneficiaries,(One Livestock Dr and JEN staff group),

Local Government Official (District of UC official in charge of the project)

Name and designation: **Irfan Khan Mehsood, Assistant Commissioner DIK**

Phone No.

Q. No	Questions	Answers
01	What kinds of humanitarian needs were there (priority areas or sector), in 2010 before this project begin?	They faced many problems, like, shortage of food, shelter, medicines, education and lack of livilihood thru loss of their livestock.
01'	What kinds of humanitarian needs were there in livelihood assistance in 2010 before this project began?	The need of livilihood relative to their occupation and skills.
02	How well did the project satisfy those needs?	The IDPs had many problems but after implementation of this Project, <ul style="list-style-type: none"> - Secured feed for new born babies - Livestock business was initiated .
03	What kind of assistance did your area get from other organizations or the government for the IDPs?	Some of NGOs provided food and medicines however, the Government lacks resources to provide financial assistance.
04	What kind of coordination mechanism for assistances do you have? Did the NGO participate in the meetings or support the mechanism?	Coordination was developed for security purposes between the Administration and NGO for smooth implementation of Project activities.
05	In the initial process of the project, how did the stakeholders (government organizations, representatives of the tribe, IDPs, etc.) discuss the selection of the project component? Was there	The leadership of the IDPs, notable tribal leaders were involved in selection of Project components, the selected Project component was decided unanimously.

	appropriate process and common consent in the stakeholders?	
06	Was there agreeable selection criteria for the project site and beneficiaries? (Why did you and the NGO select this IDP group?)	The selection was based where IDPs camped and availability of land to graze their animals. This was also selection criteria for the project site.
07	Some problems may have occurred during the project. What were they? How did the NGO or you cope with problems?	The main problem was the issuance of NOC for Project activities in the remote area and the secondary problem was providing security in the field. Later, the NOC issued by PDMA and the security was provided by us.
08	When and how did you receive the reports or briefing about the project by the NGO? Did you have regular meetings with the NGO?	We are very busy due to insurgency problem in our area and this prevented us from having regular routine meetings with NGO JEN, we plan to have regular meetings from now on.
09	During the project, how were Shura (or tribe elders') members, any other village organizations and villagers involved in the implementation and monitoring of the project?	We (Administration) included local elders, village notable persons were well aware about the Project and involved in Project implementation activities otherwise the distribution process was not possible.
10	Did the NGO establish some kind of self or voluntary management system for the project outputs after the completion of the project? (if they don't touch on any. Ask that.....Are Livestock extension workers and Livelihood Recovery Committee still working as maintenance mechanism?)	The Project staff were engaged in the field and had close contact with beneficiaries during all phases and kept informed about the activities. The elders of the tribes including livestock department will continue to remain in close contact for the future.
11	How satisfied are you with the quality of the project (building and services), and schedule? Did the results meet your expectations?	We are satisfied with the quality of the project. We did not receive or learn of any complain against the NGO, I expect good results.
12	How can you identify the impact	The impact is satisfactory and encouraging

	of the project? Did the NGO have clear indicators to show the improvement for this?	according to the results as the beneficiaries improved there breed by 1:2 and 2:4 ratio.
13	In order to know the change before and after the project, did the NGO have baseline data? Do you know the result of the survey?	According to the survey report, positive change occurred compered.
14	Was there good interaction between different components of the project? What exactly are they?	Yes, after the distribution of animals, good interaction occurred such as distribution of feed, medicine and training of maintenance.
15	What is the current condition of humanitarian needs in the community? (remaining needs)	They needs on priority basis include:, -Employment -Education facilities -Health facilities and additionally if JEN increases the number of animals distribution supply buffallows and cows.
16	What is the future forecast of obtaining assistance for the community from the government or any other organizations?	I don't expect for any assistance because there is no any proposal in pipeline, our hope are the NGOs.
17	How do you foresee the future social situation in the region?	The social and political situations of the region are unclear, in my opinion, it will take a minimum 03 years to stablize.
18	Is there risk that knowledge of international assistance to the community becomes publicly known?	Yes
19	Do you think that there is any advantage of NGOs or Japanese NGOs in regard to community development e.g. acceptance of community?	Yes the community (beneficiaries+villagers) are well aware of the Japanese NGO and have a warm feeling for Japan, they take interest in ongoing activities of Japanies NGO.
20	How long is the NGO serving this region? How does the experience work for this project?	I think the NGO have been working since 2010 in different phases, its been a beneficial experience.

21	PLEASE ask to provide necessary information in order to fill in the attached table, "Humanitarian Needs and Assistance List in this region".	Our District including surroundings need assistance in the field of Health, Employment, Education, Agriculture, etc with concentration especially on war victims.
----	--	---

Elder Leader who was involved in the project deeply (at least 1 in each site)

Name and position:

an IDP Head Bund Korai DIK

Phone No.:

Q.No	Questions	Answers
01	Please provide a brief history of the your people (IDPs) in the pre-war situation also what happened during war period and after the war.	Actually in Waziristan and other neighbouring areas, the first war occurred in 2004 and then in 2007 and 2009. Our normal life suffered and we were displaced in different areas of DIK. There were 3 main tribes, 1. Mehsood, 2. Wazir, 3. Betanai, many of them displaced in first war, and then the rest came to DIK in the last war of 2010. During last war their homes, business, livestock were totally destroyed. After displacement they faced severe flood and were additionally affected.
02	Have villagers experienced displacement several times? When and How many times?	Yes, they returned to there homes two to three times, and if stability comes we plan to go back.
03	In the past few years, what was the most needed assistance for the village (IDPs)?	Livelihood schemes are most needed assistance because our needs cannot be fulfilled by donations.
04	How are those needs being fulfilled or to be fulfilled?	Agri-business, Livestock assistance can fulfill our needs.
05	What kinds of assistances did your people (IDPs) have from other organizations or from the government?	Some NGOs provided food items and shelters but the Government did not provide us any benefit.
06	Why did this project select this village (IDP group) instead of other villages (IDP)?	Mostly IDPs live here, and there is abundant grazing area.

07	How did the NGO select the beneficiaries? Did they have clear reasons?	They meet the JEN criteria, registered IDPs/deserving large family/Widows/Vulnerable/Women headed/Disables/and Orphans.
08	Was the project completed on schedule with the expected quality and results?	Yes, the Project staff worked hard and due to this they completed according to the schedule. Yes, satisfactory results were expected.
09	What kind of problems did you and the project have and how did you solve these problems during the project period?	During distribution of animals, we faced the following problem: <ul style="list-style-type: none"> - unregistered IDPs and villagers pressured to issue animals. - Some tribal peoples nominated unknown persons to receive animals. But distribution was perfectly completed without any problem.
10	Did the project bring any change in people's lives and living conditions? Could this make a long-term difference?	Yes, they wish to continue livestock farming but not possible presently with other needs, the condition may change after completing other basic needs.
11	Are Livestock extension workers and Livelihood Recovery Committee still working as maintenance mechanism?	Yes they are close with all IDPs, many IDPs share their problems regarding livestock with us and then we call livestock Doctor or contact JEN representatives.
12	Did you receive any reports or briefings by the NGO about the progress of the project or any other information during the project period?	I am illiterate person and can not read the printing material but JEN staff share information.
13	How long is the NGO working in your area? What is their reputation?	I think they are working from the last 3 years and compared to US Projects the villagers appreciate Japanese NGOs.
14	In your opinion, are there any NGOs or organizations who would not be welcomed in this area?	Organizations who are funded, or have relation with United States of America are not well received by the villagers.
15	How well do you know about the country who funded this project?	Yes the main donor is Japan and all the beneficiaries know this.

	Do many villagers(IDPs) know about it?	
16	What is the most urgent need which should be met immediately in this village (IDPs)?	I think the urgent need is food security.
17	How will you obtain assistance from government or any other organizations for the future development of the village(IDP group)?	The Government is completely silent on assistance but the NGOs provide for us and also an NGO has program of shelter, One thing I should add is that if the war stops they should rehabilitate our homes in Waziristan.
18	Do you think that the government can be relied upon to assist future development in the area?	No I don't think so.

Villagers Beneficiaries 02

Q.No	Questions	/Beneficiary	/Beneficiary
01	How was the life and living condition in this village before the war, during the war and after the war?	When a person is displaced from his native area and home, our lives are disrupted, we have no work, all the time we are looking for basic needs. Before the war we were all working and everything was normal but now we feel unsafe and displaced.	We were happy in our limited life but after the war we feel lost, and now we are dreaming most of the the time of going back.
02	Have you been displaced as an IDP or a refugee in the past too? if yes, when and how long and when did you come back here? What're about others in your original village?	Yes I was displaced 2 times, <ol style="list-style-type: none"> 1. In 2009 my family displaced here and returned 2010, 2. We displaced again in 2010 	Yes we and our other relatives displaced three time from 2005 to 2010.

		and are still here.	
03	What is your main source of income?	Livestock farming, and I am working as labourer subject to availability of jobs.	Our women maintain livestock and I am working with a farmer as tractor driver.
04	What is the urgent need of you and this village? (generally) What kind of difficulty did or do you have in livelihood?	The urgent need is shelter, here I have only one room without latrine, as labourer the work is not on a permanent basis, many times I have been unemployed.	Unemployment is main problem; we have no idea about our situation as to how long we will be here.
05	How are those needs being satisfied or not?	If shelter is available and the combination of livestock breeding and my work is enough till safe return home.	Employment is the main problem of us, if solved, then we can easily survive anywhere.
06	What kind of specific change did the project bring to your life?	I have two babies of the age of 3 years, and 6 months, I depend on that mother goat which received from JEN, I feed them.	The Project helped me on time, but one goat is not enough for us.
07	What kind of problem or complain do you have with the Livestock extension workers and Livelihood Recovery Committee?	We have no any complain against them, they helped a lot in every step.	Whenever our animals become ill that Livestock Doctor need security to visit our homes, if that cannot be provided, then we face problems.
08	Did the project bring any other positive or negative change in the village? (e.g. temporary employment or disunion of community)	We are busy with livestock breeding, this is positive change for us. There is no negative change.	Good for us but the negative aspect is, we depend on others to give us something.
09	Why did they select your village as a beneficiary target?	Here are all IDPs living who are poor.	We are exactly needy of assistance.

10	How did the community discuss the selection of beneficiaries like you?	The selection appreciated by the community.	Community members are satisfied with the process.
11	What kind of contributions did the community give the project? How is the community going to manage the livestock?	We were in bad condition and we cannot contribute to the project but our contribution is only to improve the livestock promotion.	Some of beneficiaries sold their goats due to facing health problems but most managed.
12	Do you know which country provided the funds for this project? How did you know? (or Why didn't you know?)	Yes we know, when an NGO representatives comes to help, we inquire about the donor.	Yes, we know it is a Japan assisted project. We ask first because if we get donations from other donors then may be we face problem from Taliban.
13	What kind of relationship did the NGO have with this area before the project? Do you think that they could have succeeded without such a past relationship?	There were no relationship.	No there were not any relations with this NGO
14	Was the project implemented on schedule? Did the NGO have meetings with representatives and villagers by visiting sites during the project period?	Yes, of course the project was completed on schedule, NGO staff are familiar with villages and we are in close contact and they visit us routinely.	I think they adopted their criteria and they completed the project on schedule and are in close contact with us.
15	Do you think that the government is committed to the development of this area?	No I am not sure.	We have no idea because we never seen any Govt: representative in the area except police.
16	How do you foresee the future social situation in this area?	Continue to be unstable	Maybe will change positively.

NGO Staff (field staff or person in charge of the project at the field office)

Q.No	Questions	Answers
01	What kind of relationship does your organization have in this region or village historically?	We are working on specific target and for achievement of targets we make relations with the learders of the area and beneficiaries, they share the problems, ideas and trust us. The JEN reputation is very good amongst livestock dependant community.
02	How well did the prior relationship work in helping to implement the project? Was it essential for the project implementation? If you don't have the past relationship, what could happen?	We have no past recorded work before phase 1, and does not need past relations, we have good working relations in the area.
03	Do you think that there is anything you can do that other organizations can't in this project site?	Many NGOs like WFP,SPO,SABAWON (Local) etc working here but there objectives are different, The working components can not match with other NGOs, due to that the community appreciate this.
04	What are the advantages of Japanese NGO (or NGO) for implementing humanitarian or development projects in this area?	<ul style="list-style-type: none"> - First of all the reputation of Japan counted. - Livestock maintenance, training and close relationship was appreciated by all; - Secure working experience compered to other NGOs.
05	Do you think that you could maintain good relationships with the local government and village stakeholders? If yes, how?	Yes, due to interest from both sides, regular contact and receptive to recommendations.
06	What kind of problems did you have during the project and how did you sort out these problems?	Our main activity is distribution of goats, every person think himself to be eligible and forcing us from different ways to issue them too, but during distribution we sought assistance from the Govt. administration and local leadership.
07	What kind of risks did you assume	The main risk during Project

	for the project implementation? Did you have particular counter measures for those risks?	implementation is security problems, but these problems were already embedded in our program.
08	Did you pay any special attention to the humanitarian aspect of the project implementation? If so, what was that? (e.g. special attention for women headed families)	Yes training activity is included in our program. No the women headed families are not possible to train, it creates problems, women headed family already are trained in such field.
09	How do you identify the change (output or outcome) brought about by the project? Do you have any specific indicators?	Most beneficiaries are in close contact with our veterinary doctors/experts and we can assess the impacts after some time of distribution, <ul style="list-style-type: none"> - Before the Project there were unhappy environment. - Now they they seems satisfied. - Many IDPs sold the next male generation.
10	In the case of training component for the Livestock extension workers, how do you identify the effect of this component?	The identification of trained beneficiaries; <ul style="list-style-type: none"> - Seek advice during pregnancy of goats from Veterinary doctors. - Generate amount for other needs. - Always try to improve the number of livestock by farming. - They know about benefits compared to traditional methods.
11	Do you have any examples of providing a flexible response to changing situation in the field? e.g. sudden increase of IDPs	No because our distribution based on collected data of IDPs, many IDPs increased at the time of distribution but we were not in position to distribute to them too.
12	What are the remaining needs in this region or villages? How will those needs be fulfilled?	They need food, shelter, education facility, health facility, but main need is employment, employment can fulfill their needs.
13	Do you think that the government is committed to the future development of the region?	We are not sure, but Pakistan Disaster Management Authority has some proposals for development but it will be subject to peace in the region.
14	When did you last visit the project site of the 1st & 2nd phase?	Visits of sites in all areas of phase 1, 2 and 3 are our routine work, now a days a

		training of IDPs is in progress in village Mian Chatta and our field staff visited yesterday on 26 th August 2013.
15	How many staff was assigned to the project in your office? Was this enough?	Yes the current staff is enough to provide adequate service in the Project area.
16	Did you have a job description in the project? Did it clearly state your roles and responsibilities?	Yes we have seperately job description/duties and day assignment too.
17	When & how often did you report about current project to HQs (Islamabad & Tokyo)? What kind of report format do you have? What kind of regular communication system do you use to report or exchange views?	From DIK office we forward , <ul style="list-style-type: none"> - Quarterly report. - Monthly Report. - Weekly report And daily report to Islamabad only. The pattern of report forwarded by Islamabad office and other information and communication system is email which provide quick response. <ul style="list-style-type: none"> - Meetings of DIK staff - Meetings with HQ Islamabad if needed.
18	Did you have any examples of clear instructions that you received from HQs to sort out any problem?	Every problem communicated from our end to HQ Islamabad, after receiving directives from them, we move ahead.
19	What is the biggest problem in current "Remote Management" by Japanese NGO? How do you manage the problem?	As such no problem facing in the area but some times the Government warns the NGOs or Organizations from doing field work.
20	Are there any personal capacity development opportunities or programs in your office? What's your opinion about what should be done?	No but we support and encourage our staff members for training.

Humanitarian Needs and Assistance List in this region

Priority 1: Health	
Past Assistance	Remaining Needs
In the region the health facilities are limited and not enough to IDPs, some Health centres are working.	In the available infrastructure that required medicines/equipments/machinery and trained staff to provide health facility specially for Paeds, gynae . Need more clinics, trained staff.

Priority 2: Education	
Past Assistance	Remaining Needs
Different International and local NGOs started some shelter schools in the area but the area is very vast and the population is scattered.	The childrens of IDPs suffered from one area to other, now there parents seems careless about their education due to other pressing problems. Assistance needs to be provide for a good environment for their children, Are they are they are the future, and support to their parents and if ignored that they will become criminals.

Priority 3: Employment	
Past Assistance	Remaining Needs
Many NGOs worked in different sectors but never worked for livelihood like JEN, it proved that there life standard can be bettered. JEN provided a streamlined path for us.	For livelihood sector they need help.

国内作業 面談者リスト

【NGO】 面談順

ケア・インターナショナルジャパン CARE	尾立 素子	プログラム・コーディネーター
ジェン JEN	安藤 怜子	プログラム・オフィサー
アドラ・ジャパン ADRA Japan	橋本 笙子	事業部長
	永井 恵子	アフガニスタン事業担当
	石橋 和博	プログラム・オフィサー
シャンティ国際ボランティア会 SVA	萩原 宏子	アフガニスタン事業担当
	三宅 隆史	アフガニスタン事務所長
	菅磨 里奈	アフガニスタン事業担当
日本国際民間協会 NICCO	折居 徳正	務局長 東京事務所長
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン SCJ	紺野 誠二	プログラム・オフィサー
	森本 美紀	プログラム・オフィサー
難民を助ける会 AAR Japan	穂積 武寛	プログラムマネージャー
	大久保 真紀	プログラムコーディネーター
	柿澤 福郎	プログラムコーディネーター
ワールドビジョン・ジャパン WVJ	伊藤 真理	支援事業部緊急人道支援課 課長
	村松 良介	ジュニアプログラム・オフィサー
日本ユネスコ連盟 NFUAJ	関口 広隆	事務局総務部副部長
	鴨志田 智也	事務局教育文化事業部

【JPF】

ジャパン・プラットフォーム JPF	椎名 規之	事務局長
	柴田 裕子	海外事業部長
	富澤 聖子	プログラム・コーディネーター
	鳴海 亜紀子	プログラム・コーディネーター

【その他】

日本国際ボランティアセンター JVC	谷山 博史	代表理事
	長谷部 貴俊	事務局長
	小野山 亮	小野山 亮
駐日米国大使館関係者	同大使館関係者	-
駐日アフガニスタン大使館	Mr Yasir Karimi	Second Secretary
	Dr Bashir Mohabbat	Special Assistant to the Ambassador

JPF アフガニスタン・パキスタン人道支援プログラム実績 第1～3フェーズ



2013年10月現在

社会基盤の整備



学校建設・修復

133校

① 36
② 55
③ 42

裨益児童数

107,241人

① 40千
② 43千
③ 23千



灌漑・農村支援

16地区

① 1
② 5
③ 10



医療施設・給水施設

68地区

① 63
② 0
③ 5

教育・保健の強化



図書室数

84室

① 36
② 19
③ 29



教員研修受講者

4,869人

① 15百
② 16百
③ 18百



保健・衛生教育研修

107,982人

① 24千
② 68千
③ 16千



子どもの学校外教育

597人

① 211
② 206
③ 180



女性のエンパワメント
受講者

3,005人

① 400
② 1,805
③ 800



就学前教育
フアンリテーター、児童

8,998人

① 2千
② 3千
③ 4千



コミュニティ教育

4,441人

① 9百
② 15百
③ 20百

平和構築



地雷回避教育

268,534人

① 96千
② 78千
③ 95千



IDP生計復帰支援

4,227人

① 5百
② 27百
③ 10百



IDP越冬支援

2地区

① 0
② 0
③ 2

予算 約**36**億円

- ① 第1フェーズ
- ② 第2フェーズ
- ③ 第3フェーズ 見込み